

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



518

518-75



1200501489582

8. 6. 9

神戸港大観

神戸市役所

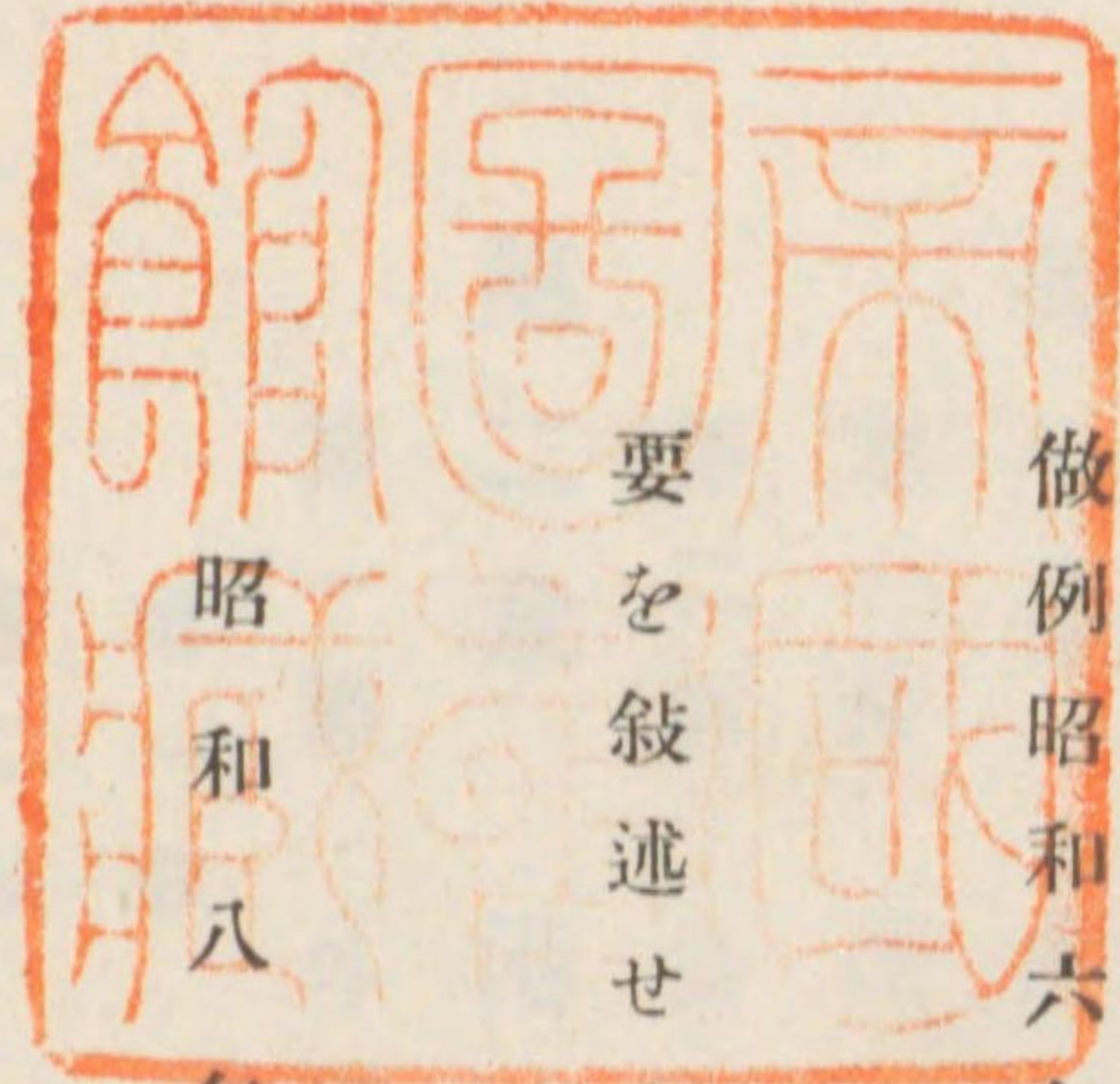
緒
言

發行所寄贈本

發行所寄贈本

做例昭和六年中の神戸港に關する調査統計並施設の大

要を敘述せる本書を刊行して各關係者の參考に供す。



昭和八年二月



神戸市土木部港灣課

第三節

港內一般設備

防波堤港內區分及航路

第一款

航路標識

三〇

第二款

繫船浮標

三一

第三款

通船

三二

第四款

塵船

三三

第五款

水先案内

三四

第六款

船舶給水

三五

第七款

海陸通信連絡

三六

第八款

船車連絡列車

三七

第九款

鐵道海岸線

三八

第十款

海洋氣象臺及報時球信號

三九

第十一款

海港檢疫所及家畜檢疫所

四〇

第十二款

國立移民教養所

四一

第十三款

生絲檢查所

四二

第十四款

輸出絹織物檢查所

四三

第十五款

花蔴檢查所

四四

第十六款

港內沿岸利用狀況

四五

第五節

倉庫

四六

第一款

概說

四七

第二款

普通倉庫

四八

第三款

保稅倉庫

四九

第四款

保稅工場

五〇

第五款

保稅地域

五一

第三章

神戸市營港灣施設

五二

第一節

運河

五三

第一款

兵庫運河

五四

第一項

設備

五五

第二項

利用狀況

五六

第二款	苧藻島運河	107
第一款	市營前の狀況	107
第二款	市營後の狀況	109
第三款	新湊川運河	113
第一款	新湊川概況	113
第二款	埋立及運河開設工事	114
第四款	運河經營概要	116
第二節	國産波止場	119
第一款	施設大要	120
第二款	利用狀況	121
第三款	收入狀況	126
第三節	兵庫埋立地	129
第一款	沿革	129
第二款	利用狀況	129
第三款	收入狀況	133

第四章 貿易

易

第一節 外國貿易

第一款 總說

第一項 本邦貿易概況

第二項 神戸港外國貿易概況

第二款 品種別觀察

第一項 輸出品

第二項 輸入品

第三項 輸出入品價額の全國に對する割合

第三款 加工別觀察

第四款 通商國別觀察

第一項 大陸別觀察

第二項 通商國別貿易額と其重要貿易品

第三項 通商國別貿易額の全國に對する割合

第五款 輸出入貨物噸量

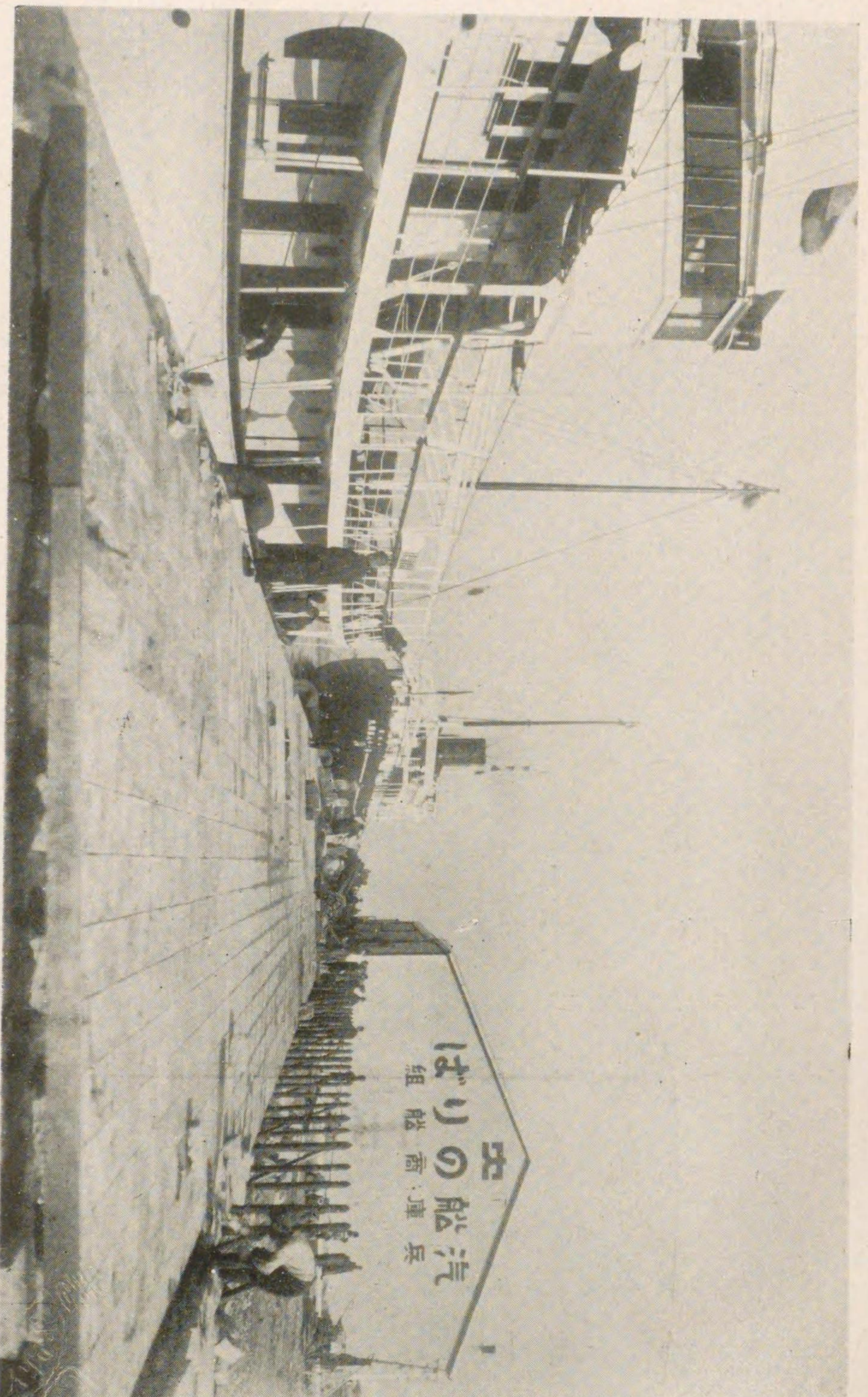
第六款	仲繼貨物	……	二六
第七款	外國貿易に於ける神戸港の地位	……	二八
第一項	價額に於ける地位	……	二八
第二項	噸量に於ける地位	……	二八
第三項	噸量單價より見たる地位	……	二八
第四項	神戸、横濱、大阪三港比較	……	二七
第二節	内國貿易	……	二九
第一款	總說	……	二九
第二款	移出入貨物の品種別觀察	……	二九
第三款	移出入貨物の加工別觀察	……	二八
第四款	移出入貨物の港別觀察	……	二八
第五款	移出入貨物の地方別觀察	……	二八
第六款	移出入貨物の船種別觀察	……	二四〇
第七款	内國貿易に於ける神戸港の地位	……	二七
第五章	海運	……	二八〇

第一節	本邦主要港灣入港汽船對比	……	二八二
第二節	内國貿易船	……	二八五
第三節	外國貿易船	……	二九一

第六章

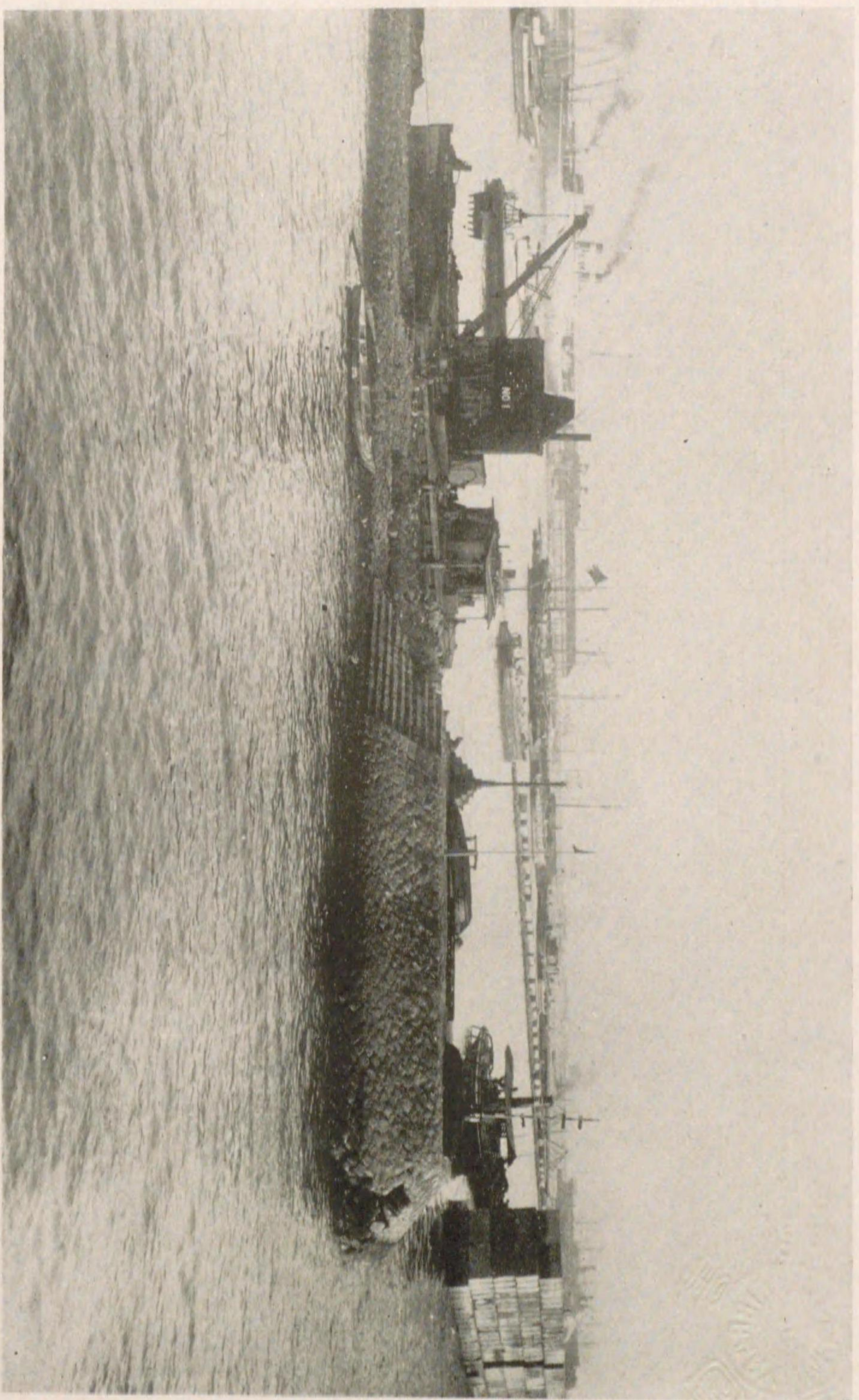
陸運

第一節	鐵道	……	二九九
第一款	旅客	……	二九九
第二款	貨物	……	三〇三
第三款	收入	……	三〇八
第二節	電車	……	三二〇
第三節	自動車	……	三二四

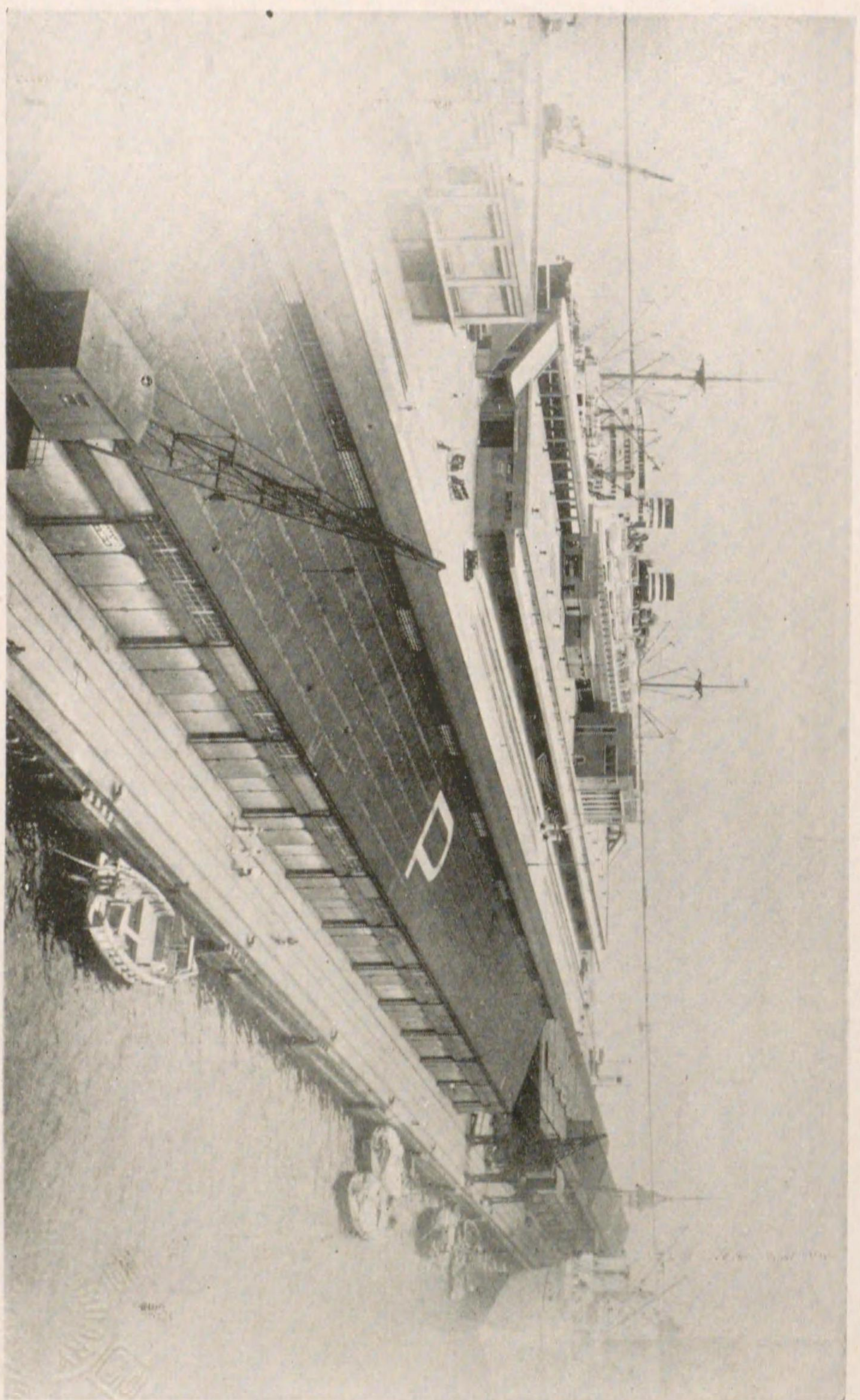


堤突庫兵ルセ始開ヲ用利

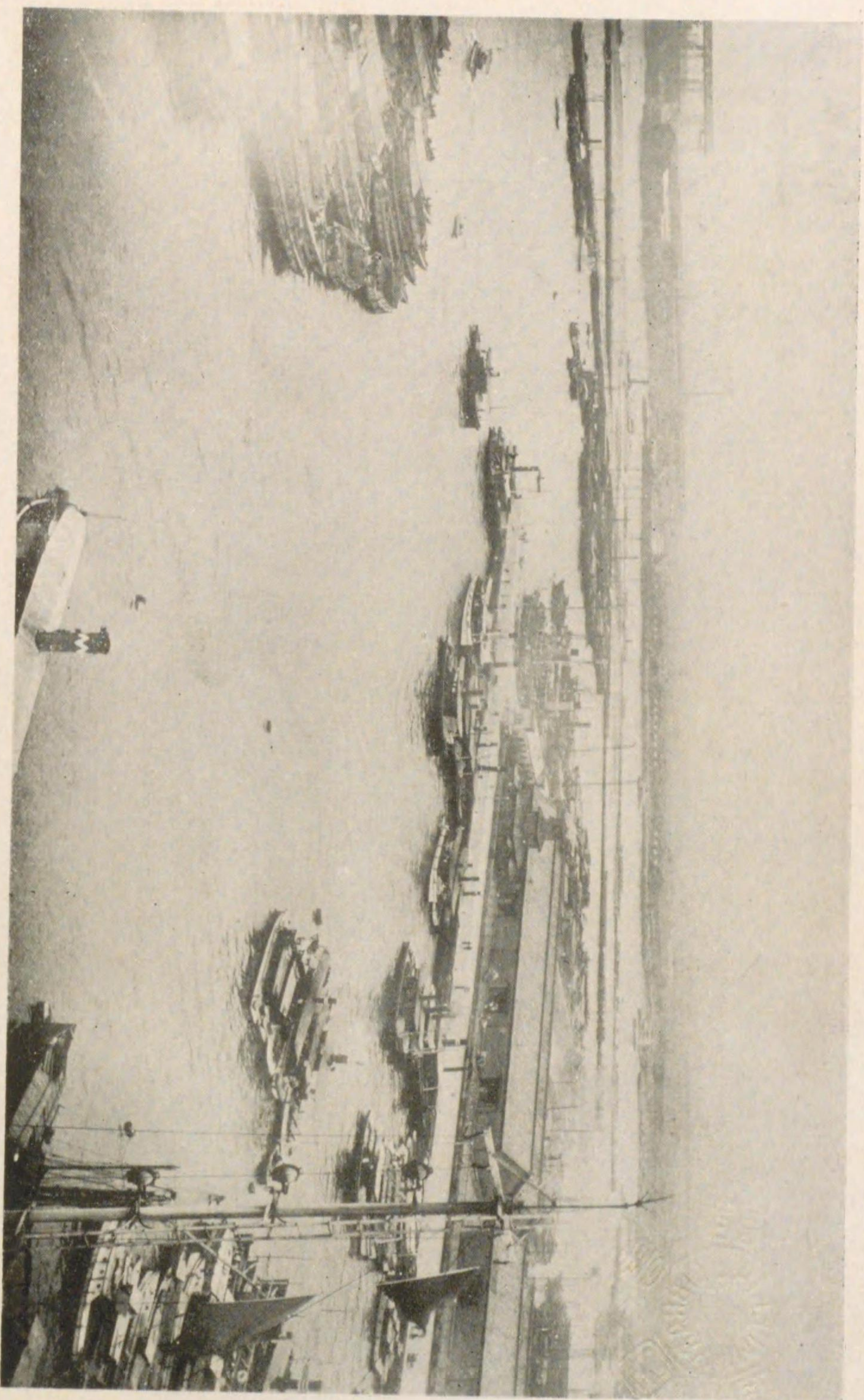
[Faint, illegible text on the right page, possibly bleed-through from the reverse side.]



埋立工事ノ海岸突堤



稅關第一突堤



米 堅波止場及工事ノ海岸通突堤

神戸港大観

第一章

神戸港概説

第一節

港勢一斑

神戸港は本邦の中央部に位し、摩耶六甲の翠巒に囲まれて茅海に臨み、港内水深く氣候温和にして風光亦明媚、近く商工業の中樞地を控へ、地勢自ら海陸連絡の要衝を占め古くより百船の輻輳せるに、加へて時勢の進展に伴ふ諸種の近代的港灣施設の進捗に依り今や國際交通の基幹として益々海港都市の面目を發揮するに至れり。現在神戸港の港域は東は新在家の東角より南十五度西に引きたる一線と、西は和田岬より北八十四度三十四分東に引ける一線との二線を經界とする面積にして防波堤内水面積二百八十八萬餘坪、防波堤外二百六十三萬餘坪、海岸線延長は實に九・七哩に達す。

市域も亦市勢の膨脹に伴ひ漸次擴張せられて東西一・七哩、南北六・九哩、面積八・九平方

神戸港大観

哩となり人口正に八十萬を超過するに至る。

今最近に於ける人口分布及其趨勢を示せば左の如し。

(昭和六年十二月末現在)

區別	種別	人口		戸數
		男	女	
灘區	灘區	四五、五六七	四四、七一八	九〇、二七八
葺合區	葺合區	六五、二九七	五七、八五八	一二三、一五五
神戶區	神戶區	四四、〇六九	三九、九七一	八四、〇四〇
湊東區	湊東區	三二、四二一	三二、四四九	六四、八七〇
湊西區	湊西區	二四、六九五	二三、六二二	四八、三一七
林田區	林田區	七三、四四〇	六七、一六八	一四〇、六〇八
須磨區	須磨區	一一〇、〇四七	九四、五九八	一九五、六四五
總計	總計	四〇、五七一	四一、一〇五	八一、六七六
		四二七、一〇七	四〇一、四八二	八二八、五八九

年次	種別	總計		戸數	備考
		男	女		
大正九年	大正九年	六八、六四八	二八、六六八	一三、九六六	國勢調査(水面ヲ含ム)
同十四年	同十四年	六四、三三三	三〇、四四〇	一五、五〇五	
昭和五年	昭和五年	六七、五九六	三八、二五五	一六、八四八	
同六年	同六年	八八、五八九	四〇、一四三	一八、四七七	公簿

尙當市に於ける昭和六年在留外國人數は六千四百七十七人にして前年に比し二千四百六十五人の減少を示せるは主として在留支那人の歸國せるもの二千五百十五人に及びたるによるも、總數に於ては依然として支那首位を占め英、獨、米、印、露等之に亞ぐ。此の外來往の外國人頗る多く従つて内外間の交渉も密接なるため此處に領事館を設置するもの其數三十ヶ國を越ゆ今在留外國人を國籍別に表示すれば左の如し。

神戸市在住外國人國籍別表

(昭和六年末)

種別	國籍別	戸數		總計
		男	女	
種別	支那	九四三	三三三	一二七六
	英國	二八八	二五五	五四三
	獨國	一六〇	一七〇	三三〇
	北米	二七	二七	五四
	印度	一七	一七	三四
	露國	九	九	一八
	埃國	六	六	一二
	瑞西	三	三	六
	葡國	三	三	六
	佛國	三	三	六
其他	一、九二〇	一、九二〇	三、八四〇	
總計		二、八八〇	二、八八〇	五、七六〇

又本港に上陸する外國人の狀況を左に掲ぐ。

神戸港上陸外國旅客員數年次表

(神戸税關調査)

國籍別	年次	年次				
		昭和六年	昭和五年	昭和四年	昭和三年	昭和二年
(歐洲人)英	獨	一、四〇一	一、五二四	一、九〇七	一、七〇一	一、九二二
吉	利	二二六	二二三	三七三	二七四	三二四
逸						

神戸港大観

種別	神戸		全		戸港の比率(價額)
	量	額	量	額	
ソビエトロシア	一三四	一〇四	三六三	二二三	二三〇
佛蘭西	一二七	一一一	一四六	一八六	一二九
和蘭	九一	六四	八七	七四	七六
瑞典	七三	六五	八八	九〇	一二五
其	二一六	一八七	二九九	一九〇	二四三
(東洋人)中華	五、六六〇	八、七一六	一〇、四六三	八、八三七	八、二五一
印	一四三	一二四	一八六	一一一	一〇九
比	五八	九九	五二七	三五	三四
其	二、二一二	二、二三〇	三、一三九	二、八六九	二、五六八
(其他)米	九〇	五三	五一	五四	五六
加	四二	二一	六三	一六	三九
其	一〇、四六八	一三、五二一	一七、七四九	一四、六七一	一四、二二一
合					

次に神戸港に於ける對外貿易狀況を觀るに築港設備の充實と相俟つて逐年堅實なる發展を示しつゝ、ありしが近年世界的不況益々深刻の度を加へ海外諸事情の悪化の影響を受くるの止むなきに至り昭和六年も亦沈滞の裡を脱するに到らず。今之が貿易額を觀れば輸出四億九百餘萬圓輸入四億五千七百餘萬圓、合計八億六千六百餘萬圓にして前年に比し貳億貳千餘萬圓の減少を示したるも之全國的の現象なるを以て、之を本邦總貿易額に對比すれば輸出三割五分七厘、輸入三割七分、合計に於て三割六分四厘となり前年に比し却つて幾分の優勢を示す。之を表示すれば左の如し。

種別	神戸		全		戸港の比率(價額)
	量	額	量	額	
輸出	八二、〇四七	四〇、〇一一	五、二九四、七七	一、四六、九六一	〇・三七
輸入	三、三六、七四	四七、七四三	一八、二六三、四八四	一、三三、六七五	〇・三七
合計	四、二四九、八二	八六、七五四	二三、五五八、三二	二、三三、六六六	〇・三四

更に當港内國貿易の概況は對外貿易と同様一般的に不況に禍さるゝ所尠からず、殊に産業界に於ける生産制限、農村不振、物價低落等の諸事情のために移出額參億貳百餘萬圓、移入額貳億七千百餘萬圓、合計五億七千參百餘萬圓となり前年に比し合計壹億七千九百餘萬圓即二割三分九厘の激減を來せり。

昭和六年神戸港内國貿易表

種別	量		額	
	出	入	出	入
移出	一、九七七、一六七	三、〇二、〇三〇	一、九七七、一六七	三、〇二、〇三〇
移入	三、六九二、七一	五、六六九、八七八	三、六九二、七一	五、六六九、八七八
合計				

又當港内外航路乗降客數は前年より何れも減少を示したるが昭和五年は觀艦式、海港博覽會

等による乗降客約十萬人ありたるため、之を例年に對照するときは却つて漸増の傾向にあり。

昭和六年神戸港内外航路乗降客數

種別	乗客	降客	合計
外國航路	五五、二二九人	七五、七三二人	一三〇、九六一人
内國航路	四〇六、九三六	三八八、五八三	七九五、五一九
計	四六二、一六五	四六四、三一五	九二六、四八〇

神戸港出入内國貿易船乗降場別客數

(昭和六年)

乗降場別	乗客		降客	
	一日平均	一日平均	一日平均	一日平均
突利堅波止場	七七、一三三	二一一	一〇五、八四六	二九〇
米利堅波止場	八、八九八	二四	一四、二〇四	三九
中棧橋	一四四、一五九	三九五	一三三、四九六	三六六
島上棧橋	二三一、九七五	六三六	二一〇、七六九	五七七
計	四六二、一六五	一、二六六	四六四、三一五	一、二七二

第二節 港灣狀況

一、位置

北緯 三十四度四十一分
 東經 百三十五度十一分

二、港界

開港港則に依る神戸港港界は新在家東角より南十五度西に引きたる一線と和田岬より北八十四度三十四分東に引ける一線との二線を経界とする面積内なり。
 尙内務省に於ける重要港灣としての港灣區域は大正十二年八月二十三日内務省告示第二七六號に依る妙法寺川口東岸突堤端より正東に引きたる一線と夙川右岸端より南口に引きたる一線とにより圍まれたる區域なり。

三、水面積

防波堤被覆内 二百八十八萬三千坪
 防波堤被覆外 二百六十三萬二千坪
 合計 五百五十一萬五千坪

四、底質

當港に於ける錨泊地大部分の海底は軟泥を以て覆はれ船舶の投錨泊には最も適當せり。

五、潮流

神戸港潮流の主流と見るべきものは紀淡海峡を通過して和泉灘に出入する渦流にして之に對し明石海峡を通ずる潮流の派流あり。従つて潮流の方向は概して漲潮時に於ては稍西南にして落潮時に於ては東北なり。而して潮流速度は港内に於て大潮時最大流速毎秒〇・六一七米、平均流速毎秒〇・四六三米なり。(昭和六年)

六、潮位

當港に於ける干満潮位の差は通常潮位にありて三呎内外、朔望大潮時に於ても五呎内外に過ぎざるが故に船舶の荷役には大なる支障を生ぜず。

昭和六年に於ける平均潮位は高潮位六呎四三、低潮位三呎八六、潮差二呎五七、朔望潮位平均は高潮位七呎二四、低潮位二呎二三、潮差五呎〇一なり。又本年の最高潮位は八呎六五、低潮位一呎一五、潮差七呎五〇を示せり。尙明治三十三年以降最高最低記録は大正十三年九月十二日の九呎四〇及明治四十年十二月七日の〇呎一八(神戸市規定)とす。今明治三十三年以降昭和六年に至る當港の潮位を示せば別表の如し。

七、氣象

明治三十年より昭和六年に至る平均気温は攝氏十五度にして最高は大正三年八月六日の三十七度六、最低は大正十二年一月二日の零下五度八なり。

年	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計	平均
明治三十三年	14	6.50	3.76	2.74	7.41							
昭和元年	15	6.50	3.84	2.66	7.31							
昭和二年	2	6.47	3.72	2.75	7.23							
昭和三年	3	6.49	3.75	2.74	7.16							
昭和四年	4	6.28	3.63	2.65	6.99							
昭和五年	5	6.36	3.74	2.62	7.07							
昭和六年	6	6.43	3.86	2.57	7.24							
計		200.54	115.32	85.22	227.42							
平均		6.27	3.60	2.66	7.11							
偏差	-1.5	4.77	2.10		5.61							

自明治三十三年至昭和六年 三十二ヶ年間ニ於ケ

神戸港潮位表

自明治三十三年
至昭和六年 三十二ヶ年間

年次	年平均潮位			朔望潮位年平均			(春分三月) (秋分九月) 潮位平均			夏至(六月) 冬至(十二月) 潮位平均			最高低潮位			累年 平均潮位	摘要
Year.	Ordinary High and Low Tide Yearly mean.			Ordinary Spring Tide Yearly mean.			Equinoctial Spring Tide mean of March and Sept.			(Reference) Mean of June and December.			Highest Records and Lowest Records.			Mean water Level. (Successive Years.)	Remarks.
明治	高潮位	低潮位	潮差	高潮位	低潮位	潮差	高潮位	低潮位	潮差	高潮位	低潮位	潮差	高潮位	低潮位	潮差		
33	6.03	3.46	2.57	6.97	1.66	5.31	7.02	1.81	5.21	6.65	1.26	5.39	8.84	0.60	8.24	4.75	本表ハ大藏大臣官房
34	5.98	3.47	2.51	6.91	1.64	5.27	6.85	1.87	4.98	6.76	1.37	5.39	7.52	0.53	6.99	4.74	臨時建築課神戸出張所
35	6.05	3.38	2.67	6.98	1.73	5.25	7.47	2.30	5.17	7.35	1.74	5.61	8.60	0.45	8.15	4.73	調査ニ係ル各年潮位表
36	6.23	3.45	2.78	7.17	1.91	5.26	7.48	2.23	5.25	7.08	1.65	5.43	8.00	0.62	7.38	4.76	ニ基キ調査シタルモノ
37	6.32	3.61	2.71	7.18	1.88	5.30	7.40	2.18	5.22	6.91	1.46	5.45	7.93	0.58	7.35	4.80	トス
38	6.34	3.64	2.70	7.36	1.82	5.54	7.20	2.12	5.08	7.26	1.55	5.71	8.70	0.77	7.93	4.83	但シ大正八年以降ハ内
39	6.11	3.48	2.63	7.13	1.80	5.33	7.19	2.11	5.08	6.67	1.21	5.46	7.71	0.54	7.17	4.83	務省神戸土木出張所ノ
40	6.00	3.46	2.54	6.90	1.80	5.10	7.01	2.36	4.65	6.77	1.24	5.53	7.47	0.18	7.29	4.81	調査トス
41	6.20	3.25	2.95	6.91	1.83	5.08	7.10	2.11	4.99	6.66	1.63	5.03	7.68	0.20	7.48	4.80	大藏大臣官房臨時建
42	6.02	3.51	2.51	6.87	1.76	5.11	7.18	2.05	5.13	6.41	1.41	5.00	7.56	0.51	7.05	4.80	築課神戸出張所ハ明治
43	6.27	3.44	2.83	7.23	1.87	5.36	7.48	2.21	5.27	7.03	1.68	5.35	8.16	0.74	7.42	4.80	四十年四月開始サレタ
44	6.05	3.55	2.51	6.82	1.77	5.05	7.26	2.37	4.89	6.84	1.69	5.15	7.80	0.20	7.60	4.80	ルモノニシテ之レ以前
明治 45 大正元年	6.04	3.65	2.39	6.90	1.78	5.12	7.13	2.04	5.09	7.08	1.90	5.18	8.12	0.44	7.68	4.81	ハ神戸市築港準備事務
2	6.32	3.30	3.02	7.04	1.90	5.14	7.04	2.30	4.74	6.84	1.70	5.14	8.00	0.64	7.36	4.81	所關係トス
3	6.26	3.55	2.71	7.23	2.05	5.18	7.47	2.64	4.83	6.83	1.79	5.04	8.50	0.48	8.02	4.81	本表潮位ハ神戸市規
4	6.49	3.51	2.98	7.31	2.18	5.13	7.47	2.75	4.72	7.12	1.78	5.34	8.70	0.68	8.02	4.83	定Datumニ據ル
5	6.33	3.75	2.58	7.18	2.11	5.07	7.37	2.41	4.96	7.15	2.12	5.03	8.35	0.56	7.79	4.84	神戸港修築工事ニ於
6	6.26	3.64	2.62	6.92	2.01	4.91	7.26	2.48	4.78	6.58	1.82	4.76	8.50	0.61	7.89	4.85	ケルDatumハ之ヨリ以
7	6.16	3.55	2.61	7.08	2.08	5.00	7.04	2.57	4.47	6.75	1.48	5.27	8.12	0.83	7.29	4.85	上1.5尺ニシテ東京灣
8	6.32	3.69	2.63	7.07	2.20	4.87	7.01	2.53	4.48	6.97	2.03	4.94	7.85	1.23	6.62	4.85	中等潮位以下二尺九四
9	6.19	3.65	2.54	7.08	2.17	4.91	7.28	2.61	4.67	6.95	1.79	5.16	8.24	0.91	7.33	4.86	八三ナリ
10	6.24	3.76	2.48	7.07	2.35	4.72	7.31	2.67	4.64	6.77	1.83	4.94	8.32	0.85	7.47	4.86	
11	6.33	3.71	2.62	7.09	2.35	4.74	6.95	2.70	4.25	7.19	1.98	5.21	8.25	0.72	7.53	4.87	
12	6.47	3.80	2.67	7.20	2.50	4.70	7.23	2.37	4.86	7.45	2.32	5.13	8.85	1.01	7.84	4.88	
13	6.49	3.76	2.73	7.41	2.40	5.01	7.98	2.62	5.36	7.35	2.27	5.08	9.40	1.06	8.34	4.89	
14	6.50	3.76	2.74	7.41	2.49	4.92	7.98	2.73	5.25	6.78	2.10	4.68	8.75	1.60	7.15	4.90	
大正 15 昭和元年	6.50	3.84	2.66	7.31	2.52	4.79	7.50	2.87	4.63	7.51	2.50	5.01	8.50	1.10	7.40	4.91	
2	6.47	3.72	2.75	7.23	2.24	4.99	7.43	2.73	4.70	7.25	1.78	5.47	8.40	1.10	7.30	4.92	
3	6.49	3.75	2.74	7.16	2.18	4.98	7.18	2.57	4.61	7.06	1.96	5.10	8.35	0.65	7.70	4.92	
4	6.28	3.63	2.65	6.99	2.03	4.96	7.00	2.46	4.54	7.03	1.89	5.14	8.52	1.01	7.51	4.92	

七、氣 象
今明治三十三年以降昭和六年に至る當港の潮位を示せば別表の如
明治三十年より昭和六年に至る平均気温は攝氏十五度にして最高
十七度六、最低は大正十二年一月二日の零下五度八なり。

34	5.98	3.47	2.51	6.91	1.64	5.27	6.85	1.87	4.98	6.76	1.37	5.39	7.52	0.53	6.99	4.74
35	6.05	3.38	2.67	6.98	1.73	5.25	7.47	2.30	5.17	7.35	1.74	5.61	8.60	0.45	8.15	4.73
36	6.23	3.45	2.78	7.17	1.91	5.26	7.48	2.23	5.25	7.08	1.65	5.43	8.00	0.62	7.38	4.76
37	6.32	3.61	2.71	7.18	1.88	5.30	7.40	2.18	5.22	6.91	1.46	5.45	7.93	0.58	7.35	4.80
38	6.34	3.64	2.70	7.36	1.82	5.54	7.20	2.12	5.08	7.26	1.55	5.71	8.70	0.77	7.93	4.83
39	6.11	3.48	2.63	7.13	1.80	5.33	7.19	2.11	5.08	6.67	1.21	5.46	7.71	0.54	7.17	4.83
40	6.00	3.46	2.54	6.90	1.80	5.10	7.01	2.36	4.65	6.77	1.24	5.53	7.47	0.18	7.29	4.81
41	6.20	3.25	2.95	6.91	1.83	5.08	7.10	2.11	4.99	6.66	1.63	5.03	7.68	0.20	7.48	4.80
42	6.02	3.51	2.51	6.87	1.76	5.11	7.18	2.05	5.13	6.41	1.41	5.00	7.56	0.51	7.05	4.80
43	6.27	3.44	2.83	7.23	1.87	5.36	7.48	2.21	5.27	7.03	1.68	5.35	8.16	0.74	7.42	4.80
44	6.05	3.55	2.51	6.82	1.77	5.05	7.26	2.37	4.89	6.84	1.69	5.15	7.80	0.20	7.60	4.80
明治 45 大正元年	6.04	3.65	2.39	6.90	1.78	5.12	7.13	2.04	5.09	7.08	1.90	5.18	8.12	0.44	7.68	4.81
2	6.32	3.30	3.02	7.04	1.90	5.14	7.04	2.30	4.74	6.84	1.70	5.14	8.00	0.64	7.36	4.81
3	6.26	3.55	2.71	7.23	2.05	5.18	7.47	2.64	4.83	6.83	1.79	5.04	8.50	0.48	8.02	4.81
4	6.49	3.51	2.98	7.31	2.18	5.13	7.47	2.75	4.72	7.12	1.78	5.34	8.70	0.68	8.02	4.83
5	6.33	3.75	2.58	7.18	2.11	5.07	7.37	2.41	4.96	7.15	2.12	5.03	8.35	0.56	7.79	4.84
6	6.26	3.64	2.62	6.92	2.01	4.91	7.26	2.48	4.78	6.58	1.82	4.76	8.50	0.61	7.89	4.85
7	6.16	3.55	2.61	7.08	2.08	5.00	7.04	2.57	4.47	6.75	1.48	5.27	8.12	0.83	7.29	4.85
8	6.32	3.69	2.63	7.07	2.20	4.87	7.01	2.53	4.48	6.97	2.03	4.94	7.85	1.23	6.62	4.85
9	6.19	3.65	2.54	7.08	2.17	4.91	7.28	2.61	4.67	6.95	1.79	5.16	8.24	0.91	7.33	4.86
10	6.24	3.76	2.48	7.07	2.35	4.72	7.31	2.67	4.64	6.77	1.83	4.94	8.32	0.85	7.47	4.86
11	6.33	3.71	2.62	7.09	2.35	4.74	6.95	2.70	4.25	7.19	1.98	5.21	8.25	0.72	7.53	4.87
12	6.47	3.80	2.67	7.20	2.50	4.70	7.23	2.37	4.86	7.45	2.32	5.13	8.85	1.01	7.84	4.88
13	6.49	3.76	2.73	7.41	2.40	5.01	7.98	2.62	5.36	7.35	2.27	5.08	9.40	1.06	8.34	4.89
14	6.50	3.76	2.74	7.41	2.49	4.92	7.98	2.73	5.25	6.78	2.10	4.68	8.75	1.60	7.15	4.90
大正 15 昭和元年	6.50	3.84	2.66	7.31	2.52	4.79	7.50	2.87	4.63	7.51	2.50	5.01	8.50	1.10	7.40	4.91
2	6.47	3.72	2.75	7.23	2.24	4.99	7.43	2.73	4.70	7.25	1.78	5.47	8.40	1.10	7.30	4.92
3	6.49	3.75	2.74	7.16	2.18	4.98	7.18	2.57	4.61	7.06	1.96	5.10	8.35	0.65	7.70	4.92
4	6.28	3.63	2.65	6.99	2.03	4.96	7.00	2.46	4.54	7.03	1.89	5.14	8.52	1.01	7.51	4.92
5	6.36	3.74	2.62	7.07	2.17	4.90	7.25	2.42	4.83	6.79	1.90	4.89	8.16	0.75	7.41	4.93
6	6.43	3.86	2.57	7.24	2.23	5.01	7.51	2.27	5.24	7.13	2.20	4.93	8.65	1.15	7.50	4.94
計	200.54	115.32	85.22	227.42	65.41	162.01	233.03	76.46	150.57	222.97	57.03	165.94	264.50	23.30	241.20	154.90
平均	6.27	3.60	2.66	7.11	2.04	5.06	7.28	2.39	4.89	6.97	1.78	5.19	8.27	0.73	7.54	4.84
-1.5	4.77	2.10		5.61	0.54		5.78	0.89		5.47	0.28		6.77	-0.77		3.34

自明治三十三年
至昭和六年 三十二ヶ年間ニ於ケル
最高潮位 7.90 (大正十三年九月十二日)
最低潮位 -1.32 (明治四十年十二月七日) 潮差 9.22 (神戸港修築工事Datum=ヨル)

昭和七年一月調

七、氣 象

五 低潮位一呎一五 潮差七呎五〇を示せり。尙明治三十三年以降最高最低記録は大正十三年九月十二日の九呎四〇及明治四十年十二月七日の〇呎一八(神戸市規定)とす。
今明治三十三年以降昭和六年に至る當港の潮位を示せば別表の如し。
明治三十年より昭和六年に至る平均気温は攝氏十五度にして最高は大正三年八月六日の三十七度六、最低は大正十二年一月二日の零下五度八なり。

季別	風位			
	北	北東	東	東南
年	一三	一六	二	三
冬	一五	一六	一	三
秋	一七	四	一	三
夏	六	四	二	三
春	一三	五	三	三
計	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

(自昭和二年至昭和六年五ヶ年平均百分率)

象	氣			
	一月	二月	三月	四月
氣温	四・四	四・五	七・四	一三・三
降水量	四八・四	五五・三	八九・七	一一三・三
湿度	六七・七	六六・三	六七・〇	六八・四
雲量	五・四	五・九	六・二	六・四
風速	二・七	二・七	二・七	二・六
計	一五〇・〇	一七五・五	二二〇・四	二五〇・四
全年	一・三四〇・九	一九八・一	二二〇・四	二六〇・九
計	二・六	二・六	二・六	二・六

又平均降水量は一ヶ年一千三百四十糎九にして六月最高を示せり。
 尙風位は四季を通じて概して北北東にして平均風速は二・六秒米、最大記録は大正十年九月二十六日の二十三秒米七なり。之を表示すれば左の如し。

項目	1911	1912	1913	1914	1915	1916	1917	1918	1919	1920	1921	1922	1923	1924	1925	1926	1927	1928	1929	1930
...

神戸港潮流的主流と見るべきものは紀淡海峡を通過して和泉灘に出入する渦流にして之に

神戸港大観

移動式蒸気起重機	一噸半	第二岸壁(貯用)	一
ホイスト	一、五〇〇封度	第二十一號R上屋	六
エレベーター	五、〇〇〇封度		六
ストレートシユート	五〇噸(一時間)		六

(ヘ) 鐵道

税關構内に於ける鐵道の延長は十二哩に達し各突堤繫船壁に沿ひ一線、上屋背面道路沿に二線或は三線、物揚場沿上屋背面に二線ありて小野濱驛に連絡す。之れ所謂小野濱臨港鐵道にして、第二及第三突堤間中央幹線道路に面して神戸港驛あり主として輸出入貨物の貸切扱に利用せらる。

(ト) 船舶給水栓

場	所	給水栓	給水栓口径	一個一時間ノ揚水量
第一突堤	十	八	三吋	二
第二突堤	十	九		同
第三突堤	二十	八		同
第四突堤	七	七		同
計				

(チ) 繫船柱

第一突堤	一〇ヶ所	第一突堤根元假防波堤	二ヶ所
第二突堤	一ヶ所	第二物揚場	三ヶ所
第三突堤	一ヶ所	第二岸壁	三ヶ所
第四突堤	九ヶ所	第三物揚場	三ヶ所
合計	五二ヶ所		

(リ) 船舶信號所

第四突堤先端 一ヶ所

突堤維繫船舶に對し掲旗信號をなす。

(ヌ) 新港私設倉庫

名	稱	位	置	構造	階	數	建坪	延坪	現在敷坪數
川西倉庫	第一及第二突堤西部	鐵筋混凝土	五階	一、〇三六坪			六、六五一坪	一、〇八三坪	
同 冷蔵倉庫	同		四階	四三三坪			一、八三三坪	五四一坪	
住友倉庫	第一及第二突堤東部		五階	一、〇二三坪			四、八四九坪	二、〇四三坪	
三菱倉庫	第二及第三突堤間		五階	二、三三五坪			八、六六六坪	二、二三五坪	
東神倉庫	第三及第四突堤間		四階、一部五階	七、二七九坪			九、七四九坪	二、七五三坪	
計				七、二七九坪			三、七七八坪	八、六五四坪	

右私設倉庫の荷役設備は左の如し。

神戸港大観

(川西倉庫)

荷物昇降機 三噸二基、二噸一基

定置起重機(冷蔵庫共用) 三噸一基

電氣トラクター(冷蔵庫共用) 基五

(川西冷蔵庫)

荷物昇降機 二噸二基

ウキンチ 一・五噸一基

(住友倉庫)

天井走行起重機 二噸一基

定座式トランスポーター 一五噸二基

電氣トラクター及トレーラー 各數臺

(三菱倉庫)

エレベーター (二萬封度一基、八千封度四基)

スパイラルシュート 一基

ホイストデリツク ○・五噸一基

鐵道引込線 二〇鎖

(東神倉庫)

一六

ホイスト ○・五噸六基

移動起重機 ○・五噸二基

鐵道引込線 八鎖

トレーラー 六臺

トランスポーター

移動式門形有線電動起重機 一・五噸一基

荷物昇降機 八千封度一基

テルフア一 二臺

起重機 一噸一基

トラクター、トレーラー 各數十基

電氣クレーン 四基
電氣及ガソリントラクター 三九臺
電氣ホイスト ○・五噸一〇臺

エレベーター 八千五百封度七基
ホイツプホイスト ○・五噸二臺

二、税關波止場

名	稱	荷役場延長	水深	棟上	延屋	摘	要
第一波止場		一三二	四尺	三	四六五		
第二波止場		二八一	五尺	九	二、四七五		
第三波止場		四四	五尺	一			
川崎波止場		一七一	五尺	七	二、八二〇	荷役口七間弱棧橋五箇長五二呎一五六呎 幅二〇呎 鐵道延長	二・五哩

三、高濱岸壁、和田棧橋、東神岸壁、東神棧橋

高濱岸壁及和田棧橋は共に三菱倉庫、東神岸壁及東神棧橋は東神倉庫各社の經營する所に
して其の設備を對比すれば左の如し。

名	稱	延長	幅員	水深	船席	上屋(岸壁棧橋上)	倉庫(岸壁棧橋上)	照明設備
高濱岸壁		三七	一	二七	三	六	四七	ア
和田棧橋		一〇〇	一	二七	二	一	一	ア
東神岸壁		一五〇	一	二七	二	三、六〇五	一	ア
東神棧橋		一〇〇	一	二七	二	五四三	一	ア

尙前掲岸壁竝棧橋は其接續地帯と共に保税地域にして、保税上屋及保税倉庫等あるも此等は節を改めて述ぶべし。又此の地域に於ける荷役設備は左の如し。

(高) 濱岸壁

移動式蒸気起重機	一五噸四臺	移動式電氣起重機	三噸八臺
電氣ホイスト	一噸及〇・五噸九臺	定置式電氣起重機	一五噸一臺
浮装蒸気起重機	二噸及一・五噸二臺	スタツキングマシン	〇・二五噸二臺

鐵道八、四九五米湊川驛に連絡す。給水照明設備あり。

(和) 田棧橋

起重機	一・五噸六基	エレベーター	一萬封度二基
ホイップホイスト	七百封度五基	デリック	一千封度二基
可動ホイスト	〇・二五噸一三臺	シュートコンベヤー	二臺
スタツキングマシン	八臺	給水照明設備あり。	

(東) 神岸壁及東神棧橋

定置式蒸気起重機	三噸一臺	移動式電氣起重機	五噸一臺、四噸一臺
浮装蒸気起重機	三噸一臺、一三噸一臺	電氣ホイスト	〇・五噸四臺
鐵道一・四籽小野濱貨物驛に連絡す。		給水照明設備あり。	

第二款 工事中の外國貿易擴張設備

第二期築港工事に屬するものにして現在完成したる第四突堤東側岸壁竝上屋二棟は前款に述べたるを以て其他の部分に就き概要を述ぶべし。

一、濱邊通地先

- (イ) 埋立地 (第二期) 總面積約 七九、六〇〇坪 (第四突堤東側八、七七八坪は完成)
- 倉庫敷地 (第五突堤中央部) 四、九二〇坪
- 一般貸地 一三、五六二坪
- (ロ) 突堤

名	稱	延長	幅員	岸壁延長	水深	摘要
第五	突堤	二四五	八〇	五七三	西側頭部寄四尺東側南側三尺	突堤中間に幅員三間延長三五間水深三三尺の解渠あり
第六	突堤	二四五	九〇	四九〇	兩側三三尺	

上屋名稱	構造	階數	桁行及張間	延坪	所在
第二十二號	鐵筋混凝土	平屋	一五×九〇	一、三五〇坪	第五突堤
第二十三號	同	同	一五×九〇	一、三五〇坪	
第二十四號	同	同	一五×八一	一、二五〇坪	第六突堤
第二十六號	同	同	一五×六〇	九〇〇坪	
第二十七號	同	二階建	一六×八一	二、五九三坪	
第二十九號	同	平屋	一六×六〇	九六〇坪	第六突堤
合計				八、三六七坪	

上屋配置及船席との關係左の如し。

船岸壁	延長	船席	棟上		延坪
			數	坪	
四〇尺岸壁 第五突堤 西側 頭部寄	一一〇	大、中型船 一〇	一	一、三五〇	第一、三五〇坪
三〇尺岸壁 第五突堤 西側 根元寄	一三五	同	一	一、三五〇	
第五突堤 東側	二四五	同	二	二、一五〇	
第六突堤 西側	二四五	同	二	三、五五二	
第六突堤 東側	二四五	同	一	一、三五〇	
合計	九八〇	大、中型船 小型船 一〇	六	八、三六七	

(三) 荷役設備

埠頭用移動式電氣起重機

扛力 五噸 四臺

同

扛力 一・五噸 八臺

定置式蒸汽起重機

扛力 一二噸 一臺

(ホ) 鐵道

突堤繫船壁に沿ひ一線、上屋背面沿に一線乃至二線、物揚場沿上屋背面に二線あり、延長六哩に達し小野濱驛に連絡す。

(ヘ) 船舶給水、照明等設備す。

二、海岸通地先

(イ) 埋立地(第二期)總面積一〇、二八二坪

内譯 海岸通突堤及第二波止場前

五、八八七坪

西遊園地先

三、六五八坪

米利堅波止場頭部

七三七坪

(ロ) 上屋

名	稱	構	造	階	數	桁	行	及	張	間	坪	數	所	在
第五號	(西側)	木	造	平	屋	七	×	三	七	五	二	六	米	利
第六號	(西側)	同	同	同	同	七	×	三	七	五	二	六	米	利
第七號		同	同	同	同	一	四	×	三	三	四	四	第	二
第八號		同	同	同	同	一	四	×	三	三	四	四	第	二
第九號		同	同	同	同	一	〇	×	三	〇	〇	三	第	二
第十號		同	同	同	同	一	〇	×	七	八	〇	七	第	二
第十一號		同	同	同	同	一	〇	×	七	八	〇	七	第	二
合計						一	〇	×	七	八	〇	七	海	岸

(ハ) 物揚場及護岸

所	在	延	長	水	深
西遊園地	先		一五〇		九尺
米利堅波止場	頭部		一一六		九尺
第二波止場	地先		一四七		九尺
海岸通突堤	東側		二三八		九尺
合計			六五一		二九尺

之等に對する海面埋立工事は内務省所轄にして同陸上設備は大藏省所管に屬す。今昭和六年度末工程表を示せば左の如し。

内務省所管神戸港修築工事工程表

(昭和六年度末)

種	別	位	置	畫	竣		功	摘	要
					面積又は延長	面積又は延長			
埋	外國貿易設備	濱邊通地先	海岸通地先		一〇、二八三	三、六三〇	〇・三〇	西遊園地及第二波止場前面 土量 竣功土量 六七一、〇〇〇立坪	四九、一二〇立坪 九、三三三立坪
					七、六〇〇	六二、五九〇	〇・七九		
立	外國貿易設備	濱邊通地先	濱邊通地先		八九、八八三	六六、三三〇	〇・七一	大小船舶十五隻維繫	
					四〇、二〇〇	二二〇、〇〇〇	一・〇〇		
繫船岸壁	外國貿易設備	濱邊通地先	濱邊通地先		一、四三〇・七	一、三三六・〇	〇・九三		
					三三、一〇〇・七	一、〇九六・〇	〇・九二		
物揚場	外國貿易設備	同	濱邊通地先		二、三三〇・〇	九七・〇	〇・四三	米利堅波止場増築延長ヲ含ム	
					四一、六六五	二六九・五	〇・六四		
計	外國貿易設備	同	濱邊通地先		七、七九〇・〇	三〇〇・〇	〇・四一		
					一、四九二・五	七、七六五	〇・五一		
假護岸	外國貿易設備	濱邊通地先	濱邊通地先		一、六〇〇・〇	一、五八・八	〇・六八		

大藏省所管陸上設備工程表

(昭和六年度末)

工	程	計畫數量	竣功數量	竣功歩合	摘	要
重	機	道	屋	裝	路	
		二〇、〇七一坪	三、二九一坪	〇・一六	木造	七棟 三、三〇九坪
		一九、一一九	二、九七九	〇・一五	鐵筋混凝土	八棟 一三、〇七一坪
		一六、三八〇	五、九三五	〇・四〇	鐵筋混凝土	上屋
		四四	四五・二	〇・一〇	鐵筋混凝土	上屋
		一三	三	〇・二三	鐵筋混凝土	上屋

尙本港第一期及第二期築港工事費内譯は左の如し。

一、築港工事費

第	期	第一	總		國庫負擔額	神戸市負擔額
			額	負擔額		
外國貿易設備	第一	一五、〇九二、〇三七円	一一、四二二、二三五円	三、六六九、八〇二円		
海面埋立費	第一	一一、九四〇、七八三	五、九七〇、三九二	五、九七〇、三九二		
陸上設備費	第一	八、五二一、〇九九	四、八七七、九三一	三、六四三、一六八		
防波堤費	第一	一二、一八七、九四四	一二、一八七、九四四			
貯木場費	第一	七五〇、〇〇〇	三七五、〇〇〇	三七五、〇〇〇		
外國貿易設備	第二	備考				
海面埋立費	第二	海面埋立及陸上設備ノ一切ヲ含ム、政府當初ノ計畫タル三、九六〇、〇〇〇圓及川崎波止場費二八〇、七七八圓ヲ控除セルモノノ約三分ノ一ヲ市ニ於テ負擔ス大正十一年度完成				

期	二		備設	計
	國內貿易設備	陸上設備費		
第一期、第二期合計	一〇、二三一、九六二	三、四一〇、六五四	備考	三三、三九九、八二六
第二期合計	三、四二〇、〇〇〇	一、	備考	二三、四一一、二六七
第一期、第二期總計	一三、六五一、九六二	三、四一〇、六五四	備考	九、九八八、五五九
第一期、第二期總計	四七、〇五一、七八八	二六、八二一、九二一	備考	二二、二二九、八六七
第一期、第二期總計	六二、一四三、八二五	三八、二四四、一五六	備考	二二、八九九、六六九

二、第二期築港工事費年度割

年度	内譯		總額	政府分	神戸市分
	海面埋立費	陸上設備費			
大正八年	二、七九〇、〇〇〇	一、	二、七九〇、〇〇〇	一、七五〇、〇〇〇	一、〇四〇、〇〇〇
同九年	四、〇〇〇、〇〇〇	一、	四、〇〇〇、〇〇〇	二、四五〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇
同十年	三、五〇〇、〇〇〇	一、	三、五〇〇、〇〇〇	一、六五〇、〇〇〇	一、八〇〇、〇〇〇
同十一年	三、一〇〇、〇〇〇	一、	三、一〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇
同十二年	一、七五〇、〇〇〇	一、	一、七五〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、七五〇、〇〇〇
同十三年	二、三四、九五六	一、	二、三四、九五六	一、三四、九五六	一、〇〇〇、〇〇〇
計	二、八五〇、六八二	一、	二、八五〇、六八二	一、七五〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇

年 度	總 收 入 額	支 出 額	差 引 利 益 金	市 配 當 金	總 收 入 額 市 配 當 割 合	配 當 年 度
同 十 四 年	二,〇〇〇,〇〇〇	一,九六,八七五	八四,三三七	一,四〇〇,〇〇〇	一,一三,五〇〇	一,五三,五〇〇
昭 和 元 年	二,〇〇〇,〇〇〇	二,二八,七五〇	九三,七五〇	一,四〇〇,〇〇〇	一,一三,五〇〇	一,五三,五〇〇
同 二 年	二,〇〇〇,〇〇〇	二,四〇〇,〇〇〇	一七,四三〇	一,五三,四二九	一,一三,五〇〇	一,五三,五〇〇
同 三 年	二,〇〇〇,〇〇〇	二,五〇〇,〇〇〇	一七,四三〇	一,五三,四二九	一,一三,五〇〇	一,五三,五〇〇
同 四 年	一,九四四,五〇〇	二,六四四,五〇〇	二四,二八六	一,五三,四二九	一,一三,五〇〇	一,五三,五〇〇
同 五 年	一,九〇四,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	一,六九,九五二	一,六九,九五二	一,一三,五〇〇	一,五三,五〇〇
同 六 年	一,七〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	六五,〇〇〇	二,二三,四五九	一,一三,五〇〇	一,五三,五〇〇
同 七 年	二,五七〇,〇〇〇	二,一〇〇,〇〇〇	四六,一九九	二,二六,一九九	一,一三,五〇〇	一,五三,五〇〇
同 八 年	一,八三三,二三三	四三三,〇〇〇	二二,三三九	二,四六,三三九	一,一三,五〇〇	一,五三,五〇〇
同 九 年	五〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	四〇七,四八八	二,三九,六七二	一,一三,五〇〇	一,五三,五〇〇
同 十 年	五〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	三九〇,〇〇〇	五六,三七〇	一,一三,五〇〇	一,五三,五〇〇
同 十 一 年	七五五,〇〇〇	七五五,〇〇〇	五〇三,六五九	五〇三,六五九	一,一三,五〇〇	一,五三,五〇〇
同 十 二 年	八八八,六六八	八八八,六六八	八八八,六六八	八八八,六六八	一,一三,五〇〇	一,五三,五〇〇
總 額	三三,四〇〇,〇〇〇	三三,四〇〇,〇〇〇	四,八七七,九三二	三六,二六六,六九九	三,六四三,一六八	三三,四〇〇,〇〇〇

備考 大正八年度年割額中ニハ一、二五〇、〇〇〇圓大藏省施行ノ防波堤築造費ヲ含ム
 ※印ハ内國貿易陸上設備費トス

次に明治四十二年以降昭和六年に至る第一期及第二期築港設備の収支明細表を掲げ其實績を示さん。

三、第一期並第二期築港設備收益金

年 度	總 收 入 額	支 出 額	差 引 利 益 金	市 配 當 金	總 收 入 額 市 配 當 割 合	配 當 年 度
自明治四十二年 至大正三年	六九,三四六,五〇〇	三,三六九,八五五	六五,九七六,六四五	二八,三五九,八二〇	〇・四〇九	大正五年
大正四年	一一,七五五,六六五	九三九,五三〇	一〇,八一五,一三五	四,三三一,四八〇	〇・三六八	同 六年
同 五 年	七三,九三三,八〇〇	八,七〇〇,〇九〇	六五,二二二,七一〇	二四,一八八,〇〇〇	〇・三三六	同 七年
同 六 年	三七〇,二七七,〇〇〇	四七,四六六,五五〇	三二二,八〇〇,四八〇	一一,三三五,三三〇	〇・三〇〇	同 八年
同 七 年	七〇一,四七一,三七〇	八四,五〇〇,四六〇	六一六,九〇〇,九一〇	二二,三三四,三七〇	〇・三〇三	同 九年
同 八 年	六九〇,八九六,三三〇	一三,八六六,二三〇	五五四,〇三〇,〇〇〇	一八,〇〇〇,〇〇〇	〇・二六九	同 十年
同 九 年	一,三七二,五三二,三四〇	二八六,〇五一,一九〇	一,〇八五,五二一,一五〇	二八六,八九〇,七六〇	〇・二〇九	同 十一年
同 十 年	五三四,四二一,一八〇	一八七,四三四,四七〇	三三六,九八六,七一〇	二六,九三三,〇〇〇	〇・四一三	同 十二年
同 十 一 年	六六四,七九二,二七〇	一八九,七三四,七五〇	四七五,〇四四,五二〇	二二,三七九,〇〇〇	〇・三五二	同 十三年
同 十 二 年	八六九,六九二,五四〇	二二六,〇五四,二五〇	六四三,九一五,二九〇	二二,三七九,〇〇〇	〇・二六九	同 十四年
同 十 三 年	九二一,九七八,〇三〇	一七二,六八九,四六〇	七三九,二八八,五七〇	二二,三七九,〇〇〇	〇・二五六	昭 和 元 年
同 十 四 年	四七八,五七九,一五〇	一四八,二七〇,一九〇	三三〇,三〇八,九六〇	二二,三七九,〇〇〇	〇・四八八	同 二年
昭 和 元 年	四六一,三七八,八〇〇	一三九,九五八,六八〇	三三一,六六〇,一二〇	二二,三七九,〇〇〇	〇・五〇六	同 三年
同 二 年	四五一,四二一,八〇〇	一八一,六四四,九三〇	二六九,八〇六,八八〇	二二,三七九,〇〇〇	〇・五二八	同 四年

第一期
第二期 利

區分	年 度	明四十二年治度	同九年 度	同十年 度	
		円	円		
收 入	土地建物使用料		275,687.520	414,050	
	内	上屋其他 使 用 料		559,027.510	258,980
		上屋其他 專 用 料		5,817.200	1,540
		土 地 專 用 料		785.400	160
	譯	收 容 貨 物		10,057.410	153,340
	繫船岸壁使用料		66,454.820	83,530	
	曳船使用料		23,000.000	22,520	
	起重機使用料		6,420.000	4,210	
	棧橋會社ヨリ買上 ニ係ル棧橋使用料	2,455.230			
	官有物拂下代			70	
合 計	2,455.230	71,562.340	524,411		
支 出	税 關 費		73,456.350	143,297	
	諸 支 出 費		427.740	1,130	
	營 繕 費		55,226.540	19,840	
	災 害 費		37,131.840	23,150	
	大 正 三 年 臨 時 事 件 費		37,902.010		
	税 關 防 疫 費		1,033.980		
	税 關 貨 物 臨 時 取 締 費 其 他		30,872.730		
合 計		16,051.190	187,424		

備考 收容貨物敷料欄中大正九年720税關臨時諸費

備考 昭和五年度ヨリ第二期築港設備收益金ヲ含ム

合同計	同六年	同五年	同四年	同三年
九、三六四、一八六、六三五	三、八八二、五七一、五〇〇	四、二〇九、八〇九、四九〇	四、五八〇、〇〇〇、三九〇	四、四八三、七〇〇、七〇〇
二、三九六、四三三、三三五	一、〇三三、四九二、九〇〇	二、二二五、五六、九〇〇	一、五八三、三六、一〇〇	一、九八、七〇〇、三〇〇
六、九六七、七五三、三六〇	二、八五一、〇七、八六〇	二、九八、五八一、五七〇	二、九九、六五四、二九〇	二、四六、〇六二、四二〇
三、五五〇、六七〇、七〇〇	三、〇九、四八、五八〇	三、〇〇、九三、三〇〇	二、三三、七六、〇〇〇	二、三三、七六、〇〇〇
〇、三七九	〇、七九六	〇、七二五	〇、五二〇	〇、五三六
	同八年	同七年	同六年	同五年

神戸港大観

關新港設備 (第一期) (第二期) 利用ニ依ル收支内譯表

	同七 年 度	同八 年 度	同九 年 度	同十 年 度	同十 一 年 度	同十 二 年 度	同十 三 年 度	同十 四 年 度	昭元 年 和 度	同二 年 度	同三 年 度	同四 年 度	同 五 年 度		同 六 年 度	
													第 一 期	第 二 期	第 一 期	第 二 期
3,100	650,276.910	613,132.770	1,275,687.520	414,051.010	520,444.670	687,722.070	721,996.930	279,721.460	259,263.560	229,429.740	222,840.400	223,114.880	180,630.360	3,831.230	165,206.630	8,264.150
1,820	256,196.460	184,803.940	659,027.510	258,988.440	252,755.180	408,313.190	437,353.020	119,195.950	109,983.790	86,769.880	89,662.560	87,135.000	44,566.130	335.430	35,595.550	2,426.150
—	—	—	5,817.200	1,545.200	106,162.000	42,884.000	260.000	168.000	168.000	174.000	—	—	—	3,486.800	—	5,838.000
—	—	—	785.400	168.000	1,311.000	99,600.000	119,534.000	119,966.000	120,352.000	120,339.000	115,499.500	117,582.500	123,324.000	9.000	122,188.000	—
1,280	394,080.450	46,559.530 381,769.300	610,057.410	153,349.400	159,216.490	136,924.880	164,849.910	40,391.510	23,759.770	22,146.860	17,678.340	18,397.380	12,740.230	—	7,423.080	—
1,930	37,791.710	54,021.060	66,454.820	83,539.640	108,355.350	140,966.220	146,199.100	159,674.440	158,905.570	179,807.070	184,361.070	191,501.510	196,309.130	—	180,454.970	17,001.670
5,000	9,644.000	17,146.000	23,000.000	22,528.000	30,276.000	33,858.000	38,936.000	36,422.000	39,626.000	39,024.000	34,312.000	39,770.000	42,510.000	—	39,032.000	816.000
5,000	3,758.750	6,596.500	6,420.000	4,219.500	5,703.250	7,423.250	4,846.000	2,761.250	3,832.750	3,161.000	3,319.250	3,614.000	1,649.000	—	1,286.750	55.000
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	73.000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,276.800	—
7,030	701,471.370	690,896.330	1,371,562.340	524,411.180	664,779.270	869,969.540	911,978.030	478,579.150	461,627.880	451,421.810	444,832.720	458,000.390	421,098.490	3,831.230	388,257.150	26,136.820
3,310	12,854.500	63,167.980	73,456.350	143,297.570	154,756.540	171,034.310	160,067.350	117,153.220	121,804.390	127,119.280	121,780.400	148,996.100	116,770.090	1,450.420	101,110.260	2,196.100
4,500	3,000.000	—	427.740	1,130.920	453.770	457.240	69.050	58.700	33.550	86.850	—	—	—	—	6.000	—
5,350	12,560.990	—	55,226.540	19,844.000	34,524.440	21,010.700	12,553.060	12,502.940	18,115.740	17,666.800	66,827.400	5,400.000	5,746.830	—	2,033.030	—
—	—	—	87,131.840	23,151.980	—	33,552.000	—	17,155.330	—	36,742.000	10,162.500	3,950.000	—	—	—	—
2,390	56,134.970	73,698.250	37,902.010	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	1,033.980	—	—	—	—	1,400.000	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	30,872.730	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5,550	84,550.460	136,866.230	286,051.190	187,424.470	189,734.750	226,054.250	172,689.460	148,270.190	139,958.690	181,614.930	198,770.300	158,346.100	122,516.920	1,450.420	103,149.290	2,196.100

5,990 010 事業用石炭購賣補正費7,539 720 税關臨時諸費7,024 圓ノ合計トス (昭和五年度ヨリ第二期築港設備收益金ヲ含ム)

神戸税關新港設備 (第一期) 第二期 利用ニ依ル收支

區分	年	年度															
		明四十二年治度	同四十三年度	同四十四年度	大元 年 正度	同二 年 度	同三 年 度	同四 年 度	同五 年 度	同六 年 度	同七 年 度	同八 年 度	同九 年 度	同十 年 度	同十一 年 度	同十二 年 度	
收	土地建物使用料	—	—	11,219.185	15,436.155	16,686.430	9,722.560	6,891.515	61,648.260	321,733.100	650,276.910	613,132.770	1,275,687.520	414,051.000	520,444.670	687,722.070	
	上屋其他 使用料	—	—	8,922.805	12,335.245	13,777.020	8,385.130	6,114.905	48,787.890	191,891.820	256,196.460	184,803.940	659,027.510	258,988.440	252,755.180	408,313.190	
	上屋其他 專用使用料	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5,817.200	1,545.200	106,162.000	42,884.000	
	土地專用 使用料	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	785.400	168.000	1,311.000	99,600.000	
	譯 收容貨物 敷	—	—	2,276.380	3,100.910	2,909.410	1,337.430	776.610	12,860.370	129,841.280	394,080.450	46,559.530 381,769.300	610,057.410	153,349.400	159,216.490	136,924.880	
	繫船岸壁使用料	—	—	—	—	1,729.460	3,247.530	4,594.650	10,351.270	35,531.930	37,791.710	54,021.060	66,454.820	83,539.640	108,355.350	140,966.220	
	曳船使用料	—	—	—	—	—	—	—	698.000	8,096.000	9,644.000	17,146.000	23,000.000	22,528.000	30,276.000	33,858.000	
	起重機使用料	—	—	595.000	1,170.750	1,106.250	481.250	269.000	1,224.750	4,916.000	3,758.750	6,596.500	6,420.000	4,219.500	5,703.250	7,423.250	
	棧橋會社ヨリ買上 ニ係ル棧橋使用料	2,455.230	1,739.890	1,411.810	1,233.500	1,111.500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	官有物拂下代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	73.000	—	—
合計	2,455.230	1,739.890	13,225.995	17,840.405	20,633.640	13,451.340	11,755.165	73,922.280	370,277.030	701,471.370	690,896.330	1,371,562.340	524,411.180	664,779.270	869,969.540		
支	税關費	—	—	275.370	814.192	1,032.293	1,248.000	939.530	8,080.940	9,943.310	12,854.500	63,167.980	73,456.350	143,297.570	154,756.540	171,034.310	
	諸支出費	—	—	—	—	—	—	—	629.150	34.500	3,000.000	—	427.740	1,130.920	453.770	457.240	
	營繕費	—	—	—	—	—	—	—	—	8,266.350	12,560.990	—	55,226.540	19,844.000	34,524.440	21,010.700	
	災害費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	87,131.840	23,151.980	—	33,552.000	
	大正三年 臨時事件費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	税關防疫費	—	—	—	—	—	—	—	—	29,172.390	56,134.970	73,698.250	37,902.010	—	—	—	
	税關貨物臨時 取締費其他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,033.980	—	—	—	
合計	—	—	275.370	814.192	1,032.293	1,248.000	939.530	8,710.090	47,316.550	84,550.460	136,866.230	286,051.190	187,424.470	189,734.750	226,054.250		

備考 收容貨物敷料欄中大正八年度46,559圓530ハ收容諸費トシ税關貨物臨時取締費其他欄中大正九年度ノ分ハ税關貨物臨時取締費16,99圓010事業用石炭購賣補正費7,539圓720税關臨時諸費7,024圓ノ合計トス (昭和五年度ヨ)

神戸港大観
(ホ) 構内面積 神戸市有地

一、二二六坪九三

鐵道用地

六四七坪四七

兵庫縣公用地

一九七坪七二

內務省公共財產

一九三坪五二

大藏省用地

二六〇坪九八

合計

二、五二六坪六二

三〇

二、鈴木港灣

護岸延長 二五八間六

荷揚場延長 一四八間五

水深八尺

三、葦合港灣

護岸延長 四四三間五

共同荷揚場延長 二〇九間

水深八尺

四、島上棧橋(兵庫商船組所有)

(昭和七年十一月末日限撤去)

棧橋延長 四一間八

幅員三間(長約一〇間、幅三、五間、ホンツウ三箇連結)

水深一八尺

中小型船用船席二

五、新川(運河)

延長 七〇七間

護岸 一、四三六間 幅員一五間

六、兵庫運河

水深 四尺乃至一〇尺

水面積 一七、七〇〇坪

本線延長 一〇一五間五

幅員二一間乃至二八間 水深六尺乃至八尺

支線延長 四〇〇間

幅員 八間乃至一六間 水深六尺

總水面積 四二、四三八坪

七、苧藻島運河

運河延長 五九〇間

幅員三五間 水深一二尺

埋立總面積 二一、九八六坪

防波用護岸 二、一七間

物揚場延長 四九一間

護岸 一六六間

假防波堤 (一) 一五五間

(二) 三一間 水面積 三二、一四三坪

(回轉橋) 幅員一五尺

水面有效橋長 五十九尺

八、新湊川運河

運河延長 (新湊川堰堤下流) 三五〇間

幅員 一五間乃至一七間

埋立總面積 三、五〇三坪

物揚場延長 六九九間三

水深 六尺乃至一二尺

水面積 五、五九八坪

合	計	一八尺岸壁	計		中央埋立地北側
			國産波止場	海岸通突堤西側根元	
計	一、六四五	二〇三	二〇三	七〇二	一〇三
	二六	四	四	一四	三
	一三	三	三	五	一
	八、〇一六	一、〇八〇	一、〇八〇	二、八四四	

(ロ) 貨地

場所別	一號貸地	二號貸地	計
兵庫埋立地	一三、五五八坪	一九、四五四坪	三三、〇一二坪
國産波止場	四、二六四	一	四、二六四
鐵道棧橋	四六九	一	四六九
計	一八、二九一	一九、四五四	三七、七四五

- (ハ) 荷役設備 埠頭用自動車型起重機 八 臺
- (ニ) 構内鐵道 繫船岸壁沿上屋背面に複線全長二三一鎖
- (ホ) 船舶給水、消火、照明、排水等の諸設備を施す

二、其の他

鐵道棧橋 增幅面積 一、一二五坪

第三節 港内一般設備

第一款 防波堤、港内區分及航路

一、防波堤

港内防波堤の主なるものは其數六個總延長 三、七五七間三にして本港第二期工事として施工中に屬し、昭和六年度末竣功延長は 二、四四九間七、竣工歩合六割五分とす。尙此の外に鈴木港灣、葺合港灣に於ける兵庫縣管理の二三五間、三菱造船所の三一七間及葦藻島運河二個一八六間、新湊川運河尻一二間等あり。

防波堤名	豫定延長	竣功延長	竣功歩合	摘	要
南防波堤	八六〇・四 _間	六七〇・七 _間	〇・七八	上部工ヲ除ク	
東防波堤	六三二・五	六三二・五	一・〇〇	同	
東防波堤ノ一	七三二・五	二二〇・〇	〇・三〇	同	
東防波堤ノ二	八三一・九	八三一・九	一・〇〇	同	
假防波堤	六〇〇・〇	一	一	同	

備外國船溜貿易防波堤	神戶港大觀
計	
一〇〇〇〇	九四・六
三、七五七・三	二、四四九・七
	〇・九四
	〇・六五

二、港内區分及航路

昭和二年四月十二日發布されたる改正開港々則施行規則に依る神戸港々内區分及航路は左の如し。

神戸港區分表

第一區	第二區	第三區
神戸港東防波堤南燈臺ヨリ二百七十度ニ引キタル線、東防波堤ノ線及同線ヲ延長シタル線内ノ水域	神戸港東防波堤南燈臺ヨリ二百七十度ニ引キタル線、東防波堤ノ二及南防波堤内ノ水域	第一區及第二區以外ノ水域
汽船、帆船及雜種船但シ雜種船ハ沿岸附近ニ限ル	同前	軍艦、爆發物又ハ容易ニ燃燒スベキ物件ヲ搭載セル船舶及雜種船但シ雜種船ハ沿岸附近ニ限ル

神戸港航路表

第一航路	第二航路
神戸港東防波堤ノ二南燈臺及神戸港南防波堤東燈臺ヨリ各百四十度及三百二十度ニ引キタル平行線内ニシテ前記燈臺ノ内方及外方各五百米ノ水域	南防波堤西端ニ設置セル浮標ヨリ百八十五度三十分及五十分ニ引キタル線ノ西側百五十度ニシテ前記浮標ノ外方ニ於テハ、三百米ノ内方ニ於テハ、第二乃至第五航路ノ會合點ニ至ル迄ノ水域
特定條件 總噸數二千噸未満ノ船舶ハ已ムヲ得ザル場 合ノ外第一航路ヲ航行スベカラズ	

第三航路	第四航路	第五航路
神戸港東防波堤南燈臺及神戸港東防波堤ノ二北燈臺ヨリ各八十七度及二百六十七度ニ引キタル平行線内ニシテ前記燈臺ノ外方ニ於テハ三百米其ノ内方ニ於テハ第二及至第五航路ノ會合點ニ至ル迄ノ水域	國產波止場及花隈町ニ建設シタル頭部三角形ノ白色立標ヲ見通シタル線ノ西側六十米ノ幅ニシテ第二乃至第五航路ノ會合點ニ至ル迄ノ水域	兵庫島上町ニ建設シタル頭部三角形ノ紅色立標ニ至ル迄ノ水域

第二款航路標識

一、燈臺

名稱	所在地	位	置	初點年月	構造	等級及燈質	明孤	燈高(米)	燭光數(千燭光)	光達距離(浬)
東防波堤南燈臺	東防波堤南端	北緯	東經	大正七年五月	紅色 明暗紅色	明暗紅色	全	10.6	3	11.5
東防波堤北燈臺	東防波堤北端	北緯	東經	昭和六年八月	白色 明暗綠色	明暗綠色	全	10.4	2	11.5
					鐵櫓造形	アセチリン瓦斯		12.7	10	

岬臺	田和燈	堤臺	波燈	防南東	二ノ堤	波燈	防南東	東防南
岬	田和	堤端	波	防南東	二ノ堤	波	防南東	東防南
	34°39'			34°39'				34°39.2'
	135°11'			135°12'.3				135°12.4'
	月八年五治明			月八年六和昭				月八年六和昭
鐵造	六角	紅	色	土混圓白	造凝形塗	土混圓紅	造凝形塗	造凝形塗
電燈	一三秒明 三秒明 五秒暗	明暗白 光二秒 暗	第 四 等	アセチリン 瓦斯	閃白每 秒一閃	第 四 等	アセチリン 瓦斯	群閃白 每八秒 二秒 ニ
	東)ヨリ六度(北	一六度(南八度		度	全	度	全	度
	13.9			16.8				16.8
	16.7			19.0				19.0
	18			3				3
	13.0			13.5				13.5

二、尙港界線及航路表示のため挂燈浮標立標の設置あり。

第三款 繫船浮標

港内繫船浮標数は官設(神戸税關所管)二十三個、私設十個(三菱造船所五個)合計三十三個にして其配置は第一區(神戸沖)十個、第二區(兵庫沖)十六個、第三區(小野濱沖)七個なり

昭和六年中に於ける官設浮標利用状況は左表に示すが如く繫船總隻數二千七十六隻、總噸數九百四十八萬二千三十噸、其の使用料收入額五萬貳千五百六拾參圓にして之を前年に對比すれば隻數百四隻、總噸數四十六萬三千六百七十七噸、使用料金五千五百參拾九圓を何れも減少せり

繫船浮標最大能力表

浮標番號	繫留船舶噸數	船體ノ長サ	浮標番號	繫留船舶噸數	船體ノ長サ			
一、二、三、四、五、六、七	三、五〇〇噸迄	三五〇呎	九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇	一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇	三五〇呎	一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇	三五〇呎	一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇

昭和六年中官設繫船浮標使用実績

浮標番號	隻數	總噸數	延日數	使用料金	浮標番號	隻數	總噸數	延日數	使用料金
第一號	一七二	四三、八五四	二二三	二、三〇四	第十三號	九七	六〇、六七五	二二七	三、一〇四
第二號	一八六	五五、〇三四	二四〇	二、四〇〇	第十四號	一〇三	五〇、九一七	二三五	二、九四五
第三號	一五二	四九、〇四七	二二二	二、三三五	第十五號	七三	四五、八九一	二二五	三、〇五五
第四號	一六	五二、四七八	二二六	二、五九〇	第十六號	三三	二九、四八九	一〇〇	一、二八二
第五號	一六〇	四七、五三七	二六四	二、六四〇	第十七號	五〇	二九、〇九〇	一九九	二、六四九
第六號	一四	六八、一五六	二八〇	三、五五五	第十八號	三	二〇、五五一	一四〇	一、八三五
第七號	二六	六〇、九三七	二五七	三、六五五	第十九號	一八	一〇、八五三	七二	九〇〇

神戸港大観

第八號	二三五	六九六、二九九	二七六	三、七〇五	第二十號	二、〇七六	九、四八二、〇三〇	一八七二	一八〇
第九號	二二三	六六二、一五六	二四七	三、四〇五	第二十一號	二	九、二五、八三三	一三、一七六	一八〇
第十號	二二八	七〇〇、五〇七	二六三	三、七〇六	第二十二號	五	九、二五、八三三	三、〇〇九	二五五
第十一號	一三一	六九四、九六六	二五	三、二三一	第二十三號	二	五、八五三	一七	二五五
第十二號	九〇	三三七、八五一	二二三	二、四三〇	計	一一	五、八五三	二七	三八〇
									五、五六三

最近五ヶ年官設繫船浮標使用表

種別	年次	昭	和	昭	和	昭	和	昭	和
繫船數	船數	六	二	五	四	三	二	三	二
總噸數	噸數	九、四八二、〇三〇	九、四四五、七〇七	一〇、〇八三、四三五	九、二五、八三三	九、八三九、八二三	九、八三九、八二三	九、八三九、八二三	九、八三九、八二三
使用料	金	五、五六三	五、八、一〇二	五、八、二九七	五、八、五三三	五、八、五三三	五、八、五三三	五、八、五三三	五、八、五三三

第四款 通船

當港内に於ける通船は之を第一類及第二類船に分ち、第一類船は主として旅客及旅客携帶品の輸送に従事し、第二類船は専ら貨物輸送に當れり。
左に其の概要を述べん。

一、第一類船

第一類船に屬するものは二會社、二組合の經營する所にして、昭和六年末に於ける通船數は二百十二隻を算し、之が従業員は二百三十人なり。又一ヶ年の輸送成績を觀るに乗客數十六萬六千五百六十六人、此の賃金拾萬參千七百貳拾六圓にして前年に比し前者十七萬六千餘人後者四萬六千圓の激減を見る。

第一類船隻數及従業員一覽表

經營者	區別	和	船	船	從	業	員
神戸通船株式會社	第一類	二八	隻	二九	人	二四	人
神戸第三波止場第一類通船營業組合	第一類	一一	隻	一一	人	一	人
東川崎通船合資會社	第一類	一〇	隻	一〇	人	一	人
兵庫第一類通船營業組合	第一類	三六	隻	三六	人	一	人
計		八五	隻	八五	人	二六	人

輸送成績四ヶ年對照表

名稱	年次	昭和六年		昭和五年		昭和四年		昭和三年	
		乗客數	賃金	乗客數	賃金	乗客數	賃金	乗客數	賃金
神戸通船株式會社		六、八二二	五、八六七	二、〇六三	八四、二四五	二六、七三三	七、三三九	八三、九五五	六、四六四
神戸第三波止場第一類通船營業組合		六、三三〇	三、九二〇	八、七六〇	四八、〇七五	一〇、三三〇	六、一〇〇	一四四、六〇〇	八六、四〇〇
東川崎通船合資會社		一九、四六二	五、〇六〇	二四、一五〇	七、二九五	六、〇八〇	七、八二四	二六、三四〇	七、九〇一
兵庫第一類通船營業組合		二、五六三	六、八七九	二六、二六四	一〇、六〇二	一一、五六六	五、九三三	一四、八五二	七、四二六
計		一六、一五六	一〇、七二六	三四二、七六六	一五〇、二二七	四〇一、五四九	一五、一四六	二六九、六九七	一七二、二〇一

二、第二類船

第二類船は營業者に於て神戸解業組合を組織し、昭和六年度末現在に於ける組合員数は四百九十名、船數二千二百七十三隻、内小蒸汽船四十四隻、發動機船四十六隻、その他二千八百八十三隻にして前年に比し組合員二十八名を減少し、船數は却つて九十四隻の増加を示せり。組合員中上組合資會社の所有船數は百五十七隻にして首位を占め、大正運輸株式會社の九十五隻三菱倉庫株式會社の九十一隻、大正回漕株式會社の八十一隻、株式會社富島組神戸支店の八十隻、川西倉庫株式會社の六十八隻、合資會社平野組の四十三隻、東神倉庫株式會社の三十九隻ヘルム兄弟商會の二十九隻等を其の主要なるものとす。

第五款 塵船

塵船と稱するは明治三十二年十月兵庫縣令第五十五號塵船營業取締規則に基き本市沿海に碇泊する船舶の動物死屍、灰燼及塵芥類の除去を營業とするものを指す。尙此の外に市の施設に係る陸上の汚物輸送の爲めには塵芥船十一隻、汚泥船六隻、屎尿船二隻、モーター灰運船四隻小蒸汽船一隻、發動機船二隻あり。

今昭和六年末現在の塵船營業者別所有船、船夫數を示せば左の如し。

市内塵船營業者調

(水上警察署調査)

營業者	所有船				船夫	備考
	一間船	二間船	三間船	四間船		
合資會社共榮社	二隻	六隻	二隻	三隻	一三	許可數 六九隻
神戸海業株式會社	一	〇	一	一	一	
水江市郎	一	七	一	一	一〇	許可數 九隻
野木三郎兵衛	一	七	一	一	一四	
岡本秋作	一	二	一	一	一三	
計	二	三二	二	五	四一	

第六款 水先案内

神戸港は大阪灣に臨み瀬戸内海を控へて水先案内上重要な地點なり。今水先區及案内料を示せば左表の如し。

區別	員數	航路	料金	摘	要
和泉灘水先區	五	港内碇泊地移動	二五	總噸數千噸又ハ千噸未滿ニジテ吃水十	

神戸港大観

直給水	二九五、八二二		
突蟹川堤	一、五八一		
東計出町	五、六三三		
合計	三〇三、〇三六		
	四三一、一一八		
		八六、八五八・四〇	
		一四一、一四六・六四	

四八

昭和六年度私設船舶給水使用表

給水先	噸數	料金	備考
神戸郵便局	一、二〇五	二五九・一五	
神戸造船所	一、三三六	二八九・二八	
川崎造船所	四五三	一三〇・八一	
三菱造船所	二、八九六	六四八・〇八	
三菱倉庫株式會社	一〇、五五三	二、九〇六・八四	
神戸造船所	三六四	一三五・四一	
東神倉庫株式會社	一三、八八六	三、一七五・七八	
計	三〇、六九三	七、五四五・三五	

第八款 海陸通信連絡

一、有線電話

「税關構内電話組合」の設備に係る電話を利用し新港相互館株式會社内交換臺を中繼として税關突堤繫留中の船舶と陸上との間に行ふ通信連絡は大正十三年六月開始以來逐年其の利用數を増加せり。左に既往六ヶ年間の年次統計を示さん。

年次	突堤繫留總隻數	電話使用隻數	電話料請求額	電話呼出度數
自大正十五年六月	一、六七二	一、四二一	一、四三三	一、五七七
至昭和二年五月	一、八六六	一、六三三	一、二〇九	一、三、七七
自昭和三年五月	一、九七七	一、九七八	一、三三一	一、九、七〇四
自昭和四年五月	二、四四六	一、九三五	一、三九〇	一、七、七〇六
自昭和五年五月	二、〇九四	二、〇四五	一、四四五	一、八、三六二
自昭和六年五月	二、二二八	二、〇三三	一、三三三	一、六、八六〇
自昭和七年五月				

備考 使用料金一日六圓、二日九圓、三日十二圓、四日十五圓(電話使用度數料金を含む)

二、無線電話

遞信省より私設無線電話局として通信事務取扱の認可を港内及航行中の船舶と陸上との通信連絡に従事せる船舶は左表の如く總數九隻なり。

船名	所屬	摘	要
深江丸	深江高等商船學校練習船	昭和二年五月取扱開始	
進徳丸	同	十一月取扱開始	
保安丸	神戸水上警察署巡視船	十二月取扱開始	
香港丸	大阪商船會社大連航路	三年十月取扱開始	
はるびん丸	同		
臺南丸	大阪商船會社沖繩航路		
臺中丸	同		
朝日丸	日本郵船會社臺灣航路	五年四月取扱開始	
ばいかる丸	大阪商船會社大連航路	九月取扱開始	

右に掲ぐる船舶は港内碇泊中は勿論航行中と雖船舶或は陸上よりの呼出を待つて神戸中央電話局を交換所として有線無線の連絡により自由に通話することを得。其の通話範囲は陸上に於ては當初明石、舞子、神戸、御影、蘆屋、西の宮、尼ヶ崎、大阪、京都なりしが昭和五年十一月擴張せられて遠く東京、横濱、名古屋、福井、金澤、大津、奈良、和歌山、堺、姫路、豊岡有馬、寶塚を加へ、航海中の船舶より神戸港を去る約百哩の範囲に通ず。今取扱開始以來の実績を示せば左表の如し。

有線無線接続電話取扱數

(神戸中央電話局調査)

年次	昭和元年			昭和二年			昭和三年			昭和四年			昭和五年			昭和六年			計
	陸上ヨリノ呼出度數	船舶ヨリノ通話度數	陸上ヨリノ呼出度數	船舶ヨリノ通話度數	陸上ヨリノ呼出度數	船舶ヨリノ通話度數	陸上ヨリノ呼出度數	船舶ヨリノ通話度數	陸上ヨリノ呼出度數	船舶ヨリノ通話度數	陸上ヨリノ呼出度數	船舶ヨリノ通話度數	陸上ヨリノ呼出度數	船舶ヨリノ通話度數	陸上ヨリノ呼出度數	船舶ヨリノ通話度數	陸上ヨリノ呼出度數	船舶ヨリノ通話度數	
一月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
二月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
三月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
四月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
五月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
六月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
七月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
八月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
九月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
十月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
十一月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
十二月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	770	531	1,398	2,164	1,469	2,164	2,164	2,164	2,164	2,164	2,164	2,164	2,164	2,164	2,164	2,164	2,164	2,164	2,164

第九款 船車連絡列車

神戸港に於ける船車連絡旅客列車の運轉は大正十三年八月に始まり、爾來二週間度に一回日本郵船會社歐洲航路定期船と連絡するため神戸港驛と京都驛との間に運行す。此の外隨時外人觀光團の爲に神戸港驛と京都奈良驛間に臨時列車を運轉す。今左に昭和六年中に於ける乗降客數及連絡船名を掲ぐ。

昭和六年神戸港驛乗降客數並連絡船名表

(神戸港驛調査)

連絡列車 運轉月日	連絡汽船名	當日ノ乗降客數		連絡列車 運轉月日	連絡汽船名	當日ノ乗降客數	
		乗客	降客			乗客	降客
一 二	榛	一	三	一 二	國	一	三
一 五	香	一	四	一 三	根	一	三
二 九	鹿	二	五	一 四	國	二	四
二 一	取	二	五	一 五	國	二	四
二 三	島	二	五	一 六	國	二	四
二 六	箱	二	五	一 七	國	二	四
二 二	根	二	五	一 八	國	二	四
三 一	訪	三	六	一 九	國	三	五
三 二	見	三	六	二 〇	國	三	五
三 七	伏	三	六	二 一	國	三	五
四 九	照	四	七	二 二	國	四	六
四 四	崎	四	七	二 三	國	四	六
五 四	白	五	八	二 四	國	五	七
五 五	照	五	八	二 五	國	五	七
五 七	榛	五	八	二 六	國	五	七
六 四	香	六	九	二 七	國	六	八
六 六	鹿	六	九	二 八	國	六	八
六 八	島	六	九	二 九	國	六	八
六 二	取	六	九	三 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	三 一	國	六	八
六 一	取	六	九	三 二	國	六	八
六 一	島	六	九	三 三	國	六	八
六 一	取	六	九	三 四	國	六	八
六 一	島	六	九	三 五	國	六	八
六 一	取	六	九	三 六	國	六	八
六 一	島	六	九	三 七	國	六	八
六 一	取	六	九	三 八	國	六	八
六 一	島	六	九	三 九	國	六	八
六 一	取	六	九	四 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	四 一	國	六	八
六 一	取	六	九	四 二	國	六	八
六 一	島	六	九	四 三	國	六	八
六 一	取	六	九	四 四	國	六	八
六 一	島	六	九	四 五	國	六	八
六 一	取	六	九	四 六	國	六	八
六 一	島	六	九	四 七	國	六	八
六 一	取	六	九	四 八	國	六	八
六 一	島	六	九	四 九	國	六	八
六 一	取	六	九	五 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	五 一	國	六	八
六 一	取	六	九	五 二	國	六	八
六 一	島	六	九	五 三	國	六	八
六 一	取	六	九	五 四	國	六	八
六 一	島	六	九	五 五	國	六	八
六 一	取	六	九	五 六	國	六	八
六 一	島	六	九	五 七	國	六	八
六 一	取	六	九	五 八	國	六	八
六 一	島	六	九	五 九	國	六	八
六 一	取	六	九	六 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	六 一	國	六	八
六 一	取	六	九	六 二	國	六	八
六 一	島	六	九	六 三	國	六	八
六 一	取	六	九	六 四	國	六	八
六 一	島	六	九	六 五	國	六	八
六 一	取	六	九	六 六	國	六	八
六 一	島	六	九	六 七	國	六	八
六 一	取	六	九	六 八	國	六	八
六 一	島	六	九	六 九	國	六	八
六 一	取	六	九	七 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	七 一	國	六	八
六 一	取	六	九	七 二	國	六	八
六 一	島	六	九	七 三	國	六	八
六 一	取	六	九	七 四	國	六	八
六 一	島	六	九	七 五	國	六	八
六 一	取	六	九	七 六	國	六	八
六 一	島	六	九	七 七	國	六	八
六 一	取	六	九	七 八	國	六	八
六 一	島	六	九	七 九	國	六	八
六 一	取	六	九	八 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	八 一	國	六	八
六 一	取	六	九	八 二	國	六	八
六 一	島	六	九	八 三	國	六	八
六 一	取	六	九	八 四	國	六	八
六 一	島	六	九	八 五	國	六	八
六 一	取	六	九	八 六	國	六	八
六 一	島	六	九	八 七	國	六	八
六 一	取	六	九	八 八	國	六	八
六 一	島	六	九	八 九	國	六	八
六 一	取	六	九	九 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	九 一	國	六	八
六 一	取	六	九	九 二	國	六	八
六 一	島	六	九	九 三	國	六	八
六 一	取	六	九	九 四	國	六	八
六 一	島	六	九	九 五	國	六	八
六 一	取	六	九	九 六	國	六	八
六 一	島	六	九	九 七	國	六	八
六 一	取	六	九	九 八	國	六	八
六 一	島	六	九	九 九	國	六	八
六 一	取	六	九	一 〇 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	一 〇 一	國	六	八
六 一	取	六	九	一 〇 二	國	六	八
六 一	島	六	九	一 〇 三	國	六	八
六 一	取	六	九	一 〇 四	國	六	八
六 一	島	六	九	一 〇 五	國	六	八
六 一	取	六	九	一 〇 六	國	六	八
六 一	島	六	九	一 〇 七	國	六	八
六 一	取	六	九	一 〇 八	國	六	八
六 一	島	六	九	一 〇 九	國	六	八
六 一	取	六	九	一 一 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	一 一 一	國	六	八
六 一	取	六	九	一 一 二	國	六	八
六 一	島	六	九	一 一 三	國	六	八
六 一	取	六	九	一 一 四	國	六	八
六 一	島	六	九	一 一 五	國	六	八
六 一	取	六	九	一 一 六	國	六	八
六 一	島	六	九	一 一 七	國	六	八
六 一	取	六	九	一 一 八	國	六	八
六 一	島	六	九	一 一 九	國	六	八
六 一	取	六	九	一 二 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	一 二 一	國	六	八
六 一	取	六	九	一 二 二	國	六	八
六 一	島	六	九	一 二 三	國	六	八
六 一	取	六	九	一 二 四	國	六	八
六 一	島	六	九	一 二 五	國	六	八
六 一	取	六	九	一 二 六	國	六	八
六 一	島	六	九	一 二 七	國	六	八
六 一	取	六	九	一 二 八	國	六	八
六 一	島	六	九	一 二 九	國	六	八
六 一	取	六	九	一 三 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	一 三 一	國	六	八
六 一	取	六	九	一 三 二	國	六	八
六 一	島	六	九	一 三 三	國	六	八
六 一	取	六	九	一 三 四	國	六	八
六 一	島	六	九	一 三 五	國	六	八
六 一	取	六	九	一 三 六	國	六	八
六 一	島	六	九	一 三 七	國	六	八
六 一	取	六	九	一 三 八	國	六	八
六 一	島	六	九	一 三 九	國	六	八
六 一	取	六	九	一 四 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	一 四 一	國	六	八
六 一	取	六	九	一 四 二	國	六	八
六 一	島	六	九	一 四 三	國	六	八
六 一	取	六	九	一 四 四	國	六	八
六 一	島	六	九	一 四 五	國	六	八
六 一	取	六	九	一 四 六	國	六	八
六 一	島	六	九	一 四 七	國	六	八
六 一	取	六	九	一 四 八	國	六	八
六 一	島	六	九	一 四 九	國	六	八
六 一	取	六	九	一 五 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	一 五 一	國	六	八
六 一	取	六	九	一 五 二	國	六	八
六 一	島	六	九	一 五 三	國	六	八
六 一	取	六	九	一 五 四	國	六	八
六 一	島	六	九	一 五 五	國	六	八
六 一	取	六	九	一 五 六	國	六	八
六 一	島	六	九	一 五 七	國	六	八
六 一	取	六	九	一 五 八	國	六	八
六 一	島	六	九	一 五 九	國	六	八
六 一	取	六	九	一 六 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	一 六 一	國	六	八
六 一	取	六	九	一 六 二	國	六	八
六 一	島	六	九	一 六 三	國	六	八
六 一	取	六	九	一 六 四	國	六	八
六 一	島	六	九	一 六 五	國	六	八
六 一	取	六	九	一 六 六	國	六	八
六 一	島	六	九	一 六 七	國	六	八
六 一	取	六	九	一 六 八	國	六	八
六 一	島	六	九	一 六 九	國	六	八
六 一	取	六	九	一 七 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	一 七 一	國	六	八
六 一	取	六	九	一 七 二	國	六	八
六 一	島	六	九	一 七 三	國	六	八
六 一	取	六	九	一 七 四	國	六	八
六 一	島	六	九	一 七 五	國	六	八
六 一	取	六	九	一 七 六	國	六	八
六 一	島	六	九	一 七 七	國	六	八
六 一	取	六	九	一 七 八	國	六	八
六 一	島	六	九	一 七 九	國	六	八
六 一	取	六	九	一 八 〇	國	六	八
六 一	島	六	九	一 八 一	國	六	八
六 一	取	六	九	一 八 二	國	六	八
六 一	島	六	九	一 八 三	國	六	八
六 一	取	六	九	一 八 四	國	六	八
六 一	島	六	九	一 八 五	國	六	八
六 一	取	六	九	一			

第十款 鐵道海岸線

本港に於ける海岸線は東灘より小野濱驛を経て神戸港驛に至る通稱小野濱線と小野濱驛より湊川驛に至る通稱神戸海岸線の兩線を併稱するものなり。

前者の中、東灘小野濱間は明治四十年八月營業を開始し、其後築港工事の進捗に伴ひ貿易貨物取扱の必要上大正六年新港突堤に側線を敷設し神戸港荷扱所を設けたり。大正十三年之を神戸港驛と改稱し今日に及ぶ。尙後者は神戸市内縦貫鐵道の高架式改築に附帶し在來神戸驛に於て年々六七十萬噸の貨物を取扱へるに鑑み新に貨物専門驛としての湊川驛を設置し。昭和三年十二月には同驛、小野濱驛間を連絡する海岸線を完成して茲に運輸連絡上大の便益を齎すに至りたるものなり。

一、小野濱驛

市の東南部濱邊通臨港地帯に位し、其構内面積は三萬餘坪にして線路の延長は十二哩を超へ側線數四十二、其延長は約七哩に達せり。

ホーム名稱	使用別	延長	幅員	總坪數	上屋坪數	機械設備	
						名	稱
發一號	貨切扱荒荷	二〇〇尺	三六〇尺	二〇二坪		蒸汽	一臺
送二號	貨切扱雜貨	一九八	三七〇尺	二四二坪		電動	一臺
上三號	小口扱積込場及 貨切扱棉花	二二〇	四九〇尺	二五〇坪		エプロン	一臺
屋四號	貨切扱及棉花	一七〇	三一〇尺	二〇七坪		計	一臺
到着上屋 十號 十一號	到着貨物扱 到着小口扱	六〇〇 一九八	三六〇 二四〇	六〇〇 一三二	三五四 一三二	海陸連絡用	
海岸上屋	發着貨切扱	二六七	三六〇	二六七	一九五		
合計		一、九〇〇・八	一、三〇〇・〇	一、三〇〇・〇	一、三〇〇・〇		

最近三ヶ年間に於ける發着貨物年次表左の如し。

發着貨物數量表

(大阪鐵道局運輸課調査)

貨物	發着				到着			
	數量	特別小口	特別小口	計	數量	特別小口	特別小口	計
貨物收入	八三、九七六	二、三六七	八八、二二二	二、四二四	一、〇〇三、一〇四	二七、四九		
貨切扱	一〇三、一〇五	二八二	一〇三、四八七	二八一	一、五九、四三二	四三六		
船切扱	七三、〇五三	一九七	七三、二五〇	二八二	二、五、九八二	三四五		
特別小口扱	一、二五九	三	一、二六二	二	一、三、二九〇	三六		
小口扱	一、四、四三三	四三	一、四、四七六	四四	二〇、二〇六	五五		
計	一、四、四三三	四三	一、四、四七六	四四	二〇、二〇六	五五		
昭和六年度	計	一、三、三九〇	計	一、五、七三三	計	一、八、〇三六	計	一、八、〇三六
昭和五年度	計	一、五、九四五	計	一、五、四四四	計	一、八、〇三六	計	一、八、〇三六
昭和四年度	計	一、八、〇〇〇	計	一、二、三七七	計	一、八、〇三六	計	一、八、〇三六
昭和三年度	計	一、三、三八九	計	一、七、八八六	計	一、九、二、七七一	計	一、九、二、七七一
昭和二年度	計	一、八、〇〇〇	計	二、〇〇、六三二	計	二、六、五〇二	計	二、六、五〇二
昭和元年度	計	一、一、五、六四〇	計	一、一、二、三三〇	計	一、一、二、三三〇	計	一、一、二、三三〇
昭和	計	九八、〇三〇	計	二、六、九	計	二、〇、五〇一	計	二、〇、五〇一
大正	計	一、一、七〇〇	計	一、一、七〇〇	計	一、一、七〇〇	計	一、一、七〇〇
大正	計	四、二五六	計	一、一、二	計	二、〇〇九	計	二、〇〇九
大正	計	一、〇、六四一	計	二、九	計	一、四、九	計	一、四、九
大正	計	三七、六四五	計	一、〇三	計	六、七三	計	六、七三
大正	計	七〇、三〇〇	計	一九三	計	一、四、五四	計	一、四、五四
大正	計	九六、一八七	計	二六四	計	四、〇九〇	計	四、〇九〇
大正	計	一〇七、九四一	計	二九六	計	六、七九四	計	六、七九四
大正	計	一〇二、一六八	計	二八〇	計	一、四、三五四	計	一、四、三五四
大正	計	八七、五九四	計	二四〇	計	一、六、八九〇	計	一、六、八九〇
大正	計	七、七九一	計	一九七	計	二〇、五〇一	計	二〇、五〇一
大正	計	九八、〇三〇	計	二六九	計	二、一、八五四	計	二、一、八五四
大正	計	一一五、六四〇	計	三、一七	計	三、三、八一七	計	三、三、八一七
大正	計	一二六、八三九	計	三、四七	計	三、七、七六二	計	三、七、七六二
大正	計	一二五、七二〇	計	三、四四	計	三、七、三九九	計	三、七、三九九
大正	計	一〇六、四〇〇	計	二、九二	計	三、五、一七八	計	三、五、一七八

二、神戸港驛

新港第二及第三突堤根元中間に在り、大藏省、鐵道省、及私設倉庫會社の施設に係るものにして側線の延長十二哩に及ぶ。

當驛に於て取扱ふ貨物範圍は輸出入の貨切扱、一車積特種貨物並當驛と京都驛間に運轉する

船車連絡列車乗客の手荷物及附隨小荷物等なり。而して當驛は外國貿易の關門を扼し、新港突堤の竣成、陸上諸設備の完備と相俟ち利用の増加によつて取扱業務愈々擴大すべく、益々將來の躍進を期待さるゝ所なり。左に當驛開始以來の發着貨物年次表を掲げ其業勢を示さん。

神戸港驛發着貨物年次統計表

(神戸港驛調査)

年次	種類	年發送貨物數量	年到着貨物數量
大正五年	同	一、一七〇	二、〇〇九
大正六年	同	四、二五六	二、〇〇九
大正七年	同	一〇、六四一	一、四九
大正八年	同	三七、六四五	六、七三
大正九年	同	七〇、三〇〇	一、四、五四
大正十年	同	九六、一八七	四、〇九〇
大正十一年	同	一〇七、九四一	六、七九四
大正十二年	同	一〇二、一六八	一、四、三五四
大正十三年	同	八七、五九四	一、六、八九〇
大正十四年	同	七、七九一	二〇、五〇一
昭和元年	和	九八、〇三〇	二、一、八五四
昭和二年	同	一一五、六四〇	三、三、八一七
昭和三年	同	一二六、八三九	三、七、七六二
昭和四年	同	一二五、七二〇	三、七、三九九
昭和五年	同	一〇六、四〇〇	三、五、一七八

最近三ヶ年發着貨物月別表

(神戸港驛調査)

月別	數量		發送貨物數量	到着貨物數量
	發送	到着		
一月	一一、六五四	四、三三八	三、四九七	二、九〇〇
二月	九、八九八	二、五八一	二、六三七	二、一六一
三月	一〇、〇二七	三、二六四	三、三〇九	二、四一八
四月	一〇、七九六	二、二〇九	二、九〇五	二、六〇六
五月	一〇、二七五	二、三三七	三、二四四	二、四四二
六月	一〇、〇二二	二、四四二	二、二五五	二、二三八
七月	九、七七二	三、一〇二	二、二二五	二、二八七
八月	九、五四四	二、九八三	一、八九四	二、四四二
九月	一〇、六六〇	二、四〇六	二、〇五九	一、九六〇
十月	一一、二六四	二、五五六	二、〇二四	一、七三六
十一月	一〇、一五八	三、四八五	四、九〇九	二、九二七
十二月	一〇、七六一	五、六八六	四、四〇〇	一、四五一
年計	一一五、七〇〇	三七、三九九	三五、一七八	二七、五七六
一日平均	三、四四	一〇三	九六	七六

尙右表中發送貨物を積込場所別に表示すれば左の如し。

發送貨物積込場所別數量表

(神戸港驛調査)

年次	場所別	第一突堤	第二突堤	第三突堤	第四突堤	京橋	本關	東神倉庫	三菱倉庫	住友倉庫	川西倉庫	合計
昭和三年	車數	一一、〇三三	一、四六三	一、六五二	四、八八七	一、四九七	五、五四〇	二、二九二	三、九八	一、六四二	八九二	一一、八九四
昭和四年	車數	一一、五八一	一、五八二	一、八五二	四、九八八	一、七〇二	五、九三九	二、二八三	三、九八七	一、七三四	九五七	一一、八三九
昭和五年	車數	一、六六七	一、三四三	一、一八二	五、五三三	一、二六九	三、三三三	二、六〇一	六〇三	一、五六四	八七	一一、九九二
昭和六年	車數	一八、三四六	一、三三三	一、九六六	五、四七二	一、三九八	三、二八二	二、五七三	六、〇八八	一、五八九	九、四二二	二五、七二〇
昭和三年	噸數	一、〇三三	一、四六三	一、六五二	四、八八七	一、四九七	五、五四〇	二、二九二	三、九八	一、六四二	八九二	一一、八九四
昭和四年	噸數	一一、五八一	一、五八二	一、八五二	四、九八八	一、七〇二	五、九三九	二、二八三	三、九八七	一、七三四	九五七	一一、八三九
昭和五年	噸數	一、六六七	一、三四三	一、一八二	五、五三三	一、二六九	三、三三三	二、六〇一	六〇三	一、五六四	八七	一一、九九二
昭和六年	噸數	一八、三四六	一、三三三	一、九六六	五、四七二	一、三九八	三、二八二	二、五七三	六、〇八八	一、五八九	九、四二二	二五、七二〇

備考 突堤名は昭和六年十月の改稱呼に依る

更に収入状況を視ふに不況のため累年減退を示し、昭和六年度合計參拾五萬參千六百六拾壹圓にして前年度に比し六千七百參拾貳圓を減せり。

左に四ヶ年對照表を掲ぐ。

年度別收入對照表

年度別	種別	發送貨物運賃收入	雜收入	計	一日平均
昭和三年	度	四六八、四七三	六八七	四六九、一六〇	一、二八五
昭和四年	度	四六七、六五五	五三五	四六八、一九〇	一、二八三

神戸港大観		六〇	
昭和五年度	三六〇、二九六	九七	三六〇、三九三
昭和六年度	三五三、五五三	一〇八	三五三、六六一
			九八七
			九六九

三、湊川驛

當驛は神戸海岸線の終端に位し、元神戸驛貨物取扱所なりしが、昭和三年十二月改稱獨立して貨物専用驛となれり。其の總面積三萬七千五百餘坪線路延長 一一・二六九杆に達し設備稍整ふ。

今設備の概要を示せば左の如し。

(イ) 貨物上屋及露天荷置場

場所	面積收容量	延長	幅員	面積	積	收容噸數	使用方法
一號上屋		一一・二〇九米	一一・〇一一五米	一、三七一・六	四〇七	四〇七	發送小口
二號上屋		一一・七〇七	一一・七一一六米	一、五三三・七	四五〇	四五〇	到着小口
三號上屋		一四・三〇〇	一〇・六一一六米	一、九六〇・七	五七一	五七一	貸切發着
保稅上屋本屋		一一・二〇七	六・〇一九八	一一五・二	六〇	六〇	
同 棧橋一號		三六・四	一六・三	五九二・五	七五〇	七五〇	
同 棧橋二號		三三・七	一五・三	五一一・六	六八八	六八八	
假荒荷置場				一、三三二・三	二〇〇	二〇〇	
新荒荷置場				一、二二三・二	一八〇	一八〇	

(ロ) 機械設備

- 電力移動式起重機 五噸 一臺
- キャツプスタン(ガントリークレーン付) 一臺
- 計重機(電力四二・〇〇〇瓩) 二臺

當驛は元神戸驛の取扱範圍を踏襲せる關係上、其の運輸狀態に於て従前と大差無きも市内縦貫鐵道改良工事の完成と相俟つて驛勢範圍並貨物移動狀況に多少の變化を見る。左に開業後の運輸実績を表示せん。

(ハ) 貨物取扱數量及收入

(湊川驛調査)

年度別	種別		特別小口扱		貨切扱		合計	
	發送	到着	發送	到着	發送	到着	發送	到着
昭和三年度	一、一九六	四、〇八一	九、四八六	一〇、三六〇	一〇六、〇六四	八六、八一〇	二六、七四六	一〇一、二七一
昭和四年度	三、九二三	一一、二二三	二八、八二一	二七、〇九七	二八七、四五六	三五、九一八	三〇、一八〇	二六四、二七二
昭和五年度	三、四八五	一一、三三三	二四、六五三	二三、二八七			二六三、九三四	二五五、二八三
昭和六年度								二八三、七七八

四、新川驛及和田岬驛

神戸港に臨み運河に近く、工業地帯を掌握して海運貨物と特別の關係を有し、兵庫突堤の完

成に随伴して將來の發展を豫想さるゝものに新川驛及和田岬驛あり。前者は純然たる貨物驛後者は貨客併用驛にして共に後方兵庫驛に連絡せり。今昭和六年度に於ける兩驛の成績を示せば左の如し。

昭和六年度新川驛及和田岬驛貨物取扱數量表

(大阪鐵道局運輸課調査)

驛名	種別	發着別		特別小口扱		小口扱		噸扱		貨切扱		計	收入額
		發送貨物	到着貨物	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸		
新川驛	發送貨物	一	一	一	一	四三	四三	四〇	四〇	五七、五七	五八、〇六	一六九、五四	
		合	計	八六〇	四八	四〇	四〇	八三、二〇	八三、六六	一四、七三五	一四、七三五		
和田岬驛	發送貨物	二八三	一、五〇八	四	四	一九三、三八〇	一九四、二二五	一〇、八二九	一一、二二六	一、二二六	一、二二六	七三、三七	
		合	計	二九三	二九三	一九	一九	二〇三、一九九	二〇五、四三二	一一、二二六	一一、二二六		一一、二二六
和	發送貨物	二八三	一、五〇八	四	四	一九三、三八〇	一九四、二二五	一〇、八二九	一一、二二六	一、二二六	一、二二六	七三、三七	
		合	計	二九三	二九三	一九	一九	二〇三、一九九	二〇五、四三二	一一、二二六	一一、二二六		一一、二二六
和	到着貨物	八六	二九三	二九	二九	一〇、八二九	一一、二二六	一、二二六	一、二二六	一、二二六	一、二二六	五八、九六	
		合	計	二九三	二九三	一九	一九	二〇三、一九九	二〇五、四三二	一一、二二六	一一、二二六		一一、二二六
和	到着貨物	八六	二九三	二九	二九	一〇、八二九	一一、二二六	一、二二六	一、二二六	一、二二六	一、二二六	五八、九六	
		合	計	二九三	二九三	一九	一九	二〇三、一九九	二〇五、四三二	一一、二二六	一一、二二六		一一、二二六

兩驛取扱貨物年次表

年次	區別	新川驛		和田岬驛	
		發送	到着	發送	到着
昭和四年度	發送	七、六一	八、一六	一九五、二六三	一三、〇八七
昭和五年度	發送	六三、五四	七、八七	一六五、一七	一六、一五
昭和六年度	發送	五八、〇六	八三、六九	一九四、二五	一一、二六
昭和四年度	到着	八、一六	一六、二七	一三、〇八七	二〇八、三五〇
昭和五年度	到着	七、八七	一三、四三	一六五、一七	一八、一三八
昭和六年度	到着	八三、六九	一四、七五	一九四、二五	二〇五、四三二
	計	一六三、六一	一三〇、一七	五八五、六五三	四三、三七四
	收入	七三、三七	二二、八三	一、二二六	一、二二六
	發送	一、五〇八	一、五〇八	一九三、三八〇	一九四、二二五
	到着	二九三	二九三	一〇、八二九	一一、二二六
	計	一、八〇一	一、八〇一	二〇四、二〇九	二〇五、四三二
	收入	六八、六六	六八、六六	一、二二六	一、二二六

第十一款 海洋氣象臺及報時球信號

一、海洋氣象臺

神戸海洋氣象臺は大正九年八月二十六日公布の氣象臺官制第四條に依り大正十三年四月神戸市中山手通七丁目宇治野山に設立されたるものにして中央氣象臺高層氣象臺と共に我國氣象に關する三大施設の一なり。

海港都市に於ける當氣象臺の設置に依りて一般海運船舶業者の享くる便益は蓋し尠少なからざるものあるべし今其の事務の一斑を擧ぐれば次の如し

- 一、海洋氣象及地球磁力の觀測及調査並之が爲必要なる天體現象の觀測
- 二、海流、潮汐その他海洋に於ける物理的諸現象の觀測及調査
- 三、天氣圖及磁力偏角圖の發行
- 四、氣象機械及時辰儀時計、羅針盤其他の航海測器の研究調整及檢定
- 五、洋上船舶に對する暴風雨警戒

二、時報球信號

開港々則施行規則に依る時報球は神戸稅關港務部屋上(東經百三十五度二十五分五十六秒北

緯三十四度四十一分四秒)の報時檣に装置し球は中央に白色横線一條を畫し上下は赤色に檣は白色に塗裝す球は常に之を檣の下部横桁上に据置き正午降下せしめ、降下し始むる瞬間を以て正午と定めらる。萬一信號に過誤ある場合は萬國船舶信號旗Wを掲揚し故障により報時信號を爲し得ざる際は檣の横桁に萬國船舶信號旗Dを掲げ之を指示す。
 (但日曜日及一般休日ば休止す)

第十二款 海港檢疫所及家畜檢疫所

一、海港檢疫所

海港檢疫所は神戸税關所屬にして和田岬に存し内務省指定の港灣を經由する内外國汽船を檢疫せり。昭和六年中の檢疫成績を示せば左表の如し。

檢疫種別	内國船		外國船		檢疫種別	内國船		外國船	
	法定傳染病患者	法定傳染病以外患者	法定傳染病患者	法定傳染病以外患者		法定傳染病患者	法定傳染病以外患者	法定傳染病患者	法定傳染病以外患者
除鼠施行船舶數	四三九	一	三五七	一	捕鼠數	八	一	二五	一
清潔及船塵處分施行船舶數	二四三	—	二二	—	停船數	八四三	—	二五	—
	四五	—	三六	—		三三	—	四三	—

消毒施行船舶數	消毒施行人員	收容患者	陸上停留者	船内停留者
三四	四四	一九	一八	—
—	一七	—	—	—
	七一			
			二五六	六七

二、家畜檢疫所

神戸税關所屬に家畜檢疫所あり。新湊川運河尻に設置せられ大正十二年一月公布の家畜傳染病檢疫規則に依り家畜類を檢疫す。

昭和六年家畜類檢疫実績表

種別	數	種別	數
臨檢船舶數	一、〇六三隻	豚	四頭
牛	九七〇頭	犬	六〇一匹
馬	(内三頭結核)	鷄	三一〇羽
緬羊	一五頭	鷺	三九羽
山羊	二頭	其他獸類	—

昭和六年皮毛骨肉檢疫実績表

種別	種別		種別
	種別	種別	
肉	牛	一四、三三六、一四五斤	毛
	羊	二九、六八九	
豚	肉	七五五、六二〇	山
	其他ノ肉	二	羊
骨	其他ノ肉	一四、七八七、四八四	毛
	皮	一一、一一四、五七八	豚
其他ノ角蹄等	其他ノ角蹄等	一一九、三六六、八四二斤	馬
	其他ノ角蹄等	五、〇五七、〇六七	毛
		八七、八五九	其他ノ獸毛
		九、〇六二	其他ノ獸毛
		二〇三、九八〇	其他ノ獸毛
		一七、一三〇	其他ノ獸毛
		一一、一三〇	其他ノ獸毛
		五、〇五七、〇六七	其他ノ獸毛

因に在來の植物検査所は港灣行政統一上大正十三年末神戸税關に綜合せられ植物検査課として今日に及ぶ。

第十三款 國立移民教養所

海外移住は國家として緊切なる政策の一なるのみならず渡航者に對して保護教養を與へ素質の向上を計り以て植民政策の圓滑なる遂行を期する要あり。茲に昭和二年七月勅令第二二九號を以て移民收容所官制公布せられ次いで同三年二月神戸國立移民收容所の完成を見たり。其後時運の推移に伴ひ渡航者増加著しきため昭和五年増築を行ひ現在一千三百名の收容力を有す。

今其設備並收容狀況を示せば左の如し。(昭和七年十一月官制改正に依り移民收容所を移民教養所と改む)

一、設備

位置	敷地面積	建物本館	別館	荷物倉庫	竣工年月	別館
神戸市神戸區山本通三丁目一二〇、一二一番地	一〇〇〇坪	鐵筋コンクリート五階建 建坪二五二坪七八	同上(地階付)四階建 建坪一五七坪五	木造平家建六三坪	本館 昭和三年二月	別館 昭和五年三月

收容室	收容寢臺
寢臺十二床室、六八室 同 四床室、三室	八二八床
病室一室、寢臺十二床	

二、成績 開所以來の收容人員

年次	家族数	人員	員備	備考
昭和三年	一、九一一	一〇、三七七	三月十日開所	
昭和四年	三、三二八	一五、五二〇		
昭和五年	二、八四〇	一三、五八七		
昭和六年	一、四九〇	五、五五一		

尙昭和六年中移民收容人員を輸送船別に表示すれば次の如し。

昭和六年中移民收容人員表

(移民收容所調査)

船會社	輸送船名	出帆月日	家族数	收容人員数
大阪商船	ラブラタ	一月三十一日	六八	二六六
日本郵船	河内丸	二月十七日	一九	七〇
大阪商船	ハッソアイレス丸	二月二十七日	四二	一八一
同	ブエノスアイレス丸	三月二十四日	一一〇	四五四
日本郵船	神奈川丸	四月六日	二六	一三〇
大坂商船	サントス丸	四月二十一日	六二	二七三
同	リオデジャネロ丸	五月十九日	一一一	五六八
同	モンテビデオ丸	六月二十日	一一五	五四七
同	マニラ丸	六月二十九日	二六	一〇九
同	ラブラタ丸	七月十四日	一一〇	二三五
同	ブエノスアイレス丸	八月二十九日	二〇七	八二八

同	同	同	同	同	計
サントス丸	リオデジャネロ丸	モンテビデオ丸	マニラ丸	ラブラタ丸	計
一九一	一二九	一三八	一三五	一、四九〇	五、五五一
九月二十六日	十月三十一日	十一月二十八日	十二月二十四日		

左に昭和六年中當港を船出したる海外各移民國への渡航者を國別に表示して参考に資せん。

昭和六年渡航者一覽表

(水上警察署調査)

國別	種別	契約移民	自由移民	非移民	計
米	米國	一	一	一	四五二
布	哇國	一	一	一	一二五
加	陀	一	一	一	二一五
伯	刺西	一	一	一	五、五五四
其	他	一	一	一	二、二三七
計		四、七三八	二、六二二	一、二二三	八、五八三

第十四款 生絲検査所

明治三十四年神戸生絲検査所の廢止されて以來生絲輸出は横濱一港主義を採り來りしが大正

十二年關東震災を契機として生絲市場復興の輿論擡頭し茲に大正十三年検査事務を復活後總額七拾六萬圓を以て検査所新築の運となりて神戸市の手に依りて昭和二年市立検査所の竣工を見たり。然るに神戸市場の發展と横濱生絲検査所との検査統一の理想より國立移管の議起り昭和六年確定同年四月一日より國立神戸生絲検査所としての事務を開始するに至れり。之より先神戸市は格付検査の遂行上検査所擴張の計畫を樹立し總額百拾萬圓建坪一千二百八十坪延坪三千四百餘坪の増築を行ひ昭和七年一月一日より新検査法の下に第三者格付検査を強制施行することゝなれり。

一、設備大要(新舊廳舎共)

本館は敷地一九七八坪、建坪一五四一坪延坪四八〇五坪の地階共鐵筋混凝土五階建にして主要検査機械を完備せり。一日の検査能力は品位検査一〇〇荷口(一〇〇〇俵)及正量検査一〇〇荷口(一〇〇〇俵)なり。

二、検査件數

昭和六年中に於ける總検査件數は二萬二千八百七十三件にして前年に比し七千二百十四件の減少を示せり検査項目中最多を占むるは輸出生絲正量検査の一萬六千八百六十八件にして前年より増加し總件數の七割三分七厘に當り品位検査の五千四件之に次ぐ。今年年中の検査月別比較を示せば左表の如し。

昭和六年検査件數月別表

(神戸生絲検査所調)

検査項目	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
輸出生絲正量検査	一、四六六	一、三三三	七九四	七九〇	一、三六四	一、二九九	一、六三三	一、八七五	一、五七六	一、六五九	一、五〇九	一、六〇〇	一六、八六八
普通正荷口	二二	一六	一三	九	一〇	三三	九六	一三	一七	七	一四五	一八	八五
量検査各袋	一四	六	四	六	八	一〇	一〇	一	一	一	一	一	四八
原量検査	一	一	一四	二七	三〇	五	一	一	一	一	一	一	二三
練減検査	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
水分検査	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
品位検査	七四	六六	三〇	三三	一三	二九	五二	五八	五三	二九	二九	四〇	五、〇〇五
特別纖維検査	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	二、二七七	一、九五二	一、一八八	一、〇六四	一、五四五	一、五四二	二、三三〇	二、五九九	二、三三三	二、〇三〇	一、九五三	二、一四三	二二、八七三

検査項目別件數三ヶ年比較表

年次	項目	輸出生絲	普通正量	原量	練減	水分	品位	纖維	合計
昭和四年		一六、三三三	五九九	七三三	一〇	一四	一五、四四七	二四二	三三、一七五
昭和五年		一四、五二〇	八二六	一、四三五	三	三	一三、二二六	九四	三〇、〇八七
昭和六年		一六、八六八	八七三	二二	一	五	五、〇〇四	一	三三、八七三

第十五款 輸出絹織物検査所

神戸輸出絹織物検査所は神戸市一番町四丁目に在り元縣營なりしが昭和三年初頭國營検査開始せられ検査及取締事務の激増に伴ひ新検査所を新築、昭和四年三月中旬竣工せり、而して昭和二年三月三十日法律第二十七號に依る。

輸出絹織物取締法及施行細則に従ひ品位、瑕疵、汚染、胴切等の検査及計量検査、切断検査を行ひ又輸出絹織物の包装内容に付荷造立會検査を施行す、昭和六年に於ける検査高總計は八萬七百八十三疋量目三千四百五十二萬八千七百十四匁にして検査品種は富士絹八割縮緬一割スパンクレープ外一割の状態なり。之を左に表示せん。

昭和六年検査高種別表

(絹織物検査所調)

種別	成績		格	不 合 檢	計	量 目	事 故					
	一 等	二 等					短 尺	瑕 疵	汚 染	胴 切	計	
第一種	一三、六三五	二五、二八四	一七、九七五	二八五	五、九七	三三、三三〇	一、一〇三	二、〇九六	四六三	一五	一	三、六六一
第二種	—	—	六三	—	六六三	三六、三八	四九八	—	—	—	—	—
第三種	—	—	一、六三二	五九	一、六九〇	一、〇六九	一五四	六〇	—	—	—	—
染色品	—	—	三、二八七	一四七	二、四三四	—	—	—	—	—	—	—
合計	一三、六三五	二五、二八四	四一、三三三	四九一	八〇、七六三	三三、五八七	一、七五四	二、一六〇	四九二	—	—	四、四〇六

第十六款 花苧検査所

花苧検査は古く明治三十年頃花苧同業組合の設立當時より施行せられしが各地方其軌を一にせず、茲に統一検査の必要を生じ明治三十八年六月官設検査を施行して積極的に保護助長策を執り花苧集散市場たる本法に検査所の創設を見たり。後現在の灘區に敷地總面積三千八百坪、廳舎一棟建坪百九十三坪、倉庫、検査室、乾燥室、汽罐室等一棟此建坪千六百七坪、其他百三十坪を新築し今日に及べり。而して本検査所は輸出花苧及輸出野草苧に對して各種の検査を施行し其の粗製を警めて海外に於ける聲價の維持に努めんとするものにして、更に他面各種の試験を實施して、當業者の導指獎勵に當り斯業の發展に資するところ多大なるものあり。今左に花苧並野草苧検査成績の一斑を示さん。

搬入輸出花苧検査數量表

年次	種別	普通花苧				廣幅花苧				短尺花苧				小物花苧			
		計	一等	二等	格	計	一等	二等	格	計	一等	二等	格	計	一等	二等	格
昭和二年	普通花苧	二七、七三三	—	—	—	一一四、九二七	—	—	—	一六三	—	—	—	三、一一八	—	—	—
昭和三年	普通花苧	二五、〇六三	—	—	—	七六、六五六	—	—	—	二、九〇〇	—	—	—	二、五二三	—	—	—
昭和四年	普通花苧	三〇、七六七	—	—	—	八六、八二二	—	—	—	一、九九六	—	—	—	三、〇五一	—	—	—

神戸港大観

昭和五年	二二、〇六二	七四、一八六	二六六	三、二八〇、五〇〇
昭和六年	一五、二四八	六五、三七四	二〇	二、一〇〇、七八五

七四

搬入野草蕨検査數量表 (大正十三年十一月十五日ヨリ施行)

年次	種別	超十八尺	十八尺以下	十二尺未滿
昭和二年	普通花蕨	四九八本	一一七、一〇六枚	四二六、三九一
昭和三年	普通花蕨	二七五	六九、三二一	二六〇、八三〇
昭和四年	普通花蕨	二二二	七二、〇〇八	三九九、七一九
昭和五年	普通花蕨	二八七	六九、二四九	四五一、一三一
昭和六年	普通花蕨	三四五	三五、二八八	三五九、九四六

門司出張検査數量表 (昭和二年六月一日ヨリ施行)

年次	種別	普通花蕨	廣幅花蕨	短尺花蕨	小物花蕨
昭和三年	普通花蕨	五五三本	二、四九九枚	一七、九六一枚	二四、一二九
昭和四年	普通花蕨	一、一六三	三、四九七	四、〇三〇	四、〇三〇
昭和五年	普通花蕨	三九五	一、三八九	六、八三七	
昭和六年	普通花蕨	四七八	一、二七九		

【野草蕨】

年次	種別	超十八尺	十八尺以下	十二尺未滿
昭和三年	普通花蕨	一	二八三枚	一、〇三八枚
昭和四年	普通花蕨	一	三、五九二	四、七一六
昭和五年	普通花蕨	一	一、二四九	二、〇五三
昭和六年	普通花蕨	一	一、二〇二	三、三七〇

第四節 港内沿岸利用狀況

神戸港の海岸線延長は九・七哩に達し其の沿岸は繫船岸壁及荷揚場となり、或は倉庫地、工場地となり更に又材料置場として餘す所なく利用せられたり。今其の狀況の一斑を左に述べん。

一、荷揚場

港内荷揚場は本港第二期修築工事の進捗に依り其の變動を免れざるも現在に於ける總延長は約五、四〇〇間に及び税關新港突堤は設備最も完備し一部物揚場を合して其延長二、二三六間、



大船巨舶の継繋に適し荷揚場として最大のものなり。その他税關所屬の第一波止場一三二間、第二第三波止場三二五間、川崎波止場一七一間、及鈴木港灣一四八間、葺合港灣二〇九間、小野濱驛前一二八間、東神岸壁及棧橋三五〇間、國産波止場二五四間、高濱岸壁三四七間、住友倉庫前一〇二間、島上町海岸一七九間、和田棧橋二〇〇間、三菱倉庫前二八〇間等を其の主なるものとす。

此の外工場地先の荷揚場は總延長約 一、九三七間にして川崎造船所製飯工場及川崎用地の三七三間を最大として川崎造船所本工場一六七間、三菱造船所の一一一間を主なるものとす。尙運河方面に於ては専用荷揚場に屬する臺灣製糖株式會社の二四七間、宮下木材會社の八〇間、明治製糖株式會社及増田製粉株式會社の各七六間、井上豆粕工場の六八間等を沿岸の重要なものとす。

二、倉庫及上屋

當港に於ける倉庫及上屋は港内主要荷揚場に接し建設せらるゝもの多く、新港内四大倉庫の如きは港頭の一偉觀をなしたり。今其の重なるものを左に掲げん。

(イ) 倉庫

(昭和六年末)

經營者	面積	積(延)	經營者	面積	積(延)
三菱倉庫	七三、四四四 <small>平方米</small>	六三、七四七 <small>平方米</small>	東神倉庫	六三、七四七 <small>平方米</small>	六三、七四七 <small>平方米</small>
川西倉庫	五二、一九七	三八、八七二	森本倉庫	三八、八七二	三八、八七二
住友倉庫	一四、四七八	一〇、六四九	鈴鹿倉庫	一〇、六四九	一〇、六四九
兵庫倉庫	六、〇八九	六、三八四	横山倉庫	六、三八四	六、三八四

(ロ) 上屋

名稱	棟數	面積	積	經營者
神戸税關突堤上屋	一八	六九、二〇六 <small>平方米</small>	大藏省	
第一波止場上屋	二	三、四九一	同	
第二波止場上屋	三	一、五三七	同	
第三波止場上屋	九	八、一八五	同	
蟹川物揚場上屋	二	一、一六四	同	
川崎波止場上屋	七	九、三二二	同	
小野濱驛上屋	一	一、〇二一	鐵道省	
和田岬驛上屋	一	五、一五	同	
國産波止場物揚場上屋	五	一、九八八	神戶市	
東神岸壁上屋	六	一、九一七	東神倉庫	
東神棧橋上屋	一	一、七九二	同	
税關構内上屋	一	二五、六一〇	三菱倉庫	
和田構内上屋	七	一七、三五三	同	

高濱岸壁	和田橋	税關内	濱邊通	税關内	兵庫運河	東出町
上	上	上	上	上	上	上
屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋
二、二一〇	六、六二九	一三、二三六	二、五七四	四、四二九	六六一	八三八
同	同	住友	森	川	同	兵庫
同	同	友	本	西	同	同
同	同	倉	倉	倉	倉	倉
同	同	庫	庫	庫	庫	庫

(三) 木材置場

當港には未だ公共貯木場の設備なく現存のものは何れも當業者個人の専用に屬するものにして水運の關係上兵庫運河及葺合方面に集中し其の主なるもの次の如し。

川崎車輛株式會社	宮下木材株式會社	合資會社丸宮木材商店	鞘本眞三	柴田享一	川崎造船船所	三菱造船船所	合資會社宮下製軸所
一、七八八	七、二九二	四、九五九	四、〇〇〇	三、七九五	三、六八六	三、六四〇	三、三〇〇
和	濱	濱	梅	東	東	和	濱
田	中	中	ヶ	尻	川	田	中
山	香	池	池	池	崎	崎	崎
通	町	町	町	町	町	町	町

(四) 貯炭場

本港に於ける貯炭場の主なるものは辨天濱、兵庫埋立地及葺合港灣方面に存在し、前二者は共同貯炭場にして辨天濱二、九二六平方米、橋本商店外數店之を使用し、又兵庫埋立地は五、六七三平方米、神戸石炭商同業組合の名を以て市より使用許可を得たるものなり。其他は總て專用貯炭場に屬し其の主なるものを列擧すれば左の如し。

中眞次郎	曾根二之助	合名會社生駒材木店	合名會社佐々木商店	合資會社松本龜三郎商店	岡野貞次郎
三、〇〇〇	一、六五五	一、五五一	一、五〇〇	一、四〇〇	一、一九五
東	東	材	材	脇濱	味
尻	尻	尻	木	町	町
池	池	池	池	香	泥
町	町	村	町	町	町

神戸瓦斯株式會社	三井物産株式會社	川崎造船船所	神戸市電氣局	三菱商事株式會社
八、三七五	六、六四六	六、二四四	三、五一〇	二、七六八
駒	南	南	駒	和
榮	本	本	榮	田
町	町	町	町	崎
構	構	構	構	構
内	内	内	内	内

神戸港大観

神戶製鋼所	二、五〇五	脇濱	町	構	内
鐘淵紡績株式會社	一、八一二	吉田	町	構	内
川崎車輛株式會社	一、五三七	和田山	通	構	内
合資會社小島商店	一、三二三	南本	町	構	内
三菱造船船所	一、二五〇	和田崎	町	構	内
明治製糖株式會社	八三九	高松	町	構	内
臺灣製糖株式會社	四九六	東尻池	町	構	内

第五節 倉庫

庫

第一款 概説

説

我神戸市に於ける倉庫は海岸線に沿ひ、港灣に密接なる關係を有するものゝみにても其數、千四百六十餘棟十六萬三千餘坪を算し、中にも新港突堤基部に巍然たる雄姿を連ねて堂々港を壓する鐵筋混凝土造五階建倉庫は、東神、三菱、住友、川西の各倉庫業者の經營に係るものにして、規模の宏壯、施設の完備その收容力の偉大さは他の比を見ざるところにして、本港の對外貿易上に於ける地歩を最も雄辨に物語るものと云ふべし、殊に其の設備に於て斯界の粹を蒐め

優に世界に誇るに足るは川西冷蔵庫にして、輸出入食料品の貯藏に大なる貢獻をなす。以上大小倉庫に就き詳敘するは困難なるを以て其の代表的のものとも見るべき市内主要倉庫業者の組織せる水曜會所屬の八大倉庫につき概要を左に述べんとす。

八大倉庫構造別營業坪數

營業者名	倉庫上屋ノ別	構造別延坪數				計
		鐵筋混凝土造	煉瓦又石造	土藏造	鐵骨木骨亞鉛張其他	
東神倉庫株式會社神戸支店	上倉庫	五、三六八 四、三八二 九、七四九	八、四七六	—	—	一、九、八二五
三菱倉庫株式會社神戸支店	上倉庫	一、三八〇 三、三三六 一、七一四	一〇、三三八	二、〇六四	—	三〇、六六八
株式會社住友倉庫神戸支店	上倉庫	四、六九六 一、二二四 五、八二〇	九二七	一、二二五	—	七、八二五
川西倉庫株式會社	上倉庫	九、七五七 一、四六〇 一一、一九七	一、七二六	一、七五五	—	一三、八二四
計	計	—	—	—	—	二、一五三
計	計	—	—	—	—	一五、九六六

合 計	横山倉庫株式會社	株式會社鈴鹿商店倉庫部	兵庫倉庫株式會社	森本倉庫株式會社	
				倉庫	上 計
計	計	計	計	計	計
上 倉	上 倉	上 倉	上 倉	上 倉	上 倉
計 庫	計 庫	計 庫	計 庫	計 庫	計 庫
三、四、三〇一	六〇〇	一、〇〇一	一、二四七	九、九八二	五二〇
一〇、二九二	一、〇〇一	四〇六	一、二四七	五七	一、三六九
四、四、五九二	六〇〇	四〇六	六九六	五二〇	六四二
三、三、九四	一、〇〇一	四七五	六九六	一、三六九	七二七
六、六、五五	一、〇〇一	四七五	四九一	一、三六九	七二七
三、四、〇四二	六〇〇	四七五	四九一	一、三六九	七二七
六、六、五五	一、〇〇一	四七五	四九一	一、三六九	七二七
一、三、二二三	六〇〇	四〇九	四九一	一、三六九	七二七
二〇、三三八	一、八四二	四〇九	四九一	一、三六九	七二七
三、五、四二	一、八四二	四〇九	四九一	一、三六九	七二七
一、八、一五三	一、八四二	四〇九	四九一	一、三六九	七二七
一、八、一五三	一、八四二	四〇九	四九一	一、三六九	七二七
一、八、一五三	一、八四二	四〇九	四九一	一、三六九	七二七
一、八、一五三	一、八四二	四〇九	四九一	一、三六九	七二七

以上八大倉庫の昭和六年中に於ける保管貨物は、入庫額四億四千六百貳拾九萬貳千圓、出庫額四億四千八萬四千圓にして之を前年に比較するに、入庫に於て九千七百七拾參萬圓出庫に於て壹億貳千七百七拾八萬七千圓を何れも減少せり、而して之が原因は世界的財界の不況未だ回復

の曙光を認められず、各國共自給自足、輸入制限により益々貿易を腐沈に導き殊に下半期に於て獨英始め歐米財界の混亂による貿易の減退と排日貨に基く支那貿易の激減等その主なる理由ならん乎。

保管貨物中主要貨物の動きを見るに、米は政府の買上により上半期初めより中頃に掛け相當多量に動き、生絲は各期を通じて絲價下落に伴ふ賣客みと上半期中に於て操業休止見越しの買付と、一方賣控へどに因り多額の入庫、殘高あり、又上半期の終りに於ては硫安、硝石、原糖等の輸入による入庫ありたる外、米棉は豊作による一時的産地安の關係にて思惑買による大量の輸入入庫と、一方に於ける消費量の減少により多量の在庫を示せり。今之等につき詳細に示せば次の如し。

昭和六年 八大倉庫保管貨物價額月別表

(單位千圓)

月別	入 庫		出 庫		月 末		現 在	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
一 月	四、九〇四	五、五八三	三、一八〇	四、四七七	△二、三二七	七六、三三五	九四、三五六	△一六、二三二
二 月	三、五、四三三	四、八四〇	三、〇、二二八	三、五、九六六	△五、六八八	八三、三三〇	一〇一、二〇〇	△一八、九六〇
三 月	三、七、〇六九	五、〇七五	二、七、二六七	四、七、七五五	△一〇、四五八	九三、三二二	一一一、六〇〇	△一八、五〇九
四 月	三、六、六三三	五、五、七〇	二、五、二〇八	四、九、一九三	△二、三、九八四	一〇四、五四八	一二八、〇〇八	△二、三、四六〇
五 月	四、一、五五六	六、九、四、五三	三、六、八五九	六、〇、八四九	△二、三、九九〇	一〇九、二二五	一三六、六三三	△二七、三九七

同	同	同	同	同	昭	同	同	同	同	同
十	十	十	十	十	元	十	十	十	十	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	一
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
三〇九、一三一	三三九、七七五	四四三、九〇一	五九九、四二一	六〇六、九七七	四六八、〇四〇	五九〇、二四四	五七九、一七一	六五一、五九二	五四四、〇二二	四四六、二九二
四〇四、七六六	三六七、三六七	四一八、〇一七	六〇八、六二三	六〇四、六三五	四八六、二七一	五六八、九五二	五八六、三五九	六五八、八六七	五六一、八七一	四四〇、〇八四
一〇四、一三四	七六、五四二	一〇二、四二六	九三、二二四	九五、五六六	七七、三三四	九八、六二六	九一、四三八	八八、二四九	七〇、四〇一	七六、六〇八

左に昭和元年以降六ヶ年間月別全国主要倉庫貨物現在高及昭和六年五年四年の三ヶ年全国營業倉庫種類別年末在荷の二表を掲げ本市に於ける倉庫との比較対照の参考に資す。

全国主要倉庫貨物現在高表

月次	年次	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年
一	二	三	四	五	六	七	八
月	月	月	月	月	月	月	月
五〇、二三一	四九、〇九四	四九、〇〇二	四七、五六一	五三、八五五	四七、五二九	四七、〇八五	三九、九四九
五〇、二二一	四九、〇九四	四九、〇〇二	四七、五六一	五三、八五五	四七、五二九	四七、〇八五	三九、九四九
五二、六四三	五一、六四三	五一、六四三	五一、六四三	五一、六四三	五一、六四三	五一、六四三	五一、六四三
五二、〇五八	五一、〇五八	五一、〇五八	五一、〇五八	五一、〇五八	五一、〇五八	五一、〇五八	五一、〇五八

全国營業倉庫種類別年末在荷表

(單位 個數千個 金額千圓)

種別	年次	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年
米	雜穀	米	雜穀	米	雜穀	米	雜穀
五二、〇七四	五二、〇七四	五二、〇七四	五二、〇七四	五二、〇七四	五二、〇七四	五二、〇七四	五二、〇七四
五三、四八三	五三、四八三	五三、四八三	五三、四八三	五三、四八三	五三、四八三	五三、四八三	五三、四八三
五二、九七〇	五二、九七〇	五二、九七〇	五二、九七〇	五二、九七〇	五二、九七〇	五二、九七〇	五二、九七〇
五二、六四七	五二、六四七	五二、六四七	五二、六四七	五二、六四七	五二、六四七	五二、六四七	五二、六四七
五八、八四七	五八、八四七	五八、八四七	五八、八四七	五八、八四七	五八、八四七	五八、八四七	五八、八四七
四七、八二〇	四七、八二〇	四七、八二〇	四七、八二〇	四七、八二〇	四七、八二〇	四七、八二〇	四七、八二〇
四七、四五六	四七、四五六	四七、四五六	四七、四五六	四七、四五六	四七、四五六	四七、四五六	四七、四五六
四七、七四八	四七、七四八	四七、七四八	四七、七四八	四七、七四八	四七、七四八	四七、七四八	四七、七四八

種別	年次	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年
米	雜穀	米	雜穀	米	雜穀	米	雜穀
一〇、三三七	一〇、三三七	一〇、三三七	一〇、三三七	一〇、三三七	一〇、三三七	一〇、三三七	一〇、三三七
二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七
一、五九八	一、五九八	一、五九八	一、五九八	一、五九八	一、五九八	一、五九八	一、五九八
二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七
一一二	一一二	一一二	一一二	一一二	一一二	一一二	一一二
三、〇一七	三、〇一七	三、〇一七	三、〇一七	三、〇一七	三、〇一七	三、〇一七	三、〇一七
一、〇七〇	一、〇七〇	一、〇七〇	一、〇七〇	一、〇七〇	一、〇七〇	一、〇七〇	一、〇七〇
五五四	五五四	五五四	五五四	五五四	五五四	五五四	五五四

第二款 普通倉庫

昭和六年末に於ける八大倉庫會社所有普通倉庫の所在地、坪數、竝前年との比較を表示すれば。

營業者名	所在地	坪數		
		昭和六年末	昭和五年末	増減
東神倉庫株式會社神戸支店	濱邊通五、六、八丁目、加納町六丁目、新港町、小野濱町	一一、七八〇 ^坪	一六、二五五 ^坪	△ 四、四七五 ^坪
三菱倉庫株式會社神戸支店	和田崎町、東川崎町一濱邊通、新港町	一九、六八〇	二二、〇三九	△ 二、三五九
株式會社住友倉庫神戸支店	新港通、東出崎町	三、六六一	四、五七一	△ 九一〇
川西倉庫株式會社	大島上竹濱、川崎町	九、一一一	一〇、二九五	△ 一、一八四
森本倉庫株式會社	磯邊通一、二、三丁目	一〇、六〇八	一〇、三五二	△ 二五六
兵庫倉庫株式會社	東出崎町、鍛冶屋町	二、三三四	二、三三四	△
株式會社 鈴鹿商店	南逆瀬川町	一、六一三	三、二七八	△ 一、六六五
横山倉庫株式會社	磯上通八、前町	一、七四七	一、二二六	△ 五二一
計		六〇、五三四	七〇、三五〇	△ 九、八一六

備考 昭和五年末總坪數の内東神、森本、住友、の三倉庫は借庫を含む。

第三款 保稅倉庫

昭和六年末に於ける市内所在保稅倉庫は、官設一ヶ所、三十六坪、私設十一ヶ所、六千百九十一坪にして前年に比し川西冷蔵庫一ヶ所の新設と、他倉庫の擴張とにより七百二十六坪を増加せり。

保稅倉庫一覽表

種別	名稱	位置	特許ヲ受ケタル坪數		
			昭和六年末	昭和五年末	
官設	三菱倉庫株式會社神戸支店	市内東川崎町一、濱邊通八、新港町	一、九五五	一、三六六	
	株式會社住友倉庫神戸支店	市内東出町二、新港町	八二六	一、〇一〇	
	東神倉庫株式會社神戸支店	市内濱邊通八、新港町、加納町	一、二二八	九四〇	
	森本倉庫株式會社	市内磯上通一	七四六	七九一	
	川西倉庫株式會社	市内新港町	六七二	六七二	
	川西冷蔵庫	市内新港町	七八	一	
	横山倉庫株式會社	市内前町、磯上通八	九四	九四	
	日本郵船株式會社神戸支店	市内海岸通一	一八六	一八六	
	臺灣製糖株式會社神戸製糖所	市内東尻池町六	一六〇	一六〇	
	計		三六	三六	
	私	三菱倉庫株式會社神戸支店	市内東川崎町一、濱邊通八、新港町	一、九五五	一、三六六
		株式會社住友倉庫神戸支店	市内東出町二、新港町	八二六	一、〇一〇
		東神倉庫株式會社神戸支店	市内濱邊通八、新港町、加納町	一、二二八	九四〇
森本倉庫株式會社		市内磯上通一	七四六	七九一	
川西倉庫株式會社		市内新港町	六七二	六七二	
川西冷蔵庫		市内新港町	七八	一	
横山倉庫株式會社		市内前町、磯上通八	九四	九四	
日本郵船株式會社神戸支店		市内海岸通一	一八六	一八六	
臺灣製糖株式會社神戸製糖所		市内東尻池町六	一六〇	一六〇	
計			三六	三六	

八	九	十	十	計
月	月	月	月	月
一、四七〇	一、三三三	一、二九三	九六八	二、六九七
一、〇七六	一、五七〇	一、〇七五	一、〇六五	一三、一五三
六、〇〇八	五、七〇〇	五、八七七	五、七四九	一
一、二二二	一、三三三	九〇五	一、〇三三	一五、四四〇
一、三二七	一、五九〇	二、〇三四	一、二〇八	一七、八〇三
七、五二一	七、三三三	六、一三三	五、九二六	一
			五、八〇〇	

第四款 保税工場

昭和六年末に於ける神戸港及近郊に散在する保税工場は、官私設合して十一ヶ所、一萬五千八百八十二坪にして、之を前年に比較するに新設並に廢止ありたるも箇所には同一にして坪数は差引四千三百三十二坪を増加せり。

保税工場一覽表

種別	官設	私	種別	官設	私	種別	官設	私	種別	官設	私
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
ライジンクサン	石油株式会社	川崎車輛株式会社	市内浪松町八丁目一	市内和田山通一丁目六	三、四三六	三、六〇六	三、六〇七	三、六〇七	三、六〇七	三、六〇七	三、六〇七
神戸税關波止場構内	市内初島三五六	兵庫縣川邊郡園田村字西ノ	兵庫縣武庫郡大庄村道意字	兵庫縣川邊郡小田村杭瀬中	新田	市内筒井町七一、八二一	市内逆瀬川町二丁目五二一	市内眞砂通一丁目一四	市内初瀬通四丁目二三	兵庫縣武庫郡鳴尾村鳴尾字	大東ノ外五筆
特許ヲ受ケタル坪數	昭和六年末	昭和五年末	増	減	備考						
1,110坪	1,110坪	△	170坪								

種別	官設	私	種別	官設	私	種別	官設	私	種別	官設	私
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
株式會社 中山悅治商店	株式會社 川崎造船所	日本染工株式会社	川西航空機株式会社	日本家畜飼料株式会社	島岡春吉	松本七郎	森永製菓株式会社	日本鐵線株式会社	株式會社 中山悅治商店	株式會社 川崎造船所	日本染工株式会社
尼崎市初島三五六	兵庫縣川邊郡園田村字西ノ	兵庫縣武庫郡大庄村道意字	兵庫縣川邊郡小田村杭瀬中	新田	市内筒井町七一、八二一	市内逆瀬川町二丁目五二一	市内眞砂通一丁目一四	市内初瀬通四丁目二三	兵庫縣武庫郡鳴尾村鳴尾字	大東ノ外五筆	四、五七五
四二	七〇〇	六八三	七五	一	一	二〇三	一六三	一五九	四、五七五	一、三〇〇	一、三〇〇
四二一	六九九	六八三	四六四	二六二	三三五	二〇三	一六三	一五九	四、五七五	一、三〇〇	一、三〇〇
備考											

前記保税工場に昭和六年中に移入せし貨物總額は、千貳百九拾萬貳千參百七拾貳圓にして、内八百八拾七萬六千九百拾八圓は外國貨物にして、四百貳萬五千四百五拾四圓は内國貨物なり。移出に係る貨物の總額は千四百拾萬五千四百壹圓にして、この内積戻六百六拾參萬〇貳百五拾九圓、輸入八百拾壹萬貳千五百拾九圓、其他の移出貨物四拾四萬壹千六百九拾五圓、移出内國貨物參百九拾貳萬〇九百貳拾八圓たり。之を前年に比較する時は移入總額に於て貳百四拾四萬壹

千九百七拾五圓を減少せり。この内外國貨物は貳百貳拾七萬五千參百四拾四圓、内國貨物拾六萬六千六百參拾壹圓なり、移入にありては、積戻貳百拾七萬四千〇六拾七圓、輸入百五拾七萬〇貳百八拾六圓内國貨物百四拾四萬六千九百八拾七圓を各減少し、其の他の貨物に於て貳拾八萬六千六百四拾八圓を増加し、差引合計四百九拾萬四千六百九拾貳圓を減少せり。

昭和六年中保稅工場移出入貨物價額表

種	移入		移出	
	類	價額	類	價額
外國貨物	八、八七六、九一八	積戻貨物	一、六三〇、二五九	
内國貨物	四、〇二五、四五四	輸入貨物	八、一一二、五一九	
計	一二、九〇二、三七二	他ノ移出貨物	四四一、六九五	
		移出内國貨物	三、九二〇、九二八	
		計	一四、一〇五、四〇一	

本年中製造に供せられたる移入外國貨物品種別表

種	品	價	種	品	價
類	種細別	額	類	種細別	額
穀物及種子	米、玉蜀黍、高粱、大麥、小麥、粟	五七、三六	積戻貨物	積戻貨物	一、六三〇、二五九
諸飲食物	砂糖	一九、五五	輸入貨物	輸入貨物	八、一一二、五一九
皮毛甲殼類	貝殼	七五	他ノ移出貨物	他ノ移出貨物	四四一、六九五
			移出内國貨物	移出内國貨物	三、九二〇、九二八
			計	計	一四、一〇五、四〇一

備考 前記移出積戻貨物中加工又は製造後海外へ積戻せしもの、價額は一、二六二、九一〇圓なり。

本年中加工及製造後(手入ヲ除ク)積戻せし貨物内譯表

種	品	價	種	品	價
類	種細別	額	類	種細別	額
油脂類	椰子油、石油及重油、鹽化アマモニア諸藥	一六、六四九	諸金物	鐵力飯、諸金屬、ワイヤ、鉛	一、六六四、六〇五
染料類	塗料	三、一七	鐵屬製	鐵屬製	五、四七三
糸縷及材料類	絹、綿、交織布	六八	機械類	諸機械部分	八二、六八二
布帛類	絹、綿、交織布	一、九、四三〇	帽子用真田木材飼料	帽子用真田木材飼料	三、六九六
礦物類			計	計	二、六一九、九三三

保稅工場移出入貨物累年價額表

年次	移入		移出	
	外國貨物	内國貨物	外國貨物	内國貨物
大正七年	七、五九九、五三	三三、六五三	一、〇〇三、二五七	一七、七七一、二八〇
大正八年	七三、一〇〇、七〇〇	二、六五七、八七五	六、二〇七、八一	一、一四〇、九五
計	七五、六八八、六五	七、八四三、一八二	七、二一〇、〇六八	一七、七七一、二八〇
積戻	四三、八五四、二五九	一、三三七、七九	一、四五三、六〇〇	六三、六五五、五八五

年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年
移入	四九,三三三,六一	一一,六一〇,三七〇	一〇,九三五,五四	九,〇七〇,五三	九,八八八,七七	八,六〇七,七〇八	一一,七六九,三三	一五,九五七,五〇六	一八,三七八,一八五	一四,八九〇,六〇三	一一,一五三,二六二	八,八七六,九一八
移出	三,四九三,七二九	一,三九三,〇三五	六〇九,五九五	九五一,七五二	一,六九二,二一一	二,〇七二,四八七	二,七四一,五六六	二,八七五,九二八	四,八九〇,〇五〇	五,五五〇,七九二	四,九二一,〇八五	四,〇五五,四五四
増減	七〇,一三三,三〇一	四,四四三,六六一	二,二八九,二四八	二,〇八九,二七七	二,七九四,五三一	一,七〇〇,七九	二,九五四,四八〇	四,三六三,三七	一,四九三,六八八	二,〇四七,三九五	一,五三四,三三七	二,九〇二,三七二
移入	一九,五六九,七六	一九,五六五,八〇一	七,九七五,五六七	五,五五五,五五六	一〇,二三〇,六四四	七,七五七,六八一	八,七三一,八三五	二,四四一,七〇三	二,六六三,五六三	一三,〇四〇,六五五	九,六八二,八〇五	八,一一二,五九
移出	四,七二五,八六五	三,五三八,九九九	一,一四三,九一〇	一,八四一,七五四	一,六六〇,六五一	七三三,三二	八八〇,七九四	二,一四〇,四五五	二,〇三三,九〇六	二,一九〇,〇五七	一五五,〇四七	四四一,六九五
増減	二,〇三六,四七	一,六六,五〇〇	九四五,八三三	一,二六七,七五〇	八三三,二五	一,四七七,〇四三	二,五八六,一五七	二,九四一,五〇九	四,八一三,九五九	五,七四七,〇〇五	五,三六七,九一五	三,九〇〇,九二八
増減	九六,四四四,四二一	二八,七三三,九五八	二二,三五四,五四八	一〇,七五四,二七七	一五,四八八,九六一	一一,六八七,八二四	一五,一五六,二六六	二〇,一九一,九八四	二六,七三三,三四三	二五,六五三,〇四九	一九,〇〇〇,〇九三	一四,一〇五,四〇一

昭和六年保稅工場移出入貨物噸量月別表

月別	昭和六年		昭和五年		昭和六年		昭和五年	
	移入	移出	移入	移出	移入	移出	移入	移出
一月	三四,一五〇	一四,四三三	一九,七三七	二一,〇八二	二一,〇八二	三三,四八九	二,四〇七	二,四〇七
二月	三七,九七六	二二,一四九	一四,八二七	二〇,六四四	二〇,六四四	一七,八一八	二,八三六	二,八三六
三月	二〇,〇六一	一七,五五三	三七,六二四	二七,二六八	二七,二六八	三五,〇四〇	七,七七三	七,七七三
四月	二二,七九〇	五四〇	二二,二五〇	二〇,七九六	二〇,七九六	二〇,六〇七	一八九	一八九
五月	一七,六九八	八,一六〇	九,五三八	一九,九七七	一九,九七七	二二,八三八	四,〇四一	四,〇四一
六月	三五,二五一	五,一二五	四〇,三七六	二五,〇一〇	二五,〇一〇	二二,五九〇	三,四三〇	三,四三〇

第五款 保稅地域

月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
移入	一七,〇六九	二五,四九三	一七,一八七	二四,八三五	二四,三三九	二一,三四三	二九七,一八三
移出	一三,三〇五	二五,九八七	一八,五二四	一八,八六二	一一,三〇七	一一,〇四〇	二五三,三四七
増減	△	△	△	△	△	△	四三,八三六
移入	二五,四八四	二〇,六四四	二四,九八〇	二五,一五九	二七,〇〇三	二二,三三八	二八一,三三五
移出	二二,一一三	一四,五二〇	二〇,二〇四	二二,九九八	一八,二九三	一九,六七五	二五九,一九四
増減	四,三七一	六,一四四	四,七七六	二,一六一	八,七一〇	三,五六三	二二,九四一

昭和六年末に於ける神戸港の保稅地域（建物及び建物外）總坪數は、官設三萬八千〇五十六坪、私設五萬七千〇一十一坪、合計九萬五千〇六十七坪にして、之れを前年に比すれば官設に於て百五十二坪を減じ、私設に於て三千七百五十九坪を増加し合計に於て差引三千六百〇七坪を増加せり

昭和六年保稅地域増減比較表

區別	名	稱	所在地	坪		増減
				昭和六年末	昭和五年末	
官	築港	第一波止場	神戸税関築港構内	二二,二〇一	二二,四〇三	△ 二〇〇
			同 第一波止場構内	一,一六七	一,二九八	△ 一三三
			同 第二波止場構内	二〇〇	二〇〇	△ 〇
			同 川崎波止場構内	八,〇〇八	八,三三六	△ 三二八
			同 兵庫波止場構内	一九九	一九九	△ 〇
			同 湊川驛構内	五七七	五七七	△ 〇
			神戸港築港構内	三八四	三八四	△ 〇
			同 第一波止場構内	五〇	七五	△ 二五
			同 第二波止場構内	三八〇	三八〇	△ 〇
			湊川驛構内	五〇	五〇	△ 〇
設	輪	出	神戸税関第一波止場、築港、小野濱、高濱、各構内	二,四八九	二,一五七	△ 三三二
			同 第一波止場構内	三八,〇五六	三八,二〇八	△ 一五二
			同 第二波止場構内	一九,九三九	一八,一六九	△ 一,七七〇
			同 濱邊通八丁目	一六,九〇〇	一六,〇四八	△ 八五二
			同 加納町六丁目	五,八三〇	四,五二五	△ 一,三〇五
			同 東尻池大竹濱	四,〇八二	三,六〇六	△ 四七六
			同 新港町	一,七三八	一,七三八	△ 〇
			武庫郡魚崎町横屋	六五〇	六五〇	△ 〇
			市内和田崎町三丁目	七九	七九	△ 〇
			同 濱邊通一丁目	五六一	五六一	△ 〇
私	輪	入	三菱倉庫株式會社神戸支店	一八,一六九	一七,七〇〇	△ 四六九
			東神倉庫株式會社神戸支店	一六,九〇〇	一六,〇四八	△ 八五二
			川西倉庫株式會社	五,八三〇	四,五二五	△ 一,三〇五
			株式會社住友倉庫神戸支店	四,〇八二	三,六〇六	△ 四七六
			紐育スタンダード石油會社	一,七三八	一,七三八	△ 〇
			三菱造船株式會社神戸造船所	六五〇	六五〇	△ 〇
			森本倉庫株式會社	七九	七九	△ 〇
			同 濱邊通一丁目	五六一	五六一	△ 〇
			同 東尻池町六丁目	六八	五二〇	△ 四五二
			同 南本町二丁目	六一五	五〇五	△ 一一〇
合	計	入	明治製糖株式會社神戸製糖所	六八	五二〇	△ 四五二
			ニツケル、エンド、ライオンス商會	六一五	五〇五	△ 一〇〇
			臺灣製糖株式會社神戸製糖所	二四〇	五二〇	△ 二八〇
			同 東尻池町六丁目	一九九	四三	△ 一五六
			同 南本町三丁目	五八	四三	△ 一五
			同 東川崎町二丁目	三〇	三〇	△ 〇
			同 眞砂通一丁目	三〇	三〇	△ 〇
			同 東尻池町	一三	三〇	△ 一七
			同 磯上通一丁目	二六	二五	△ 一
			同 南本町一丁目	二六	二五	△ 一
合	計	出	三菱倉庫株式會社神戸支店	二,九六九	二,九六九	△ 〇
			東神倉庫株式會社神戸支店	一,七三八	一,七三八	△ 〇
			株式會社住友倉庫神戸支店	三七〇	三七〇	△ 〇
			川西倉庫株式會社	二四五	一〇〇	△ 一四五
			同 新港町	三七〇	三七〇	△ 〇
			同 新港町	二四五	一〇〇	△ 一四五
			市内東川崎町一丁目	二,九六九	二,九六九	△ 〇
			同 加納町六丁目	一,七三八	一,七三八	△ 〇
			同 新港町	三七〇	三七〇	△ 〇
			同 新港町	二四五	一〇〇	△ 一四五

以上の保税地域に昭和六年中に搬入したる輸出入貨物噸量は、百九十五萬三百五十五噸にして、搬出貨物は百九十九萬九千七百二十六噸なり、之を前年と對比するに搬入に於て、六萬五千二百六十六噸搬出に於て二萬七千六百八十九噸を何れも増加せり。

左に之を細別表示せん。

地域

年	三
問當	噸
	—
	—
3	393
1	519
2	912
1	858
3	360
2	218
5	122
1	499
7	621
	13
	—
	—
91	870
99	274
00	1441
27	122
36	3995
13	5215

一トE

神戸港大観

績 表

(保稅地域内岸壁ニ於ケル)

昭和二年				昭和三年				昭和四年				昭和五年				昭和六年								
揚	卸	計	間當噸量	延長	揚	卸	計	間當噸量	延長	揚	卸	計	間當噸量	延長	揚	卸	計	間當噸量	延長	揚	卸	計	間當噸量	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	121	163	99	262	1.3	121	13,314	785	14,099	116.5	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	121	—	33	33	0.3	121	154	1,284	1,438	11.9	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	163	132	295	—	—	13,468	2,069	15,537	—	
15	77,778	8,971	86,749	403.5	215	42,153	11,393	53,546	249.1	215	48,023	11,806	59,829	278.3	215	28,171	11,431	39,602	184.1	215	27,460	10,759	38,219	177.8
15	1,053	19,921	20,974	97.6	215	320	14,519	14,839	69.0	215	537	18,346	18,883	87.8	215	2,403	9,595	11,998	55.8	215	166	3,775	3,941	18.3
—	78,831	28,892	107,723	—	—	42,473	25,912	68,385	—	—	48,560	30,152	78,712	—	—	30,574	21,026	51,600	—	—	27,626	14,534	42,160	—
8	59,096	8,896	67,992	326.9	205	48,334	10,858	59,192	284.6	208	46,914	11,590	58,504	281.3	208	29,031	6,947	35,978	172.5	208	22,785	7,815	30,600	147.1
36	703	9,176	9,879	41.9	236	194	12,360	12,554	53.2	236	144	15,576	15,720	66.6	236	432	9,806	10,238	43.4	236	261	5,086	5,347	22.7
—	59,799	18,072	77,871	—	—	48,528	23,218	71,746	—	—	47,058	27,166	74,224	—	—	29,463	16,753	46,216	—	—	23,046	12,901	35,947	—
01	29,376	11,018	40,394	201.0	201	31,543	10,122	41,665	207.3	201	30,957	9,248	40,205	200.0	201	22,014	6,245	28,259	140.6	201	18,492	3,968	22,460	111.7
29	610	11,592	12,202	53.3	229	343	11,499	11,533	50.4	229	443	10,390	10,833	47.3	229	157	6,447	6,604	28.8	229	1,448	3,193	4,641	20.3
—	29,986	22,610	52,596	—	—	1,577	12,621	53,198	—	—	31,400	19,638	51,038	—	—	22,171	12,692	34,863	—	—	19,940	7,161	27,101	—
00	71,500	15,623	87,123	217.8	400	74,184	19,589	93,773	234.4	400	68,470	15,223	83,693	209.2	400	56,454	10,418	66,872	167.0	400	63,467	8,014	71,481	178.7
36	216	13,704	13,920	30.5	456	1,427	17,359	18,786	41.2	456	—	16,493	16,493	36.2	456	1,284	13,786	15,070	33.0	456	814	8,879	9,693	21.3
—	71,716	29,327	101,043	—	—	75,611	36,948	112,559	—	—	68,470	31,716	100,186	—	—	57,738	24,204	81,942	—	—	64,281	16,893	81,174	—
00	39,770	17,678	57,448	143.6	400	33,194	10,290	43,484	108.7	400	33,071	8,330	41,401	103.5	400	19,952	6,705	26,657	66.6	400	15,503	4,351	19,854	49.5
36	190	13,685	13,875	30.4	456	15	16,254	16,269	35.7	456	—	17,517	17,517	38.4	456	12,277	7,092	19,369	42.5	459	8,509	5,649	14,158	31.0
—	39,960	31,363	71,323	—	—	33,209	26,544	59,753	—	—	33,071	25,847	58,918	—	—	32,229	13,797	46,026	—	—	24,012	10,000	34,012	—
15	59,726	64,770	124,496	858.6	145	880,583	877,328	1,757,911	12,123.5	145	851,743	856,675	1,703,418	11,782.2	145	498,500	500,305	998,806	6,888.3	145	630,089	588,678	1,218,767	8,405.3
30	74,830	29,422	104,252	1,303.2	80	90,757	37,565	128,322	1,604.0	80	64,080	59,400	123,480	1,543.5	80	69,655	26,040	95,695	1,196.2	80	95,240	61,033	156,323	1,954.2
30	27,861	22,891	50,752	634.4	80	32,762	13,244	46,006	575.1	80	20,800	44,805	65,605	820.0	80	35,372	19,556	54,928	86.6	80	43,830	25,319	69,149	864.4
90	104,177	87,583	191,760	2,130.7	90	84,021	42,340	126,361	1,404.0	90	83,054	62,049	145,103	1,612.3	90	120,744	70,162	190,906	2,121.2	90	112,221	72,782	185,003	2,055.5
11	89,071	18,111	107,182	444.7	100	219,788	191,205	410,994	411.0	241	185,554	158,185	343,739	1,426.3	241	104,275	88,641	192,916	800.5	241	127,111	104,765	231,876	963.1
77	9,508	743,046	752,554	2,716.8	277	92,448	768,740	861,188	318.1	277	3,491	295,610	299,101	1,079.8	277	70,705	401,458	472,163	1,704.6	277	49,404	349,709	399,113	1,440.8
20	2,308	—	2,308	115.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
75	30,116	11,680	41,796	152.0	275	38,756	890	39,646	144.2	275	33,275	29,975	63,250	230.0	275	20,753	19,469	40,222	146.3	275	25,710	19,389	45,099	164.0
30	329,889	329,867	659,756	21,991.9	30	301,889	301,220	603,109	2,010.4	30	393,719	393,767	787,486	26,249.5	30	282,244	282,232	564,476	18,815.9	30	386,828	386,833	773,661	25,788.8
17	64,931	322	65,253	1,388.4	47	65,841	601	66,442	1,413.7	47	64,934	595	65,529	1,394.2	47	50,696	617	51,313	1,091.7	47	29,231	546	39,759	845.9
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	277,520	62,186	339,706	238.5	1,471	229,408	62,252	291,660	198.3	1,424	227,435	56,197	283,632	199.2	1,545	155,785	41,845	197,630	120.8	1,545	161,021	35,692	196,713	127.3
77	795,189	1,375,770	2,170,959	754.6	2,736	1,810,035	2,305,125	4,115,160	1,504.1	2,857	1,701,774	1,979,383	3,681,157	1,288.4	2,978	1,269,497	1,455,240	2,724,737	915.0	2,978	1,520,998	1,636,970	3,157,968	1,050.4
—	1,072,709	1,437,956	2,510,665	—	—	2,039,443	2,367,377	4,406,820	—	—	1,929,209	2,035,580	3,964,789	—	—	1,425,282	1,497,085	2,922,367	—	—	1,682,019	1,672,652	3,354,681	—
15	175,032	1,860	176,892	512.7	345	179,709	2,200	181,909	527.5	345	191,789	100	191,889	556.2	345	164,812	470	165,282	479.0	345	182,760	350	183,110	530.8

95,520	62,186	339,705	238.5	1,471	229,408	62,252	291,620	198.3	1,424	227,435	56,197	283,632	199.2	1,545	155,785	41,845	197,630	120.8	1,545	161,021	35,692	196,713	127.3
95,189	1,375,770	2,170,959	754.6	2,736	1,810,035	2,305,125	4,115,160	1,504.1	2,857	1,701,774	1,979,383	3,681,157	1,288.4	2,978	1,269,497	1,455,240	2,724,737	915.0	2,978	1,520,998	1,636,970	3,157,968	1,060.4
072,709	1,437,956	2,510,665	—	—	2,039,443	2,367,377	4,406,820	—	—	1,929,209	2,035,580	3,964,789	—	—	1,425,282	1,497,085	2,922,367	—	—	1,682,019	1,672,652	3,354,681	—
75,032	1,860	176,892	512.7	345	179,709	2,200	181,909	527.5	345	191,789	100	191,889	556.2	345	164,812	470	165,282	479.0	345	182,760	350	183,110	530.8
35,023	232,980	368,003	1,060.5	347	112,779	281,344	394,123	1,135.8	347	200,689	317,289	517,978	1,492.7	347	152,766	253,133	405,899	1,169.7	347	96,539	188,527	285,066	821.5
10,055	234,840	544,895	—	—	292,488	283,544	576,032	—	—	392,478	317,389	709,867	—	—	317,578	253,603	571,181	—	—	279,299	188,877	468,176	—
—	—	—	—	100	178,935	634	179,569	179.6	200	165,049	3,010	168,059	840.0	200	182,486	5,653	188,149	940.7	200	196,184	2,371	198,555	992.8
91,776	65,903	257,679	1,096.5	335	38,518	68,405	105,923	319.3	335	45,652	90,149	135,801	405.4	305	25,006	80,976	105,982	347.5	370	13,850	71,988	85,838	231.9
91,776	65,903	257,679	—	—	217,453	69,039	286,492	—	—	210,701	93,159	303,860	—	—	207,492	86,639	294,131	—	—	210,034	74,359	84,393	—
3,014	—	3,014	100.5	30	—	—	—	—	30	253	—	253	8.4	30	359	—	359	12.0	30	435	—	435	14.5
179	—	179	1.5	120	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22,217	149,648	471,855	1,685.2	280	140,350	115,118	255,468	912.3	280	127,676	99,397	227,073	811.0	280	136,864	83,855	220,719	788.3	280	120,476	103,264	223,740	799.0
2,926	—	2,926	66.5	44	3,655	—	3,655	82.3	44	3,289	362	3,651	83.0	44	844	—	844	19.0	44	215	—	215	4.9
55	795	850	28.3	30	125	385	510	17.0	30	458	1,542	2,000	66.7	30	1,056	533	1,589	53.0	30	1,267	957	2,224	74.1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20,576	—	20,576	274.3	75	22,414	402	22,816	304.2	75	33,499	201	33,700	449.3	75	50,813	—	50,813	678.8	75	39,636	—	39,636	528.5
17,958	12,216	30,174	1,160.5	26	45,653	32,634	78,287	301.1	26	44,383	41,001	85,384	3,284.0	26	39,056	37,199	76,255	2,925.2	26	67,424	59,736	127,160	4,881.9
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
86,300	—	86,300	431.5	200	214,022	5,036	219,058	1,095.3	200	21,178	—	211,787	1,058.9	200	163,261	—	163,261	816.3	200	282,907	3,036	285,943	1,429.7
26,316	13,125	42,441	530.5	83	40,383	20,869	91,252	765.6	80	74,478	26,335	71,122	889.0	80	33,272	18,146	51,418	642.7	80	18,121	9,376	27,497	343.7
33,120	9,759	42,879	481.8	89	31,342	7,104	38,446	432.0	89	77,992	804	8,796	98.8	89	22,138	6,720	28,858	324.2	89	27,913	14,108	42,021	472.2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
37,647	—	37,647	597.6	63	29,421	—	29,421	467.0	63	25,072	—	25,072	398.0	63	23,685	—	23,685	376.0	63	18,197	—	18,197	288.9
—	—	—	—	20	110	13	123	6.2	20	2,005	1,991	3,996	199.8	20	58	246	306	15.3	20	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	4,911	—	4,911	701.6	7	5,116	—	5,116	730.9	7	8,665	—	8,665	1,237.9
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	21	—	21	1.1	20	—	—	—	—
61,332	1,860	263,192	337.4	645	572,666	7,870	580,536	900.1	745	568,625	3,110	571,735	767.4	745	510,559	6,133	516,692	693.5	745	661,851	5,757	667,608	896.1
93,797	484,426	1,278,223	900.8	1,539	464,750	526,274	991,024	643.9	1,426	540,666	579,071	1,119,737	785.2	1,416	491,054	480,810	971,864	686.3	1,481	412,738	447,956	860,694	581.2
55,129	486,286	1,541,415	—	—	1,037,416	534,144	1,571,560	—	—	1,109,291	582,181	1,691,472	—	—	1,001,613	486,943	1,488,556	—	—	1,074,589	453,713	1,528,302	—
38,852	64,046	602,898	273.5	2,116	802,074	70,122	872,196	412.1	2,169	796,060	59,307	855,367	394.4	2,290	666,344	47,978	714,322	311.9	2,290	822,872	41,449	864,321	377.4
88,986	1,860,196	3,449,182	802.9	4,275	2,274,785	2,831,399	5,106,184	1,199.1	4,283	2,242,440	2,558,454	4,800,894	1,120.9	4,394	1,760,551	1,935,050	3,696,601	841.3	4,495	1,933,736	2,084,926	4,018,662	901.2
27,838	1,924,242	4,052,080	—	—	3,076,859	2,901,521	5,978,380	—	—	3,038,500	2,617,761	5,656,261	—	—	2,426,895	1,984,028	4,410,923	—	—	2,756,608	2,126,375	4,882,983	—

貨 物 積 卸 成 績 表

所 別	區 分	大 正 十 二 年					大 正 十 三 年					大 正 十 四 年					昭 和 元 年					昭 和 二 年					
		延 長	揚	卸	計	間當噸量	延 長	揚	卸	計	間當噸量	延 長	揚	卸	計	間當噸量	延 長	揚	卸	計	間當噸量	延 長	揚	卸	計	間當噸量	延
一 突堤東岸 (水深自33呎至40呎)	本船扱 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一 突堤西岸 (水深自33呎至36呎)	本船扱 計	215	84,536	8,074	92,610	430.7	215	97,783	8,755	106,538	495.5	215	57,061	10,767	67,828	315.4	215	49,952	8,871	58,823	273.6	215	77,778	8,971	86,749	403.5	
		215	2,132	45,183	47,315	220.7	215	4,132	65,362	69,494	322.2	215	1,897	21,551	23,448	109.1	215	813	11,545	12,358	57.5	215	1,053	19,921	20,974	97.6	
		—	86,668	53,257	139,925	—	—	101,915	74,117	176,032	—	—	58,958	32,318	91,276	—	—	50,765	20,416	71,181	—	—	78,831	28,892	107,723	—	
二 突堤東岸 (水深同上)	本船扱 計	208	101,416	5,464	106,880	513.8	208	102,502	5,549	108,051	519.5	208	54,282	8,152	62,434	300.2	208	50,780	8,069	58,849	282.9	208	59,096	8,896	67,992	326.9	
		236	14,353	54,557	69,910	296.2	236	4,537	56,171	60,788	257.2	236	2,076	23,170	25,246	107.0	236	880	15,630	16,510	70.0	236	703	9,176	9,879	41.9	
		—	115,769	61,021	176,790	—	—	107,039	61,720	168,759	—	—	56,358	31,322	87,680	—	—	51,660	23,699	75,359	—	—	59,799	18,072	77,871	—	
二 突堤西岸 (水深30呎)	本船扱 計	201	83,037	3,973	78,060	433.1	201	86,668	4,688	91,356	454.5	201	52,736	6,855	59,571	296.4	201	42,675	10,135	52,810	262.7	201	29,376	11,018	40,394	201.0	
		229	12,053	46,468	58,521	255.5	229	1,311	57,850	59,161	258.3	229	546	24,540	25,086	109.5	229	152	23,019	23,171	101.2	229	610	11,592	12,202	53.3	
		—	95,140	50,441	145,581	—	—	87,979	62,538	150,517	—	—	53,282	31,375	84,657	—	—	42,827	33,154	75,981	—	—	29,986	22,610	52,596	—	
三 突堤 (水深同上)	本船扱 計	400	179,172	5,956	185,128	462.8	400	175,100	10,497	185,597	464.0	400	105,760	12,553	118,313	295.8	400	97,479	13,322	110,801	277.0	400	71,500	15,623	87,123	217.8	
		456	15,894	107,145	123,039	469.8	456	7,559	104,441	112,000	245.6	456	963	45,097	46,060	101.0	456	147	28,839	28,986	63.6	456	216	13,704	13,920	30.5	
		—	195,066	113,101	308,167	—	—	182,659	114,938	297,597	—	—	106,723	57,650	164,373	—	—	97,626	42,161	139,787	—	—	71,716	29,327	101,043	—	
四 突堤 (水深同上)	本船扱 計	440	177,805	13,445	191,250	478.1	400	178,815	15,279	194,094	485.2	400	58,735	18,102	76,837	192.1	400	43,833	21,097	64,930	162.3	400	39,770	17,678	57,448	143.6	
		450	28,656	92,829	121,485	266.4	459	8,815	110,456	119,271	261.6	456	755	21,665	22,420	49.2	456	—	55,181	55,181	121.0	456	190	13,685	13,875	30.4	
		—	206,461	106,274	312,735	—	—	187,630	125,735	313,365	—	—	59,490	39,767	99,257	—	—	43,833	76,287	120,111	—	—	39,960	31,363	71,323	—	
一 物揚場	解 扱	145	87,094	67,254	154,348	1,064.5	145	89,534	77,480	167,017	1,151.8	145	73,101	76,684	149,785	1,033.0	145	62,788	24,548	87,336	602.3	145	59,726	64,770	124,496	858.6	
二 物揚場	同 上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80	74,830	29,422	104,252	1,303.2	
二 岸壁	同 上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80	27,861	22,891	50,752	634.4	
三 物揚場	同 上	90	1,331	6,022	7,353	81.7	90	9,854	35,568	45,422	504.7	170	16,897	24,656	41,523	244.3	250	68,889	41,459	110,348	441.4	90	104,177	87,583	191,760	2,130.7	
一波止場	同 上	241	224,764	76,700	301,464	1,250.9	241	161,356	82,756	274,112	1,137.4	241	154,945	57,810	212,755	882.8	241	136,680	56,142	192,822	800.1	241	89,071	18,111	107,182	444.7	
二波止場	同 上	277	86,733	646,816	733,549	2,648.2	277	19,156	661,272	680,428	2,456.4	277	17,897	656,114	674,011	2,433.3	277	10,997	687,519	698,516	2,521.7	277	9,508	743,046	752,554	2,716.8	
三波止場	同 上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	2,308	—	2,308	115.4	
崎波止場	同 上	275	96,942	99,190	196,132	713.2	275	111,001	59,315	170,316	619.3	275	31,023	25,031	56,054	203.9	275	34,372	28,480	62,852	228.5	275	30,116	11,680	41,796	152.0	
庫波止場	同 上	30	1,268	108	1,376	45.9	30	2,139	204	2,343	78.1	30	292,306	292,348	584,654	19,488.5	30	399,063	399,045	798,108	26,603.6	30	329,889	329,867	659,756	21,991.9	
川驛物揚場	同 上	47	73,283	208	73,491	1,563.6	47	76,613	192	76,805	1,506.5	47	77,961	345	78,306	1,666.0	47	94,446	427	94,873	2,018.6	47	64,931	322	65,253	1,388.4	
二突堤根元西空地	同 上	20	424	1,327	1,715	87.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	本船扱 計	1,424	626,016	36,912	662,928	465.5	1,424	640,868	44,768	685,636	481.5	1,424	328,574	6,409	384,983	270.4	1,424	284,719	61,494	346,213	243.1	1,424	277,520	62,186	339,706	238.5	
		2,717	644,927	1,244,807	1,889,734	695.5	2,697	520,010	1,311,067	1,837,077	681.1	2,777	670,777	1,269,011	1,939,348	698.4	2,857	809,227	1,371,834	2,181,061	163.4	2,877	795,189	1,375,770	2,170,959	754.6	
		—	1,270,943	1,281,719	2,552,662	—	—	1,166,878	1,355,835	2,522,713	—	—	998,911	1,325,420	2,324,331	—	—	1,093,946	1,433,328	2,527,274	—	—	1,072,709	1,437,956	2,510,665	—	
濱岸壁	本船扱	245	133,824	1,200	135,024	551.1	245	95,801	—	95,801	391.0	245	130,417	60,195	190,612	778.0	345	155,095	1,595	156,690	454.2	345	175,032	1,860	176,892	512.7	

貨 物 積 卸 成

場 所 別	區 分	大 正 十 二 年					大 正 十 三 年					大 正 十 四 年					昭 和 元 年					昭	
		延 長	揚	卸	計	間當噸量	延 長	揚	卸	計	間當噸量	延 長	揚	卸	計	間當噸量	延 長	揚	卸	計	間當噸量		延 長
官	第一突堤東岸 (水深自33呎至40呎)	本船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	第一突堤西岸 (水深自33呎至36呎)	本船	215	84,536	8,074	92,610	430.7	215	97,783	8,755	106,538	495.5	215	57,061	10,767	67,828	315.4	215	49,952	8,871	58,823	273.6	215
		船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	第二突堤東岸 (水深同上)	本船	208	101,416	5,464	106,880	513.8	208	102,502	5,549	108,051	519.5	208	54,282	8,152	62,434	300.2	208	50,780	8,069	58,849	282.9	208
		船	236	14,353	54,557	69,910	296.2	236	4,537	56,171	60,788	257.2	236	2,076	23,170	25,246	107.0	236	880	15,630	16,510	70.0	236
		計	—	115,769	61,021	176,790	—	—	107,039	61,720	168,759	—	—	56,358	31,322	87,680	—	—	51,660	23,699	75,359	—	—
	第二突堤西岸 (水深30呎)	本船	201	83,037	3,973	78,060	433.1	201	86,668	4,688	91,356	454.5	201	52,736	6,855	59,571	296.4	201	42,675	10,135	52,810	262.7	201
		船	229	12,053	46,468	58,521	255.5	229	1,311	57,850	59,161	258.3	229	546	24,540	25,086	109.5	229	152	23,019	23,171	101.2	229
		計	—	95,140	50,441	145,581	—	—	87,979	62,538	150,517	—	—	53,282	31,375	84,657	—	—	42,827	33,154	75,981	—	—
設	第三突堤 (水深同上)	本船	400	179,172	5,956	185,128	462.8	400	175,100	10,497	185,597	464.0	400	105,760	12,553	118,313	295.8	400	97,479	13,322	110,801	277.0	400
		船	456	15,894	107,145	123,039	469.8	456	7,559	104,441	112,000	245.6	455	963	45,097	46,060	101.0	456	147	28,839	28,986	63.6	456
		計	—	195,066	113,101	308,167	—	—	182,659	114,938	297,597	—	—	106,723	57,650	164,373	—	—	97,626	42,161	139,787	—	—
	第四突堤 (水深同上)	本船	440	177,805	13,445	191,250	478.1	400	178,815	15,279	194,094	485.2	400	58,735	18,102	76,837	192.1	400	43,833	21,097	64,930	162.3	400
		船	450	28,656	92,829	121,485	266.4	459	8,815	110,456	119,271	261.6	456	755	21,665	22,420	49.2	456	—	55,181	55,181	121.0	456
		計	—	206,461	106,274	312,735	—	—	187,630	125,735	313,365	—	—	59,490	39,767	99,257	—	—	43,833	76,287	120,111	—	—
	第一物揚場	船	145	87,094	67,254	154,348	1,064.5	145	89,534	77,480	167,017	1,151.8	145	73,101	76,684	149,785	1,033.0	145	62,788	24,548	87,336	602.3	145
	第二物揚場	同上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80
	第二岸壁	同上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80
	第三物揚場	同上	90	1,331	6,022	7,353	81.7	90	9,854	35,568	45,422	504.7	170	16,897	24,656	41,523	244.3	250	68,889	41,459	110,348	441.4	90
第一波止場	同上	241	224,764	76,700	301,464	1,250.9	241	161,356	82,756	274,112	1,137.4	241	154,945	57,810	212,755	882.8	241	136,680	56,142	192,822	800.1	241	
第二波止場	同上	277	86,733	646,816	733,549	2,648.2	277	19,156	661,272	680,428	2,456.4	277	17,897	656,114	674,011	2,433.3	277	10,997	687,519	698,516	2,521.7	277	
第三波止場	同上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	
川崎波止場	同上	275	96,942	99,190	196,132	713.2	275	111,001	59,315	170,316	619.3	275	31,023	25,031	56,054	203.9	275	34,372	28,480	62,852	228.5	275	
兵庫波止場	同上	30	1,268	108	1,376	45.9	30	2,139	204	2,343	78.1	30	292,306	292,348	584,654	19,488.5	30	399,063	399,045	798,108	26,603.6	30	
湊川驛物揚場	同上	47	73,283	208	73,491	1,563.6	47	76,613	192	76,805	1,506.5	47	77,961	345	78,306	1,666.0	47	94,446	427	94,873	2,018.6	47	
第二突堤根元西空地	同上	20	424	1,327	1,751	87.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
小	計	本船	1,424	626,016	36,912	662,928	465.5	1,424	640,868	44,768	685,636	481.5	1,424	328,574	6,409	384,983	270.4	1,424	284,719	61,494	346,213	243.1	1,424
		船	2,717	644,927	1,244,807	1,889,734	695.5	2,697	520,010	1,311,067	1,837,077	681.1	2,777	670,777	1,269,011	1,939,348	698.4	2,857	809,227	1,371,834	2,181,061	163.4	2,877
		計	—	1,270,943	1,281,719	2,552,662	—	—	1,166,878	1,355,835	2,522,713	—	—	998,911	1,325,420	2,324,331	—	—	1,093,946	1,433,323	2,527,274	—	1,077
高濱岸壁	本船	245	133,824	1,200	135,024	551.1	245	95,801	—	95,801	391.0	245	130,417	60,195	190,612	778.0	345	155,095	1,595	156,690	454.2	345	

	第二突堤根元西空地	同	上	20	424	1,327	1,715	87.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		本船扱	扱	1,424	626,016	36,912	662,928	465.5	1,424	640,868	44,768	685,636	481.5	1,424	328,574	6,409	384,983	270.4	1,424	284,719	61,494	346,213	243.1	1,424	277
	小計	船扱	扱	2,717	644,927	1,244,807	1,889,734	695.5	2,697	520,010	1,311,067	1,837,077	681.1	2,777	670,777	1,269,011	1,939,348	698.4	2,857	809,227	1,371,834	2,181,061	163.4	2,877	795
		計	計	—	1,270,943	1,281,719	2,552,662	—	—	1,166,878	1,355,835	2,522,713	—	—	998,911	1,325,420	2,324,331	—	—	1,093,946	1,433,328	2,527,274	—	—	1,072
	高濱岸壁	本船扱	扱	245	133,824	1,200	135,024	551.1	245	95,801	—	95,801	391.0	245	130,417	60,195	190,612	778.0	345	155,095	1,595	156,690	454.2	345	175
	(水深27呎)	船扱	扱	347	118,104	206,635	324,739	935.8	347	81,362	201,369	282,731	814.8	347	154,309	121,747	276,056	795.5	347	109,882	213,394	323,276	931.6	347	135
		計	計	—	251,928	207,835	459,763	—	—	177,163	201,369	378,532	—	—	284,726	181,942	466,668	—	—	264,977	214,989	479,966	—	—	310
	東神棧橋	本船扱	扱	170	186,934	55	189,989	1,099.9	170	201,000	70	201,070	1,182.8	170	137,213	288	137,501	826.5	235	111,040	40	111,080	472.7	235	191
	(水深30呎)	船扱	扱	235	82,474	111,816	194,290	826.8	235	70,320	99,479	169,799	722.6	235	144,521	83,699	228,220	971.2	235	121,047	96,229	217,276	924.5	235	191
		計	計	—	269,408	111,871	381,279	—	—	271,320	99,549	370,869	—	—	281,734	83,987	365,721	—	—	232,087	96,269	328,356	—	—	191
私	川崎造船所	船扱	扱	320	87	5	92	0.3	320	3,768	284	4,052	12.7	20	2,826	1,569	4,395	218.8	30	2,020	—	2,020	67.3	30	3
	脇濱港灣物揚場	同上	同上	178	17,583	14,764	32,347	182.3	173	12,549	8,060	20,609	119.1	—	—	—	—	—	120	24,848	2,463	7,311	60.9	120	—
	葺合鈴木上屋	同上	同上	3	2,625	—	2,625	875.0	23	2,625	1,161	3,786	164.6	120	4,253	2,928	7,181	59.8	—	—	—	—	—	—	—
	和田三菱倉庫	同上	同上	203	343,027	138,827	481,854	2,373.7	203	275,838	123,479	399,317	1,966.1	280	292,206	153,267	445,473	1,591.0	280	314,936	177,088	492,024	1,757.2	280	322
	三菱造船所	同上	同上	73	4,703	—	4,703	64.4	73	3,173	—	3,173	43.5	23	1,273	—	1,273	55.3	44	4,464	—	4,464	101.5	44	2
	兵庫住友倉庫	同上	同上	34	24,019	10,001	34,020	1,000.6	34	3,291	2,500	5,791	170.3	30	6,503	5,215	11,718	390.6	30	9	458	467	15.6	30	—
	日本精米製粉	同上	同上	5	374	737	1,111	222.2	5	3,980	2,205	7,185	1,437.0	9	372	213	585	65.0	—	—	—	—	—	—	—
	日本製粉	同上	同上	28	9,503	—	9,503	339.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	—	425	426	47.3	—	—
	日清製粉	同上	同上	6	3,646	—	3,646	607.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	増田製粉	同上	同上	14	1,488	—	1,488	105.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	臺灣製糖會社	同上	同上	120	21,422	—	21,422	178.5	120	30,613	20,570	51,183	426.5	120	29,951	25,931	55,882	465.7	75	19,619	2,403	22,022	293.6	75	20
	川西保稅地域	同上	同上	26	12,795	3,513	16,308	627.2	26	6,462	4,241	10,703	411.7	26	21,094	12,706	33,800	1,300.0	26	20,045	3,034	23,079	887.7	26	17
	安部製糖	同上	同上	16	932	6,720	7,652	478.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	東洋豆粕製造所	同上	同上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	東神倉庫網濱倉庫	同上	同上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	和田棧橋	本船扱	扱	200	38,359	—	38,359	191.3	200	24,020	—	24,020	120.1	200	58,321	—	58,321	291.6	200	60,100	—	63,100	315.5	200	86
	生田川尻物揚場	船扱	扱	77	50,185	26,116	76,301	99.9	31	35,153	18,030	53,183	1,715.6	80	22,436	14,460	36,896	461.2	80	36,416	21,050	57,466	718.3	80	26
	葺合港灣	同上	同上	214	43,332	27,389	70,721	330.5	89	40,925	43,616	84,541	949.9	89	23,339	13,022	36,361	408.6	89	38,008	2,036	40,044	449.9	89	33
	鈴鹿倉庫	同上	同上	34	7,474	3,385	10,859	319.4	8	2,013	1,652	3,665	458.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	苅藻島鈴鹿木材藏置場	同上	同上	50	3,821	3,821	7,642	152.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	木村倉庫	同上	同上	2	720	90	810	405.0	15	1,463	1,284	2,747	183.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
設	明治製糖	同上	同上	16	5,527	295	5,822	363.9	16	26,853	1,371	28,224	1,764.0	16	31,350	25,135	56,485	3,530.3	63	32,886	—	32,886	522.0	63	37
	川崎車輛會社	同上	同上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日本家畜飼料會社	同上	同上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	川崎飛行機工場	同上	同上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	本船扱	扱	615	359,117	1,255	360,372	585.9	615	320,821	70	320,891	521.8	615	325,951	60,483	386,434	628.3	780	329,235	1,635	30,870	424.2	780	261
		船扱	扱	2,001	753,841	554,114	1,307,955	653.7	1,718	624,408	530,301	1,154,709	677.1	1,395	734,433	459,892	1,194,325	856.1	1,428	704,180	518,581	1,222,761	856.3	1,416	793
		計	計	—	1,112,958	555,369	1,668,327	—	—	945,229	530,371	1,475,500	—	—	1,050,384	520,375	1,580,759	—	—	1,033,451	520,216	1,553,631	—	—	1,035
	合計	本船扱	扱	2,039	985,133	38,167	1,023,300	501.9	2,039	961,689	44,838	1,005,527	493.6	2,039	954,525	116,892	771,417	358.3	2,004	613,954	63,129	677,083	337.9	2,204	538
	(官私設)	船扱	扱	4,718	1,398,768	1,798,921	3,197,689	677.8	4,415	1,150,418	1,841,368	2,991,786	679.9	4,172	1,404,770	1,728,903	3,133,673	751.5	4,285	1,513,407	1,590,415	3,403,822	794.4	4,296	1,588
		計	計	—	2,383,901	1,837,088	4,220,989	—	—	2,112,107	1,886,206	3,998,313	—	—	2,039,295	1,845,795	3,905,090	—	—	2,127,361	1,953,544	4,080,905	—	—	2,127

備考 昭和六年十月ヨリ突堤ノ名稱ヲ第一ヲ第四ニ第二ヲ第三ニ第三ヲ第二ニ第四ヲ第一ト改稱ス漢川驛ハ昭和三年十二月迄神戸驛ト稱セリ

第三章 神戸市營港灣施設

神戸港に於ける内國貿易の重要性に鑑み其主要施設に關しては神戸市自ら之が經營に當り、市營事業として着々近代的設備の完成を計り港灣運用の合理化に努むると共に港灣統制上萬全を期しつゝあり。

本章に於ては之等施設を一括して其設備並利用狀況を概説し經營の一斑を示さん。

第一節 運河

本港に於ける運河は新川を除き全部市の經營する所にして兵庫運河、荻藻島運河、及新湊川運河、之に屬せり。左に順次其大要を述べん。

第一款 兵庫運河

第一項 設備

本運河は本線及支線より成り、本線は市内東尻池町九丁目海岸より同南逆瀬川町二丁目兵庫

新川に至る延長一、八四六米三六にして幅員三八米四乃至五一米水深平均二米なり。又支線は同市東尻池町五丁目地先より分岐し、同市梅ヶ香町兵庫驛附近に至る延長七二七米二七にして幅員一四米五乃至二九米水深は中央航路部に於て平均一米六七なり。此總水面積は一四、二九三・五二平方米に及ぶ、而して從來本運河支線根元は市内會下山方面より兵庫驛近傍に通ずる下水溝幹線と連結し降雨毎に土砂塵芥の搬流多く運河の效用の阻害さるゝ事夥しきため改修工事急施の輿論勃然として沸騰し茲に昭和四年工事費拾四萬千餘圓を投じて大改修を行ひ多年の懸案を解決して沿岸利用者に多大の便益を與ふるに至れり。今其改修狀況の概要を観るに先護岸工事として延長七二七米二七の兩岸に長三米五のランゼン式鐵矢板を交互に護岸根石より一尺を距る箇所に於て干潮面に打込み、其天端に山型鋼を取付け鐵矢板天端と在來の石垣との間に一定の勾配を設け混凝土を以て其間隙を充填し船底の防衝、矢板の根固に努めたり。同時に本護岸工事に依り兩岸の基礎強固となり従つて干潮面下一米六七の浚深も可能となりしたため從來に比し全く面目を一新し一般舟筏の航行上至大の効果を與へたり。又本工事の主眼とする下水溝よりの土砂塵芥等の處分に關しては下水排水口に近く株式會社増田製粉所の寄附に係る五九・四平方米地上にラルゼン式鐵矢板を折圍らし約二米の泥溜を設置したり。

尙運河支線改修附帶工事として橋梁架換工事を施行せり。即運河支線筋には梅ヶ香、堀止、尻池、の三橋ありて梅ヶ香橋は電車橋なるため橋基桁下空間充分なるも堀止、尻池、の兩橋は橋脚の深度淺く桁下空間低きため浚深に伴ひ架換の必要を生し附帶工事として左の如く改築を施したり。

堀止橋 橋梁上部は在來の儘とし橋脚を〇・六八米高の桁を四・四八米有效幅員を五・二米とせり。

尻池橋 堀止橋同様上部を在來の儘とし橋脚を〇・六八米高の桁下を四・九八米有效幅員を五・二米とせり。

本運河には之外に跳上橋（高松橋）一、手働式廻旋橋三、浮橋一、鐵道廻旋橋一、固定橋一あり。高松橋跳上橋は同橋上に市電軌道の敷設あるため電車運轉休止中は船舶通航の際必要に應じ隨時開閉することゝし各橋梁共晝夜番人を置き水陸交通上一般の利便を考慮せり。尙本運河の設備費及財源を観るに大正八年十二月元經營者たりし兵庫運河株式會社より金六拾萬圓を以て其權利一切を本市に買収し中參拾萬圓は現金にて支拂ひ、殘金參拾萬圓は六分利附運河事業公債にて交附せり。而して運河公債の償還に就ては神戸市運河公債條例に依り大正八、九、十年の三ヶ年間は之を据置き大正十一年より昭和十三年に至る十七ヶ年間に元資償還を行ふものなり。尙本公債は一般會計に屬するも元利償還財源は主として運河収入を以て之に當て

第一項 利用状況

惟ふに本運河沿岸一帯は當市に於ける商工業の重要地區を劃し其の開鑿以來之を利用するもの多く逐年發展の傾向を辿りしが近時に到り一般財界不振の影響を受けて沿岸利用者中にも或は事業を閉鎖し或は縮少を行ふもの相亞ぎ昔日の盛況なしと雖も、尙沿岸には製造工場として川崎車輛株式會社、鐘淵紡績株式會社、臺灣製糖株式會社、明治製糖株式會社、日本製粉株式會社、日清製粉株式會社、増田製粉株式會社、井上豆粕製造所、木全製肥所、前田魚油製造所、奧田魚油製造所、長田製竹所、中村製軸所等あり、又倉庫關係に於ては川西倉庫株式會社、鈴鹿倉庫株式會社、大日本鹽業株式會社、等會社及個人經營に係る製造所、貯造所、工場、倉庫は何れも此處に集中せり。尙特に本運河筋の一特色として擧ぐべきものは此沿岸一帯が市内に於ける唯一の木材置場を形成せることにして宮下木材株式會社、神戸木材興業株式會社、丸宮木材株式會社、島崎合名會社等を始め個人經營の大小製材工場櫛比し、關西に於ける木材の大集散地となしたり。又東口附近には神戸果實青物定市場ありて蔬菜果實類の大半を取扱ひたり。本運河沿岸には新川貨物驛ありて省線兵庫驛と連絡し海陸運輸の利便を計りたり。

運河出入貨物表 (昭和六年)

種別	東口				西口				合計				
	入貨		出貨		入貨		出貨		合		入貨	出貨	計
	港内	他港	港内	他港	港内	他港	港内	他港	港内	他港			
動物及植物	—	—	—	—	—	2,354	—	32	—	2,386	2,354	32	2,386
穀物及種子	62,591	8,641	3,007	923	22,830	2,678	—	—	88,428	12,242	96,740	3,930	100,670
飲食物	3,251	10,970	30,780	12,041	79,624	20,671	37,016	19,401	150,671	63,083	114,516	99,238	213,754
皮毛骨角及同製品	97	—	—	—	21,962	—	—	—	22,059	—	22,059	—	22,059
油脂及蠟類	1,264	152	1,112	294	7,960	5,563	782	670	11,118	6,679	14,939	2,858	17,797
藥品及染料塗料	25	—	69	—	511	1,006	—	—	605	1,006	1,542	69	1,611
糸纜繩索及同製品	17	221	121	360	—	—	—	—	138	581	238	481	719
製紙原料用藁繩	—	—	—	1,012	—	—	—	788	—	1,800	—	1,800	1,800
麻製品及布帛製品	4	—	974	—	—	—	69	—	1,047	—	4	1,043	1,047
礦物及同製品	2,670	611	270	195	16,162	22,516	68	2,166	19,170	25,488	41,959	2,699	44,658
鐵及同製品	1,319	132	536	171	10,790	4,098	560	897	13,205	5,298	16,339	2,164	18,503
陶磁器土管瓦煉瓦硝子及同製品	365	31	—	—	—	12,185	27	191	392	12,407	12,581	218	12,799
機械類及車輛並電用品	—	—	163	—	162	46	407	157	732	203	208	727	935
肥料及飼料	7,302	—	2,019	572	11,431	933	556	1,675	21,308	3,180	19,666	4,822	24,488
竹、木材及同製品	14,564	12,897	21,815	1,611	3,795	5,384	201	3,195	40,375	23,087	36,640	26,822	63,462
雜品	16	699	441	6,592	777	2,890	—	175	1,234	10,356	4,382	7,208	11,590
合計	93,485	34,354	61,307	23,771	176,004	80,324	39,686	29,347	370,482	167,796	384,167	154,111	538,278

運河開費 (半年別)

項目	合計		内訳	
	貸入	貸出	貸入	貸出
1	3,384	2,384	3,384	2,384
2	100,000	3,230	96,780	3,230
3	213,254	114,216	99,038	114,216
4	233,029	—	233,029	—
5	11,188	14,893	14,893	11,188
6	1,004	—	1,004	—
7	—	1,800	1,800	—
8	1,043	—	1,043	—
9	19,170	12,488	12,488	19,170
10	13,308	12,389	12,389	13,308
11	393	15,403	15,403	393
12	403	308	308	403
13	21,308	19,890	19,890	21,308
14	40,785	36,810	36,810	40,785
15	1,394	10,385	10,385	1,394
16	370,482	181,151	181,151	370,482

今之が利用実績を徴するに昭和六年中沿岸工場、及倉庫等の吞吐せし貨物にして本運河を利用せしものは、五十三萬八千二百七十八噸、にして之が詳細を示せば別表の如し。

第二款 荻藻島運河

第一項 市營前の狀況

荻藻島は神戸市の西南新湊川河口より兵庫運河西口前に至る海上に横はる荻藻島一ノ一、一ノ二、二ノ一、二ノ二番新開地にして此處に市營運河の開設を見る迄は兵庫運河の附屬地として兵庫運河株式會社の所有に屬し同會社は埋立工事を施行して一の錨地を造り後日運河開鑿の基礎を成したり。由來同島附近の海底は淺瀬にして干潮時水深僅に數尺を出でず沿岸運航の船舶も吃水三四尺の小型に限られたり。殊に此の方面に於ては從來適當なる船舶の避難所なく年々多數の遭難船を數ふる有様にて従つて此の淺瀬を埋築し島嶼を造成し之れに依り西南の風を防ぐと共に船溜を設けて航行船舶の避難所たらしめんとする議は多年海事關係者間に喧傳さるゝに到れり。

一、埋築工事施行狀況

荻藻島淺瀬埋築の輿論高潮するに及んで兵庫運河株式會社は計畫中なりし兵庫運河開鑿工事に依り生ずる不用土砂を以て此の淺瀬を埋築し以て運河出入船舶の安泰を計らんとする計畫を樹て明治二十九年五月公有水面埋立を出願し同年八月其許可を得て東尻池村と西尻池村との境界線上陸地を距る八十三間の地點より沖合に於て東方五十二間半、西方九十七間半幅員平均十九間四分の海面二千九百七十六坪餘の埋立を起工し同三十一年四月竣功を告げたり。而して此の埋築は海底下層幅四間上層幅二間半各厚さ三尺の二重沈床を干潮面に倣ひ沈下し、石垣は面一尺二寸控二尺五寸の切石にて満潮面上十尺迄一割法に築き立てたるものなり。斯くて運河口に新港灣を造り船舶航行の危険を緩和したるため碇泊船數漸次増加し日ならず狹隘を感じ同會社は茲に第二回の埋立工事を籌劃したり。之れ即ち該島の東方長五十二間幅平均三十二間及其南方幅九間長百三十間、其面積三千二百十八坪の海面埋立工事にして明治三十三年一月工事の竣功を見たり。

二、埋築工事施行後の狀況

以上二回に互る埋築工事の結果造成されたる同島は總面積六千九百九十四坪にして之に要したる總工事費は約拾貳萬貳千六百圓を算したり。而して本工事の竣成に依り運河口及其の附近海面は四時帆檣林立の盛況を呈し小型汽船及帆船の碇泊に資する所蓋し甚大なりき。然るに後年同會社が經營難に陥りしたため此の内三千六百九十四坪を分割賣却し殘部二千五百坪は大正八年十二月兵庫運河と共に本市に買収したり。

第二項 市營後の狀況

荻藻島埋築工事に依り船舶の航行に與かる利便頗る多大なるものありしが同島南岸は常に波浪の撃衝を受け數度の護岸修築も其の效空しく遂に數年前同島西方市有地は殆んど浸蝕崩壊せられ、其の陸地の大半を失ひ、一方崩壊土砂に漂砂を混へて寄洲を生じ、尻池村陸岸と接続して丁字形半島を形成するに至りしたため西部よりの舟筏航行は全然阻止せられ、從つて嶼陰は純然たる船溜となり無數の船舶雜然と碇泊し水路愈々狹隘を告げたり。然るに當時兵庫運河に入する船舶數は大正九年より昭和三年に至る平均數を見るも入津船四九、六六三隻に達し、之に同方面に集中する筏數を加算する時は實に夥しき數となり、之等は總て同島東端を迂回して危険なる隘路を縫航し辛じて入津する有様にして一度西南の突風を受くる時は沿岸遊弋船舶の遭難するもの年百餘隻を超へ沈没船も亦三十隻を下らず、其物資並貴重なる人命に對する損傷を想へば一日も看過を許さざる所なりき。由來同方面は背後に工業地帯を控へ其吞吐する貨物量は年額百萬噸を上下する盛況なるにも拘らず船舶繫留場及貨物積卸場として何等の施設を見

す唯天然の地形を利用するに止まりたり。従つて防波堤を築造して波浪及漂砂の浸入を防止し同島寄洲を東西に横断して新運河を開鑿し、埋築に依り造成されたる土地を倉庫用地、材料置場等に利用する事を得ば直接間接本市の享くる所の利益は多大なり。之れ苺藻島運河開設の主要理由にして茲に於て本市は總工費百四拾六萬九千六百六拾七圓を以て苺藻島運河開設並公有水面埋立の計畫を樹立し、大正十四年五月十二日免許申請昭和二年八月二十七日運河開設事業を又同年十一月十四日公有水面埋立工事を免許せられ實施設計認可を俟つて工事に着手せり。即當初計畫の工事は昭和三年二月埋築工事に着手、同五年十月竣工を告げたり。然るに本運河水域内にして荷役關係を圓滑ならしむるため新に追加工事として駒榮町一丁目地先を埋築し護岸、物揚場、道路敷、倉庫敷地等造築の必要を生し昭和五年一月十日工事設計一部變更を申請し昭和六年三月工事竣工を見たり。運河開設並埋立工事に關する本計畫の要領は市内濱添通地先海岸より南方へ約四十間を距て兵庫運河西入口より新湊川尻に至る區域及苺藻島西部隣接地域に於て防波護岸及物揚場築造の埋立を施行し兩區域間を運河水路として幅員三十五間を開鑿、之を兵庫運河西口に連絡せしめ、尙水路擁護のために本埋立の最西端より約六十間の水路を保ちて直線形假防波堤を築造し全部の水路を干潮面下十二尺に浚渫して入津に便せんとするものにして附帶工事として道路排水溝等の陸上設備を施すものなり。今本工事及追加埋築工事

概況を示せば左の如し。

(イ) 埋立

埋立地の高さは平均干潮面上十尺となし總面積二萬一千九百八十六坪に達す此内追加工事としての埋立區域は湊川發電所前護岸より南方へ東側は新湊川尻より、西側は既設防波堤に至る區域内、二千二百二十坪にして、三百三十七坪は物揚場、護岸、道路敷に充てたり。之れに依り生ずる貸地は陸側四、五四九坪島側九、〇七五坪にして、一號地、二號地、三號地に分てり。

(ロ) 防波用護岸

苺藻島南面防波の目的を以て南側延長百九十間西側延長二十七間、計二百二十七間の護岸を築造し西側の全部及南側一部は長四十五尺九寸、高十八尺上幅十二尺八寸下幅二十三尺の鐵筋混凝土函を据付け、天端干潮面上五尺となし、他は基礎捨石堤上に混凝土塊を置き天端干潮面上十六尺三寸とせり。

(ハ) 物揚場及護岸

島側に於て北側延長二百十六間及西側船溜水面積約三百坪の周圍延長六十間、陸側に於て運河西口より前面に至る百七十五間、追加工事に屬する四十間、總計四百九十一間に達し大部分混凝土方塊の三段疊積として天端に笠石を据付け干潮面上八尺とし繫船設備を施したり。又護

岸は島側延長約十六間及陸側延長約百七間、追加工事に依る四十三間、總計百六十六間、に及べり。

(ニ) 假防波堤

假防波堤は本運河西口に存し延長百五十五間、及三十一間、の二ヶ所にして函體及捨石堤により築成せり。

(ホ) 橋梁

運河竝埋立完成に伴ひ舟筏及人車の交通に便するため運河を横斷し回轉橋を架設せり。本橋梁の設計大要次の如し。

回轉橋の部 總徑間一四八尺九寸九分(四五米一五) 一連鋼板桁

固定橋の部 徑間 { 三三三尺六寸二分(一〇米一九) 二三三三三寸九分(七米〇九) } 二連工形鋼桁

有效幅員 一五尺

橋長 二六三尺(七九米九一)

橋床 { 回轉橋 木造 } 固定橋 鐵筋混凝土

橋面鋪裝 { 回轉橋 木塊 } 固定橋 アスファルトブロック

回轉動力 五馬力電動機一臺或は人力

總工費 九萬六千八百八拾貳圓六拾四錢

開閉時間 電動機にて一分二十秒、人力にて五分

荻藻島運河完成に伴ひ運河管理並使用料條例を制定して昭和七年一月一日より土地並舟筏入津の管理及料金徴收を開始せり。

第三款 新湊川運河

第一項 新湊川概況

湊川附替工事により明治三十二年の開鑿に係り、市内西部の主要地帯を貫流するも工事施行以來久しき間自然の儘に放任せられて恰も塵芥瓦礫の捨場の如き觀ありき。然るに當新湊川を中心とする一帯は工業地帯として近時の發展特に目覺しく従つて市民の衛生保健上本川改修の

緊切なる一日も忽諸に附すべきに非ず輿論亦高潮し、此處に於て本市は省線鐵道橋より上流部の改修を計畫し昭和二年工事に着手、同三年竣工を見たり。

即川幅を八間に短縮し、鐵筋混凝土擁壁を以て兩護岸を築設し其他を埋築して道路擴築、小公園設置等を行ひ舊態一新近代的河川の情趣を備へたり。

第二項 埋立及運河開設工事

新湊川の形態漸次整ふに及び下流を浚渫して運河とし兩岸に荷揚場を造成し道路の擴張新設をなし西部神戸の發展に資せんため昭和四年末より二ヶ年繼續の失業救濟事業として工費六拾壹萬餘圓を以て埋立、及運河開鑿工事を施行昭和六年三月完成を告げたり。今其工事の概要を示さん。

(イ) 埋立

本工事は昭和二年起工同三年竣工せる新湊川上流埋立工事の繼續事業にして省線鐵道橋より下流川尻に至る延長六一七間の川筋兩岸を埋立て大橋下流約八三間以南を浚渫して運河とするものにして此埋立地總面積三、五〇三坪に達し、内貸地三、〇九四坪にして東岸一、三〇一坪西

岸一、七九三坪、之れを一號地、二號地に區分せり。

(ロ) 物揚場及護岸

本工事による運河延長は三五〇間にして大橋下流堰堤より初まり荻藻島運河西口に連結せり其兩岸は堤防切下工事に依り上流部に於て左岸幅員八間以上、右岸三間以上の道路敷を取り、鐵筋混凝土及鐵矢板護岸との間に埋立工事を施して物揚場又は荷役場に充當し其總延長六九九、三間に及ぶ。本運河幅員は一五間乃至一七間にして、水深六尺乃至一二尺、此水面積五、五九八坪なり。

而して兩岸の排水及流速調節のため鐵筋混凝土護岸の下流に延長一一、五間の混凝土堰堤を築造し、之れより下流五五間の箇所迄は平均干潮面下六尺に堀下げ約五十五分の一の勾配にて下り川尻の部分に於て一二尺の水深を保たしめたり。尙堰堤の上流直前にて沈泥地（上流幅一五米下流幅二三米長六五米深さ一米、容積一、二三五立米）を設け上流より流出の砂泥を止め下流運河の埋没を防ぐ事とせり。

又荻藻島運河追加埋築工事に依る川尻南方埋立地先端に鐵筋混凝土函塊假防堤一一、五間を築造せり。

(ハ) 橋梁

本工事区域内にある駒榮橋、庄田橋、北所橋、は幅員狹隘のため有効幅員四間に架換工事を施したり。

第四款 運河經營概要

前款に於て各運河狀況の概要を述べしが、此等水路連絡の完備に依り隣接、商工業地帯の享くる便益又甚大なりと云ふ可く、市も亦常に運河内の秩序維持に努むると共に施設の改善に留意せり。従つて運河の會社經營時代に比して面目一新の觀あり今市營運河を一括して其經營狀況を示さん。

一、事業の收支

兵庫運河は大正八年兵庫運河株式會社より買收以來市營として今日に及び買收費半額は運河事業公債を以てし元利償還財源を主として運河收入に求めたり。又荊藻島並新湊川兩運河の利金は昭和七年一月一日の開始にして此等運河を包含する昭和六年度の收支決算に依れば、収入九萬壹千六百五拾五圓四拾九錢、支出拾四萬九千四百八拾壹圓六拾五錢にして差引五萬七千八百貳拾六圓拾六錢の不足を示したり。今買收後に於ける年次内譯表を掲ぐれば別表の如し。

(昭和七年一月一日より運河入津料率改正)

年度別 種別	年度別		同十年度
	大八年度	同九年度	
收 入	護岸使用料	—	12,04
	船舶入津料	—	48,75
	船舶延滞料	—	2,69
	筏入津料	—	17,00
	筏延滞料	—	17,55
	雜收入	14,364.000	315.000
	土地使用料	—	—
計	14,364.000	67,954.950	98,04
支 出	運河事業公債元資償還金	—	—
	同利子	—	34,56
	事務費	—	30,17
	計	—	64,73
差引計	14,364.000	7,288.725	33,30

備考 大正八年度ハ四ヶ月間、荊藻島運河及新

間船三百石、七間船五百石、八間船八百石、九間船千石、十間船千二百石、十一間船千四百石

運河收支計算年次表

年度別 種別	大八	同九	同十	同十一	同十二	同十三	同十四	昭元	同二	同三	同四	同五	同六	
	年 正度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 和度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	
收 入	護岸使用料	—	3,669.000	12,045.000	7,704.000	7,830.000	8,350.000	6,012.000	5,496.000	4,665.000	4,656.000	4,764.000	4,770.000	2,406.180
	船舶入津料	—	38,191.550	48,751.190	41,392.510	41,277.990	44,183.970	51,304.380	47,502.740	42,908.590	44,808.770	38,074.070	38,690.400	38,810.080
	船舶延滞料	—	1,872.000	2,698.600	1,934.200	1,855.600	2,431.200	1,284.570	1,797.990	2,223.080	2,392.020	2,234.610	1,534.820	1,217.930
	筏入津料	—	7,129.500	17,001.500	13,464.800	12,495.100	12,327.100	10,145.100	8,757.200	10,563.600	9,581.400	15,101.500	8,064.400	6,944.560
	筏延滞料	—	16,777.900	17,552.200	16,814.300	19,223.700	16,773.900	16,381.300	16,598.700	11,682.860	11,556.000	11,104.940	9,118.220	8,390.240
	雑収入	14,364.000	315.000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	土地使用料	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	14,364.000	67,954.950	98,048.490	81,309.810	82,682.390	84,066.170	85,127.350	80,152.630	72,043.130	72,994.190	71,279.120	62,177.840	91,655.490	
支 出	運河事業公債元資償還金	—	—	—	21,100.000	22,400.000	23,700.000	25,100.000	26,700.000	28,300.000	30,000.000	30,469.260	33,046.800	17,728.500
	同利子	—	30,224.740	34,567.200	32,389.800	27,736.730	28,986.200	30,951.000	29,842.700	28,596.000	25,617.000	23,490.000	93,164.030	91,835.010
	事務費	—	30,441.485	30,172.120	29,249.220	41,572.650	29,163.840	29,989.730	26,987.260	22,622.540	28,461.660	31,740.000	40,748.790	39,918.140
	計	—	60,666.225	64,739.320	82,739.020	91,709.380	81,850.040	86,040.730	83,529.960	79,518.540	84,078.660	85,699.260	166,959.620	149,481.650
差引計	14,364.000	7,288.725	33,309.170	△ 1,429.210	△ 9,026.990	2,216.130	△ 913.380	△ 3,377.330	△ 7,475.410	△ 11,084.470	△ 14,420.140	△ 104,781.780	△ 57,826.160	

備考 大正八年度ハ四ヶ月間、荊藻島運河及新湊川運河ハ昭和七年一月ヨリ利用開始ス △印ハ收支不足額ヲ示ス

(昭和七年一月一日より運河入津料率改正)

(昭七年度に於ける運河入津料の状況は左の如し)

本工事区域内にある駒榮橋、庄田橋、北所橋、は幅員狹隘のため有效幅員四間に架換工事を

運河收支計表

年度	二年度	三年度	四年度	五年度	六年度
収入	4,528,000	4,528,000	4,528,000	4,528,000	4,528,000
支出	4,528,000	4,528,000	4,528,000	4,528,000	4,528,000
増減	0	0	0	0	0

二、舟筏入津の状況

市營後に於ける運河舟筏入津の状況は左の如し。

(イ) 船

運河入津船舶隻數表

年度別	種別	日本型間船	日本型石船	西洋型噸船	計
大正九年度		四一、五二八	一五、九九三	一〇、五七八	六八、〇九九
同 十年度		四四、二七〇	一二、九八四	六、二〇五	六三、四五九
同 十一年度		三七、二六三	九、〇四四	五、六九〇	五一、九九七
同 十二年度		三五、八八五	七、二三四	六、〇六二	四九、一八一
同 十三年度		三七、七七六	六、五一四	七、一九三	五一、四八三
同 十四年度		三七、八二七	五、四九四	八、五二八	五一、八四九
昭和元年度		三〇、一四一	四、〇五五	八、五四七	四二、七四三
同 二年度		二七、三六八	四、〇〇四	八、三二八	三九、七〇〇
同 三年度		二六、七二二	三、一八四	八、四九八	三八、四〇四
同 四年度		二八、六三〇	二、六〇八	八、六九七	三九、九三五
同 五年度		二五、六四四	一、七八八	八、二二三	三五、六五五
同 六年度		二四、五七三	七六〇	一〇、九一九	三六、二五二

右表に於ける日本型船を二間船二十石、三間船三十石、四間船百五十石、五間船二百石、六間船三百石、七間船五百石、八間船八百石、九間船千石、十間船千二百石、十一間船千四百石

十二間船千六百石、十三間船千八百石、十四間船二千石、十五間船二千二百石とし、十石一噸の換算率によりて其の積量を示せば左の如し。

運河入津船舶噸數表

年 度	噸 數	年 度	噸 數
大正九年度	五六九、三九三	昭和元年度	五二四、五二一
大正十年度	六二〇、一八八	昭和二年度	四七九、九三九
大正十一年度	五一六、九一四	昭和三年度	四七一、五二五
大正十二年度	五一四、五二二	昭和四年度	四八六、五八二
大正十三年度	五〇八、三九三	昭和五年度	四二一、七八三
大正十四年度	四九九、三七〇	昭和六年度	四七八、二七六

而して入津船舶の種類は日本型間船石船及西洋型噸船の三種類にして間船は一間以上十四間未滿、石船は五十石以上二百石未滿、噸船は五噸以上二百噸未滿迄を主とし、其の仕出港、仕向港は近畿、中國、四國、及九州沿岸に互れりと雖も、大半は港内碇泊船舶の積卸貨物運搬に従事し、大阪及播州沿岸諸港のもの之に亞ぐ有様なり。

(ロ) 筏

運河沿岸は關西に於ける屈指の木材集散地にして、内地材の主要仕出地は北海道、紀州、阿

波、讃岐、樺太等なり。又外材の仕出地は米國、加奈陀、露領沿海州及南洋方面を主とせり。筏の組立は木材の種類に依りて、異なりたれども、本市は使用料條例に依る制限を附し最大を長四十八尺幅十二尺とせり。大正九年以後の入津及延滞筏の連數は左の如し。

入津及延滞筏連數表

年度別	長四十八尺迄、幅十二尺迄		長三十尺迄、幅十二尺迄		計
	入津筏	延滞筏	入津筏	延滞筏	
大正九年度	一、九〇一	五、九三〇	二、九八五	二、四五四	一三、二七〇
大正十年度	四、六〇七	五、五〇六	四、五七〇	三、一五六	一七、八三九
大正十一年度	三、五一二	五、七三五	三、九〇四	二、〇六四	一五、二一五
大正十二年度	三、一五一	七、二六九	三、八四八	八七六	一五、一四四
大正十三年度	三、〇〇七	六、一一一	四、〇〇八	一、二四七	一四、三三七
大正十四年度	二、二七一	五、八三三	三、七二三	一、四九九	一三、三二六
昭和元年度	一、七〇〇	五、七六三	三、七五六	一、八二六	一三、〇四五
昭和二年度	一、四四八	四、四四二	四、九八四	一、二八〇	一二、一五四
昭和三年度	二、一三四	一、一九六	三、六〇八	二、一一四	九、〇五二
昭和四年度	二、二二九	一、一九八	三、九五八	一、四八七	八、八七二
昭和五年度	三、一四七	二、一八五	四、八四七	一、一九九	一一、三七八
昭和六年度	一、八〇七	九七一	二、三三六	二、三〇〇	七、四一四

第二節 國産波止場

第一款 施設大要

國産波止場は市の中央部海岸通四丁目より六丁目に至る沿岸一帯を占め商業中心地帯に隣接して海陸運輸の要衝に當り、内國貿易の一關門として常に殷盛を極めたり。

當波止場は元兵庫縣管理の下に海陸運輸株式會社の經營する所なりしが大正十四年九月、金貳拾五萬壹千圓を以て市に讓渡を受け、爾來本市に於て管理經營に當れり。目下工事中なる第二期築港工事完成の曉には延長三百五十八間幅員五十間の突堤を中心として繫船岸壁、及物揚場も擴張せられ殆んど舊態を改むる豫定なるも現在に於ける設備の大要を示せば左の如し。

- 一、面 積 二、五二六坪六二
- 一、荷役岸延長 二五四間
- 一、水 深 棧橋附近一八尺、荷役岸一〇尺
- 一、上 屋 五棟 總坪數六〇一坪五
- 内 譯
- 一號上屋 七二坪
- 二號上屋 一四四坪
- 三號上屋 一二七坪五
- 四號上屋 一二六坪
- 五號上屋 一三二坪

一、棧 橋

- 内航大棧橋 長六九間 幅五間（浮棧橋五）
- 内航小棧橋 長一三間 幅二間（浮棧橋二）

第二款 利用狀況

一、貨物出入狀況

國産波止場出入貨物の昭和六年度に於ける狀況を観るに出貨十五萬七千九百一噸、入貨三十二萬一千九百二十六噸、合計四十七萬九千八百二十七噸にして之を昭和五年度に對比すれば出貨に於て一萬二千八百三十二噸（八分八厘）を増加したるも入貨に於て二萬六百二十八噸（六分）の減少を來したるを以て總額に於て七千七百九十六噸即（一分六厘弱）の減退を示したり。又波止場出入貨物は棧橋及荷役岸を経由するものなれば之れを場所別に依り觀察するに前者は出入合計六萬四千五百九十二噸、後者は四十一萬五千二百三十五噸にして前年度に比し前者は八千四十一噸の減少にして後者に於て僅に二百四十五噸を増加を見たり。斯く逐年幾分減退の傾向を示せるは元より一般財界不況の深刻化に基因するものにして、今出入貨物中特に増減の著しきものを左に掲げん。

(イ) 増加の主なるもの (二千噸以上)

品名	増加數量	備	考
衣類及同製品	三、六〇一	荷役岸經由貨物	
製紙原料及同製品	二、二三〇	同	
礦石礦物及同製品	七、六七七	同	
木竹材及同製品	一〇、四五五	同	

(ロ) 減退の主なるもの (二千噸以上)

品名	減退數量	備	考
動物及植物	一、四七〇	荷役岸經由貨物	
飲食物	三、五三四	棧橋經由貨物	
同	一三、六五七	荷役岸經由貨物	
同	二、五八九	棧橋經由貨物	
同	一〇、三四〇	荷役岸經由貨物	

更に出入貨物中主要なるものを挙げれば、飲食物の十一萬五千六十九噸を首位とし總額の二割四分に該當し、礦石礦物及同製品の四萬七百六十九噸之に亞ぎ、木竹材及同製品の二萬九千三百三十七噸、布帛及同製品の一萬九千三百五十三噸、製紙原料及同製品の六千九百八十八噸、絲纒繩索及同製品の六千九百三十噸、藥品及塗料の六千七百七十七噸、金屬及同製品の六千五百

十八噸の順位なり。

今昭和六年度出入貨物を前年度と對照表示すれば次の如し。

昭和六年度國產波止場出入貨物前年對照表

(自昭和六年三月 至昭和七年三月)

類別	昭和六年度		昭和五年度		増減
	出	入	出	入	
動物及植物	一、七三三	三、七三三	一、六三三	四、六九一	△△
穀物及種子	一、四三九	一、四三九	七三三	四、七四	△
飲食物	四、〇五四	二、六〇八	一、九、九六	一、二、五三	△△
煙草	二、七六九	七、七八八	三、五、三〇七	七、七、八六九	△△
皮毛骨角類及同製品	三、四				△
油脂及蠟	一、五三三				△
藥品及塗料	一、二四四	二、八八四	一、三、六六	一、五、三九	△△
絲纒繩索及同製品	二、六七	四、六五七	一、三、三四	四、〇、七三	△△
布帛及同製品	一、二四九	二、八八九	一、九、九二	二、六、九六	△△
衣類及同製品	一、五九八	三、九〇	一、八、三〇一	一、六、四七〇	△△
	一、五六一	二、五三四	一、一、五二	四、一、四	△△
	一、五六一	二、五三四	一、一、五二	四、一、四	△△

種別	年度別				昭和对昭和五年度ノ比較増△減	昭和对昭和四年度ノ比較増△減	備考
	昭和六年度	昭和五年度	昭和四年度	昭和三年度			
製紙原料及同製品	二,一七四	一,一六九	四,八〇八	一,五二三	△	二,四四一	△
礦石礦物及同製品	七,九三三	三,七九五	六,〇三一	二,七〇五	△	三,四一五	△
金屬及同製品	二,〇〇九	三,三五五	一,一三三	一,一三一	△	一,八四一	△
陶器硝子及同製品	二,六七七	三,三五五	二,五九七	四,三九二	△	三,〇八四	△
車輛、時計機械類	九九九	五三三	一,三六一	一,一三一	△	六,九八九	△
肥料及飼料	一,七七一	四三三	一,五二五	一,四二一	△	一,六七八	△
木竹材及同製品	二,二七二	二六〇	二,二〇二	一,六二五	△	一,八四八	△
雜品	二〇,四〇四	一九,八六五	一九,六〇六	二二,八五三	△	七九八	△
計	七五,一五八	二八,五四八	五八,四三七	一四五,六〇九	△	一六,七二二	△
總計	二八,二七二	三六,四三〇	二九,九二三	四二,七〇〇	△	一,七五二	△
	二九,七九九	二八,五〇六	一五,一四六	二九,八四四	△	一四,五八三	△
	一五七,九〇一	三二,九六六	一四五,〇六九	三四,五五四	△	二,八三三	△

備考 各欄右側ハ棧橋經由貨物左側ハ荷役岸經由貨物ヲ示ス

二、上屋竝土地使用狀況

本年度中に於ける上屋竝土地使用の狀況は財界沈滞の餘波を受け、出入貨物の減退に隨伴して何れも減少を示せり。

種別	年度別				昭和对昭和五年度ノ比較増△減	昭和对昭和四年度ノ比較増△減	備考
	昭和六年度	昭和五年度	昭和四年度	昭和三年度			
上屋使用	四八,一九六	五,〇三〇	四五,四六八	四,八三四	△	二,七二八	
三日以上	八,三六七	八,八七五	二,七五八	五〇八	△	四,三九一	
計	五六,五六三	一三,九〇五	五八,二二六	五,三三四	△	一,六六三	
土地	五三四	五六四	五六三	四〇	△	三八	各年度末

三、棧橋通行旅客竝手荷物狀況

棧橋通行旅客數及手荷物個數は本年度も亦減退の傾向を辿り、左表の如く前年度に比し兩者共一割三分強の減少を示せり。

種別	年度別				昭和对昭和五年度ノ比較増△減	昭和对昭和四年度ノ比較増△減	對三年度
	昭和六年度	昭和五年度	昭和四年度	昭和三年度			
大 人	四〇〇,一九〇	四六二,四八七	四七,九六八	四八六,二五五	△	六〇,二九七	△
小 人	二,七二二	一六,九〇〇	一四,六四七	一一,四五五	△	四,一八八	△
計	四〇二,九一二	四七九,三八七	六二,六一五	四九七,六一〇	△	六四,四八五	△
旅客	一八,二〇〇	二四,六一〇	一三一,六四〇	一三八,一八四	△	一六,四〇〇	△
手荷物	二九,〇一〇	二四,六一〇	一三一,六四〇	一三八,一八四	△	一六,四〇〇	△

四、棧橋利用船舶狀況

本年度中當棧橋を利用したる船舶數は九千七百八十六隻、總噸數八百一萬六千七百八噸にして逐年増加の趨勢を辿り、之を前年に比すれば五十七隻、九萬七千二百十噸の増加を示せり。

本年中航路に於ける變化は無きも、鹿兒島線及大分線に於て就航船の移動あり、又沖繩線の川畑汽船株式會社は高田物産船舶部に變更、平穰丸に代り瑞鳳丸新しく就航せり。
今棧橋利用船舶年次對照表及各航路別就航表を左に掲ぐ。

區別	年度別					昭和六年度トノ比較増		昭和五年度對昭和四年度對昭和三年度	
	昭和六年度	昭和五年度	昭和四年度	昭和三年度	對昭和五年度對昭和四年度對昭和三年度	△減	對昭和五年度對昭和四年度對昭和三年度	△減	
入港船舶	九、七六六隻	九、七九七隻	九、四四一隻	八、一七六隻	三五五隻	一、六〇八隻	三五五隻	一、六〇八隻	
入港總噸數	八、〇二六、七〇八噸	七、九二九、四九八噸	七、七三三、三三三噸	六、〇〇〇、〇〇九噸	九七、二〇〇噸	三九三、三六六噸	九七、二〇〇噸	一、九五六、六七九噸	
入港登簿噸數	四、二八七、五三二噸	四、二〇〇、八七一噸	四、一七五、五〇三噸	三、二五九、二二三噸	一六、六四二噸	一一三、〇〇九噸	一六、六四二噸	一、〇八八、二九九噸	
一日平均隻數	二七隻	二七隻	二六隻	三隻	一隻	一隻	一隻	五隻	

備考 出港船は入港船に同じく、又本船沖掛りを含む。

第三款 收入狀況

昭和六年度國產波止場收入狀況は總額七萬壹千九百貳拾九圓にして、之を前年に對比すれば壹萬七千七百七拾貳圓、前々年に比し貳萬貳千七百參拾九圓の減少なり。各種目に互つて減少を示せるは財界不況の影響と共に使用料を年度始に於て改正し上屋外土地使用料は從來一坪參圓のものを貳圓、又上屋使用料は二日迄一坪拾錢を八錢荷役場使用料は一噸迄毎に五錢を四錢

棧橋貨物經由料も亦一個貳錢を壹錢五厘に低減したるを以てなり。

今左に既往四ヶ年の收入額對照表を掲ぐ。

國產波止場收入既往四ヶ年對照表

種別	年度別					昭和六年度トノ比較増		對昭和五年度對昭和四年度對昭和三年度	
	昭和六年度	昭和五年度	昭和四年度	昭和三年度	對昭和五年度對昭和四年度對昭和三年度	△減	對昭和五年度對昭和四年度對昭和三年度	△減	
旅客棧橋通行料	二〇、〇四六	三三、七四六	三三、一九八	三三、〇〇五	△	二、六九八	△	三、一五〇	
貨物棧橋經由料	一〇、四六六	一三、八三三	一四、四一九	一五、六三四	△	三、四二七	△	三、九五三	
旅客手荷物棧橋通行料	一、〇八三	一、二四六	一、三二六	一、三八二	△	一六四	△	二三四	
荷役場使用料	一六、五八七	二二、一五四	三三、〇二七	三三、〇八七	△	四、五六七	△	六、五〇〇	
上屋使用料	八、八七七	一〇、六六八	一一、二〇二	一二、四二二	△	一、七五二	△	三、三三五	
土地使用料	一四、三九九	一九、一一三	一九、五五八	一八、六五六	△	四、七三三	△	五、一六九	
貸家料	四八〇	九三三	九四八	一、〇三四	△	四五二	△	四六八	
計	七、九二九	八九、七七一	九四、六六八	九五、四一九	△	一七、七七三	△	二三、七三九	

安東丸 七三九 四三三 才附 神戶 寄

國產波止場內航棧橋出入船舶航路別就

航路別	就航船名	總噸數	登簿噸數	始終及寄港地名	就航日	船會社名	摘要
大阪別府線 【晝便線】	紫屋丸 紅屋丸 島丸	一、五九七 一、五四〇 九四六	八四〇 六〇七 三七四	大阪、神戸、高松、高濱、別府	每日一回	大阪商船株式會社	屋島代丸 臨時島船
大阪別府線 【晚便線】	綠董丸 屋島丸	一、七二四 一、七二四 九四六	八一六 八一六 三七四	大阪、神戸、今治、高濱、長濱、別府	每日一回	大阪商船株式會社	屋島代丸 臨時島船
大阪鹿兒島線	阿蘇丸 木曾丸 富士丸	七〇三 七〇三 七〇三	三六八 三六八 三六八	大阪、神戸、高濱、白杵、土々呂、內海、油津、福島、又波、見鹿兒島	奇數日	大阪商船株式會社	貨物專用船客 船八時々就航
大阪山陽線	音戸丸 早瀬丸 三原丸 大井丸 愛媛丸 天正丸 浪切丸 神惠丸 船運丸 日海丸 大衆丸	六八八 六八八 六九七 六九七 六三〇 六〇一 五八九 四〇八 三六七 三〇〇 五一六	三六二 三六二 三七九 三七九 三三〇 三六七 二五一 二一六 一七七 二三一	大阪、神戸、坂手、高松、多度津、尾道、糸崎、忠海、竹原、長濱、阿賀、音戸、鍋、吳、宇品、宮島、岩國、久賀、宮島、岩國、久賀、柳井、三田、小倉、津、室積、新川、關門	每日一回	大阪商船株式會社	尼崎汽船株式會社
大阪岡山線	弘仁丸 白濱丸	二五〇 二二六	一一八 一四一	大阪、神戸、高砂、福田、日生、牛窓、土庄、高松、多度津、田ノ口	每日一回	尼崎汽船株式會社	
大阪若松線	滋賀丸 昭勢丸 天龍丸 利根丸 厦門丸	七四二 七七四 五七〇 五七三 七二九	四三七 四四一 三四四 三三六 四二六	大阪、神戸、坂出、觀音寺、川之江、三島、新居濱、西條、壬生川、今治、高濱、郡中、宇島、關門、若松	每日一回	大阪商船株式會社	昭勢丸八備船
大阪大分線	桐丸 菊丸 松丸 梅丸	四一五 四一五 四一五 四一五	二三一 二三一 二三一 二三一	大阪、神戸、高松、多度津、今治、高濱、長濱、大分、別府	每日一回	大阪商船株式會社	貨物專用船客 船八時々就航
大阪細島線 【伊豫經由】	義州丸 安東丸 十二字和島丸 十五字和島丸 十八字和島丸	七三九 七三九 五三四 八二六 八八五	四四三 四三三 三二五 四九四 五三五	大阪、神戸、高松、多度津、今治、高濱、長濱、川之石、八幡濱、吉田、宇和島、佐伯、蒲江、土々呂、細島	每日一回	字和島汽船株式會社	大阪商船 會社 大阪商船 振船
大阪東豫海岸線	御代島丸 新居濱丸	二九〇 四四一	一四九 二六四	大阪、神戸、高松、觀音寺、豐濱、川濱、江、三島、新居濱、四坂島、今治	每日一回	住友汽船株式會社	二、七ノ日休航
大阪多度津線	大信丸 大智丸 鳴門丸	一、三二二 一、二九五 一、二九七	七五四 七二八 七四〇	大阪、神戸、高松、坂出、多度津	每日一回	大阪商船株式會社	鳴門代丸 臨時島船

國產波止場內航棧橋出入船舶航路別就航表

大阪宮島線	大阪沖繩線	大阪高知線	大阪多度津線	大阪東豫海岸線	大阪細島線 【伊豫經由】	大阪大分線	大阪若松線	大阪岡山線	大阪山陽線
比屋羅夫丸 九四六 一、五三二	瑞鳳丸 九九九 一、二六三	喜久丸 二〇八	鳴門丸 一、二九七	新居濱丸 四四一	義州丸 七三九 安東丸 七三九 十二字和島丸 五三四 十五字和島丸 八二六 十八字和島丸 八八五	梅松丸 四一五 菊丸 四一五 桐丸 四一五	厦門丸 七二九	白濱丸 二二六	大衆丸 五一六
三七四 七三一	五二五 七七五	一八五 一五七 一四九 一四一 一三九 一三三 一三一 一三〇 一二九 一二八	七五八 七四〇	一四九 二六四	四四三 四三三 四二五 三二五 四九四 五三五	二二一 二二一 二二一 二二一	四三二 四四一 四四一 三三六 四二六	一一八 一四一	三三〇 三三七 三六一 二五二 二二六 一七七 二二一
大阪、神戶、岩國	大阪、神戶、油津、鹿兒島、名瀨、古仁屋、德之島、沖永良部	大阪、神戶、高知、須崎、和田、安藝、和歌山、手結、高知	大阪、神戶、高知、坂出、多度津	大阪、神戶、高知、觀音寺、豐濱、川之江、三島、新居濱、四坂島、今治	大阪、神戶、高知、多度津、今治、高濱、長濱、吉田、宇八幡濱、吉田、宇土々呂、細島	大阪、神戶、高知、多度津、今治、別府	大阪、神戶、坂出、觀音寺、川之江、三島、新居濱、高濱、長濱、宇八幡濱、宇津、若松	大阪、神戶、高砂、福田、日生、牛窓、土庄、高松、多度津、田ノ口	大阪、神戶、坂手、高松、多度津、阿賀、尾道、長濱、津原、音鍋、吳、品川、宮島、久賀、柳井、津室、津室、新川、關門
每土曜日	每月二回	每日一回	每日一回	每日一回	每日一回	每日一回	每日一回	每日一回	每日一回
大阪商船株式會社	高田物產船舶部 鹿兒島郵船株式會社 大阪商船備船	土佐商船株式會社	大阪商船株式會社	住友汽船株式會社	宇和島汽船株式會社	大阪商船株式會社	大阪商船株式會社	尼崎汽船株式會社	尼崎汽船株式會社
遊覽船 比羅夫丸 時代船 臨	本船ハ沖掛リ 旅客ハ凡テ棧 橋ヨリ昇降	送迎會社扱	直航 天祐丸 大阪商船會社 扱	鳴門丸 臨時船ハ	二、七ノ日休航	大阪商船 扱	昭勢丸ハ備船		

第三節 兵庫埋立地

第一款 沿革

神戸港第二期修築工事に屬する兵庫突堤は内務省の手に依りて工事着々進捗し、市も亦此埋立地上に陸上設備を施し以て内國貿易施設の完璧を期しつゝあり。而して本突堤の竣工部分の利用は一日も忽諸に附すべきに非ざるを以て内務省と交渉したる結果大正十五年九月八日埋立地六百五十三坪三八五の使用承認を得たり、仍て兵庫埋立地管理並使用規定を制定し同年九月三十日布告十月一日より施行せり。爾來工事進捗に伴ひ逐次承認坪數も増加し、昭和七年三月末現在に於ては合計四萬六千二百二十三坪三三の完成に達す。

其中陸上設備工事に支障なき部分に限り一般に開放し利用せしめつゝあり。

第二款 利用状況

突堤埋立地の竣成は兵庫方面に唯一の貨物集散場を提供することとなり従つて其利用も開始以來豫期以上の好成績を収めて昭和六年度末に於ける土地の使用許可面積は一千七百七十八坪

七にして主として石炭置場、倉庫敷地等に使用せらるる其中神戸石炭商同業組合に於て其大部分たる一千七百十六坪を使用す。

更に物揚場の利用状況を観るに昭和六年中出入貨物合計九萬四千六百〇二噸、一日平均二百五十九噸にして不況たるに拘らず前年に比して一萬六千百十九噸の増加を示したり。

種別	昭和六年		昭和五年		前年=比シ増△減
	入貨(揚)	出貨(積)	入貨	出貨	
合計	八〇,二〇一噸	一四,四〇一噸	六〇,八三九噸	一七,六四四噸	△
一日平均	九四,六〇二	二五九	七八,四八三	二一五	△
入貨	一九,三六二噸	三,二四三噸	一九,三六二噸	三,二四三噸	△
出貨	一六,一一九噸	四四	一六,一一九噸	四四	△

又出入貨物を品種別に觀察すれば石炭四萬一千餘噸首位を占め、出入總額の四割三分に相當す。其の他主要なるものは玉葱の六千六百餘噸、礦油の五千二百噸、馬鈴薯の四千五百噸、銑鐵の四千四百噸、鮮魚介の四千三百噸等たり。之を表示すれば左の如し。

昭和六年兵庫埋立地出入貨物前年對照表

(自昭和六年一月至同年十二月)

品名	昭和六年		昭和五年		増減
	出	入	出	入	
米	八四三	八四三	五〇〇	五〇〇	△
麥	七〇	七〇	五〇〇	五〇〇	△
穀	五三	五三	七九九	七九九	△
魚介	四,三二一	四,三二一	三,四二〇	三,四二〇	△
葱	三,五九九	三,五九九	七,二〇六	七,二〇六	△
薯	三,八〇四	三,八〇四	二,四五六	二,四五六	△
油	二,二二三	二,二二三	二,四五六	二,四五六	△
礦品	一,四五四	一,四五四	二,四五六	二,四五六	△
炭	四〇,九九九	四〇,九九九	三,八二七	三,八二七	△
砂	六,四七二	六,四七二	二,八八二	二,八八二	△
材	四,〇六一	四,〇六一	三,九三五	三,九三五	△
灰	六九	六九	二,二六	二,二六	△
ス	二,〇八三	二,〇八三	二,〇四七	二,〇四七	△
ト	七七八	七七八	二,〇四七	二,〇四七	△
銑鐵	四,四九〇	四,四九〇	二,〇四七	二,〇四七	△
古	一八	一八	二,〇四七	二,〇四七	△
鉛	五五五	五五五	二,〇四七	二,〇四七	△
空	八九四	八九四	二,〇四七	二,〇四七	△
鐵	三三七	三三七	二,〇四七	二,〇四七	△
瓦	五六二	五六二	二,〇四七	二,〇四七	△
硝	三二	三二	二,〇四七	二,〇四七	△

品名	昭和六年		昭和五年		増減
	出	入	出	入	
米	八四三	八四三	五〇〇	五〇〇	△
麥	七〇	七〇	五〇〇	五〇〇	△
穀	五三	五三	七九九	七九九	△
魚介	四,三二一	四,三二一	三,四二〇	三,四二〇	△
葱	三,五九九	三,五九九	七,二〇六	七,二〇六	△
薯	三,八〇四	三,八〇四	二,四五六	二,四五六	△
油	二,二二三	二,二二三	二,四五六	二,四五六	△
礦品	一,四五四	一,四五四	二,四五六	二,四五六	△
炭	四〇,九九九	四〇,九九九	三,八二七	三,八二七	△
砂	六,四七二	六,四七二	二,八八二	二,八八二	△
材	四,〇六一	四,〇六一	三,九三五	三,九三五	△
灰	六九	六九	二,二六	二,二六	△
ス	二,〇八三	二,〇八三	二,〇四七	二,〇四七	△
ト	七七八	七七八	二,〇四七	二,〇四七	△
銑鐵	四,四九〇	四,四九〇	二,〇四七	二,〇四七	△
古	一八	一八	二,〇四七	二,〇四七	△
鉛	五五五	五五五	二,〇四七	二,〇四七	△
空	八九四	八九四	二,〇四七	二,〇四七	△
鐵	三三七	三三七	二,〇四七	二,〇四七	△
瓦	五六二	五六二	二,〇四七	二,〇四七	△
硝	三二	三二	二,〇四七	二,〇四七	△

種類	昭和二年度迄	昭和三年度	昭和四年度	昭和五年度	昭和六年度	對昭和五年度 増減
機械類	一、二八四	一、五九四	九四四	一、三五三	三、四〇	△ 九
肥料	三三五	三七四	四〇九	三二五	三、三五	△ 九
木材	一〇三	一、三三〇	四七五	一〇三	一、〇三	△ 〇
薪炭	一〇	六六九	二五九	二五九	四〇〇	△ 〇
木炭	一〇	一、四四一	六二八	六二八	一〇	△ 〇
軸木	一、八六四	一、八六四	七、二四	七、二八	△ 五、四〇〇	△ 五、四〇〇
木製品	一〇四	一三四	一〇四	一〇四	一〇四	△ 〇
燐寸	二七九	二七九	二七九	二七九	二七九	△ 〇
雜品	一、二二六	二、五六八	一〇四	一、五九八	一、二二	△ 一四三
合計	一四、四〇一	九四、六〇三	一七、六四四	六〇、八三九	△ 三、二四三	△ 一九、三三二

第三款 收入 狀況

昭和六年度收入總額は壹萬參千六百七拾壹圓六拾五錢にして前年度に比し土地一時專用料に於て壹千貳百參拾壹圓餘の減收を見たるも荷役料、及貨物假置料に於て何れも増收を來したるを以て、結局九拾四圓五拾八錢の増加を示したり。左に之を表示す。

兵庫埋立地收入對照表

種別	昭和二年度迄	昭和三年度	昭和四年度	昭和五年度	昭和六年度	對昭和五年度 増減
荷役料	二、三三九・九一	二、一五一・九一	二、〇二二・九七	二、五三七・七六	三、六三九・二七	1,101.51
貨物假置料	九九三・二八	八三七・七〇	七六・八五	一、二四七・四〇	一、四七一・五〇	二三四・一〇
土地一時專用料	一一、七五五・一五	一〇、四七〇・九	九、九八六・〇三	九、七九一・九一	八、五八〇・八八	△ 1,131.03
計	一五、〇五三・三四	一三、五五九・八一	一二、七二五・八五	一三、五七七・〇七	一三、六七一・六五	△ 九四・五八

備考 大正十五年十月より利用を開始す。

神戸港

額

數	全國ニ 對スル 神戸港 ノ比率	
	數	%
100	6	
286	9	
773	16	
437	14	
642	17	
862	21	
693	20	
779	18	
551	16	
619	16	
876	18	
1,143	48	4,
7,450	47	4,
3,020	44	4,
0,485	44	4,
7,769	40	4,
8,292	40	4,
1,955	36	3,
6,556	37	2,

神戸港大観

全國對神戶港外國貿易(價額)累年對照表

年 份	輸 入 額						輸 出 入 額 合 計				輸 出 入 超 過 額 (△印ハ輸入超過)			神 戶 港 棉 花 輸 入 額				
	全 國	指 數	神 戶 港	指 數	全 國	指 數	神 戶 港	指 數	全 國	指 數	神 戶 港	全 國	神 戶 港	數 量	價 額	指 數	全 國 輸入額 ニ對スル 比率	神 戶 港 輸入額 ニ對スル 比率
	円		円		円	円	円	円	円	円	円	円	指	円		%	%	
100	10,693,072	100	687,752	100	26,246,545	100	1,137,140	100	4	4,860,401	△	238,364	4,031	115,196	100	1	17	
150	20,683,633	193	1,978,666	286	33,592,611	128	2,652,625	233	8	△ 7,774,655	△	1,304,407	9,503	285,101	248	1	14	
477	33,741,637	315	5,314,078	773	48,284,650	184	7,455,605	657	15	△ 19,198,624	△	3,172,551	4,599	137,968	121	—	3	
484	21,916,728	205	3,002,405	437	39,885,336	152	5,178,602	455	13	△ 3,948,119	△	826,208	1,174	28,167	25	—	1	
443	26,174,815	245	4,412,558	642	43,201,462	165	6,405,271	563	15	△ 9,148,168	△	2,419,845	638	10,117	9	—	—	
560	28,107,390	264	5,924,974	862	49,742,831	190	8,441,870	742	17	△ 6,471,949	△	3,408,078	638	9,952	9	—	—	
760	23,461,814	220	4,769,195	693	42,779,120	163	8,174,729	719	19	△ 4,144,508	△	1,363,661	19,329	251,491	219	1	5	
635	29,975,628	281	5,354,919	779	48,586,739	185	8,207,299	722	17	△ 11,364,517	△	2,502,539	2,873	32,123	28	—	1	
768	23,964,679	225	3,789,669	551	51,676,207	197	7,239,967	637	14	3,746,849	△	339,371	5,120	81,610	71	—	2	
1,037	27,420,903	258	4,257,689	619	50,769,425	193	8,914,869	784	18	△ 4,072,381		399,491	3,821	62,381	54	—	1	
1,452	32,874,834	309	6,026,160	876	58,862,974	224	12,531,536	1,102	21	△ 6,886,691		479,216	3,532	46,761	41	—	1	
1,280	32,953,002	310	7,067,155	1,028	61,128,772	233	12,817,358	1,127	21	△ 4,777,232	△	1,316,952	158	2,234	2	—	—	
1,262	36,626,601	344	7,848,537	1,141	65,021,988	248	13,502,390	1,187	21	△ 8,231,214	△	2,194,684	1,401	18,517	16	—	—	
1,244	31,191,246	293	7,380,529	1,070	62,250,134	237	12,969,333	1,140	21	△ 132,358	△	1,791,725	—	3	—	—	—	
1,454	29,446,594	277	6,378,820	928	67,168,345	265	12,893,792	1,134	19	8,275,157		136,152	6,714	102,399	90	—	2	
1,329	28,444,842	267	6,989,189	1,016	64,712,862	247	12,961,842	1,140	19	7,823,178	△	1,016,536	1,500	19,347	17	—	—	
1,471	29,672,467	279	7,790,531	1,133	63,543,933	242	14,401,264	1,266	23	4,198,999	△	1,179,798	8,407	98,140	85	—	1	
1,615	29,356,968	276	7,584,148	1,103	66,503,659	253	14,839,992	1,305	22	7,709,723	△	328,304	6,038	83,559	72	—	1	
2,210	32,168,432	302	9,499,172	1,381	81,044,745	309	19,432,833	1,709	24	16,707,881		434,489	14,124	188,946	164	1	2	
4,043	44,304,252	411	13,854,161	2,014	96,711,933	368	26,624,767	2,341	28	8,103,429	△	1,083,555	29,268	382,394	332	1	3	
4,073	65,455,234	612	24,667,906	3,569	131,160,744	500	42,971,976	3,779	33	250,276	△	6,363,836	62,678	893,815	776	1	4	
4,569	66,103,767	618	26,035,331	3,784	136,164,473	519	46,366,884	4,073	34	3,956,939	△	5,703,778	128,770	1,883,060	1,635	3	7	
3,773	81,728,581	864	32,041,004	4,659	138,332,087	527	48,996,417	4,309	35	△ 25,125,075	△	15,085,591	155,988	2,428,520	2,108	3	8	
4,837	62,927,266	588	25,700,501	3,735	142,454,540	543	47,434,219	4,171	33	16,600,004	△	3,966,783	374,300	5,244,262	4,553	8	20	
4,783	71,326,080	668	30,698,177	4,464	162,428,834	619	51,993,917	4,572	32	19,776,674	△	9,402,437	540,851	7,585,105	6,584	11	25	
5,556	88,257,172	825	41,294,276	6,004	177,970,037	678	66,263,250	5,827	37	1,455,693	△	16,325,302	603,433	10,114,438	8,779	11	24	
6,551	117,481,955	1,099	56,910,503	8,275	186,261,764	710	86,348,616	7,593	46	△ 4,235,869	△	27,472,390	793,976	14,311,223	12,423	12	25	
8,524	129,260,578	1,209	63,098,427	9,175	265,372,756	1,021	101,405,382	8,918	47	6,851,600	△	24,790,472	1,135,386	19,361,926	16,807	15	31	
8,972	171,674,474	1,605	82,546,593	12,003	289,517,235	1,203	122,864,410	10,805	42	△ 53,831,713	△	42,228,776	1,351,102	26,023,309	22,590	15	31	
11,440	219,300,772	2,050	110,741,831	16,088	382,435,849	1,457	162,149,911	14,260	42	△ 56,165,695	△	59,333,751	1,793,180	35,049,717	30,425	16	32	

8,524	28	129,260,578	1,209	63,098,427	9,175	49	265,372,756	1,021	101,405,382	8,918	47	6,851,600	△	24,790,472	1,135,386	19,361,926	16,807	15	31	
8,972	34	171,674,474	1,605	82,546,593	12,003	48	289,517,235	1,203	122,864,410	10,805	42	△	53,831,713	△	42,228,776	1,351,102	26,023,309	22,590	15	31
11,440	32	219,300,772	2,050	110,741,831	16,088	50	382,435,849	1,457	162,149,911	14,260	42	△	56,165,695	△	59,333,751	1,793,180	35,049,717	30,425	16	32
13,378	36	277,502,157	2,595	138,133,798	20,085	50	443,255,910	1,689	198,253,443	17,433	45	△	111,748,404	△	78,014,153	2,073,463	37,664,199	32,694	14	23
16,093	35	220,401,926	2,061	120,289,525	17,489	55	435,331,820	1,659	195,610,409	17,201	45	△	5,472,032	△	44,968,641	2,898,450	53,143,032	46,131	24	44
15,511	34	287,261,846	2,686	137,484,281	19,860	48	491,691,840	1,873	207,190,830	18,220	42	△	82,831,852	△	67,777,732	2,132,494	50,818,929	42,378	18	37
17,180	31	255,816,645	2,392	125,979,022	18,318	49	508,166,188	1,936	203,185,248	17,868	40	△	3,467,102	△	48,772,796	2,124,441	51,571,437	44,767	20	41
16,633	29	271,731,259	2,541	144,516,111	21,010	53	530,034,324	2,019	219,264,254	19,282	41	△	13,428,194	△	69,767,968	2,847,248	66,873,565	58,050	25	46
20,142	31	317,135,518	2,965	154,534,013	22,470	49	606,637,960	2,311	245,052,229	21,547	40	△	27,633,076	△	64,015,797	2,405,834	56,949,043	49,435	18	37
19,576	28	371,360,738	3,473	174,855,201	25,424	47	690,621,634	2,631	262,831,379	23,201	38	△	52,099,842	△	86,879,023	2,181,724	61,010,718	52,960	18	35
18,794	23	488,538,017	4,569	228,614,005	33,241	47	810,071,627	3,086	313,072,684	27,620	39	△	167,004,407	△	144,155,326	3,409,238	87,846,087	76,255	18	38
24,612	26	418,784,108	3,916	192,190,166	27,945	46	842,539,000	3,210	302,795,459	26,628	36		4,970,784	△	81,584,873	2,291,378	62,912,678	54,612	15	33
23,736	25	494,467,346	4,624	223,437,566	32,488	49	926,880,219	3,533	330,105,831	29,030	36	△	62,054,473	△	116,769,301	2,864,602	81,157,115	70,449	16	36
18,717	22	436,257,462	4,080	191,080,866	27,783	44	814,503,135	3,103	275,195,639	24,200	34	△	58,011,789	△	106,966,093	2,087,838	58,507,528	50,790	13	31
22,390	24	394,198,843	3,687	184,224,779	26,787	47	807,311,354	3,076	284,841,334	25,049	35		18,913,668	△	83,608,224	2,516,295	69,952,192	60,722	18	38
27,173	24	464,233,808	4,341	230,567,578	33,525	50	922,662,804	3,515	352,682,347	31,015	38	△	5,804,812	△	108,452,809	3,213,623	106,133,239	92,129	23	46
26,832	27	513,805,705	4,805	256,716,665	37,327	50	961,239,593	3,662	377,298,537	33,180	39	△	66,371,817	△	136,134,793	2,813,287	103,345,879	89,710	20	40
33,484	29	618,992,277	5,789	302,199,803	43,940	49	1,145,974,119	4,366	452,675,674	39,808	40	△	92,010,435	△	151,723,932	4,077,173	138,465,935	120,198	22	46
37,934	27	729,431,644	6,822	346,608,977	50,389	47	1,361,891,857	5,189	517,079,016	45,472	38	△	96,971,431	△	176,138,938	4,393,836	159,970,758	138,863	22	46
37,278	28	595,735,725	5,571	281,959,911	40,997	52	1,186,837,186	4,522	449,482,547	39,527	38	△	4,634,264	△	114,437,275	3,751,713	141,448,528	122,785	24	50
43,970	28	532,449,938	4,979	269,216,398	39,145	51	1,240,756,935	4,727	466,814,228	41,052	38		175,857,059	△	71,618,568	4,660,076	145,751,494	126,520	27	54
73,679	29	756,427,910	7,074	374,099,070	54,395	50	1,883,896,028	7,178	705,203,710	62,015	37		371,040,208	△	42,994,430	5,531,262	184,675,245	160,308	24	49
106,762	30	1,035,811,107	9,687	530,929,041	77,198	51	2,638,816,155	10,054	1,010,699,429	88,881	38		567,193,941	△	51,158,653	4,791,730	215,332,231	186,920	21	40
120,019	28	1,668,143,833	15,600	784,310,224	114,043	47	3,630,244,501	13,831	1,323,660,616	116,402	36		293,956,835	△	244,959,832	4,447,570	313,927,034	272,506	19	40
98,856	21	2,173,459,880	20,326	1,015,141,760	147,003	47	4,272,332,497	16,277	1,458,390,876	128,250	34	△	74,587,236	△	571,892,644	5,219,225	436,663,947	379,049	20	43
115,487	27	2,336,174,781	21,848	1,127,576,835	163,951	48	4,284,569,392	16,324	1,646,564,087	144,800	38	△	387,780,170	△	608,589,583	5,040,053	457,459,474	397,100	20	41
50,990	18	1,614,154,832	15,095	768,209,362	111,713	48	2,866,992,547	10,923	997,353,731	87,707	35	△	361,317,117	△	539,064,993	6,278,362	317,347,694	275,475	20	41
62,267	16	1,890,308,232	17,678	856,356,675	124,515	46	3,527,760,050	13,441	1,136,178,205	99,915	32	△	252,856,414	△	576,535,145	6,033,758	295,182,096	256,234	16	34
79,468	25	1,982,230,570	18,538	1,007,926,461	146,554	51	3,429,981,290	13,068	1,365,038,352	120,041	38	△	534,479,850	△	650,814,570	6,295,889	358,110,397	310,860	18	36
129,129	32	2,453,390,000	22,382	1,177,039,408	171,143	48	4,260,623,000	16,233	1,757,332,925	154,540	41	△	646,157,000	△	596,745,891	6,762,275	422,452,151	366,712	17	36
159,312	31	2,572,657,863	24,039	1,220,404,435	177,450	47	4,878,247,670	18,586	1,936,338,270	170,282	40	△	267,068,056	△	504,470,600	6,930,620	594,171,254	515,774	23	49
151,466	33	2,377,476,000	22,234	1,052,418,154	153,020	44	4,422,197,000	16,848	1,733,100,206	152,410	39	△	352,755,000	△	371,736,102	7,881,558	495,958,781	430,520	21	47
157,042	35	2,179,153,858	20,379	966,191,640	140,485	44	4,171,471,023	15,893	1,671,921,268	147,029	40	△	186,836,693	△	260,462,012	9,101,184	454,884,020	394,897	21	47
140,505	32	5,196,314,727	20,540	878,735,154	127,769	40	4,168,270,079	15,881	1,510,145,787	132,802	36	△	224,359,375	△	247,324,521	6,759,560	378,479,479	328,551	17	43
156,189	33	2,216,240,015	20,726	882,331,309	128,292	40	4,364,858,667	16,630	1,584,224,361	139,317	36	△	67,621,363	△	180,438,237	7,452,219	392,017,467	340,305	18	44
116,419	36	1,546,051,468	14,458	563,648,646	81,955	36	3,015,903,163	11,491	1,086,820,998	95,575	36	△	76,199,076	△	40,476,294	6,433,526	239,025,712	207,494	15	42
91,015	36	1,235,675,266	11,556	457,742,589	66,556	37	2,382,656,592	9,078	866,753,881	76,222	36	△	88,693,940	△	48,731,297	7,134,407	187,294,387	162,587	15	41

神戸港生絲輸出額					
數量	價額	指數	全國總輸出額ニ對スル比率	神戸港輸出額ニ對スル比率	
			%	%	
15,195	32,912,673	100	2	9	
49,149	88,467,027	269	5	15	
71,794	143,740,839	437	6	20	
80,922	133,123,232	404	7	19	
113,642	157,588,588	479	8	22	
134,937	181,287,679	551	9	29	
153,662	207,561,039	631	10	29	
139,091	125,852,608	383	9	24	
159,556	104,699,738	318	9	26	